

5. 施策の実施状況及び評価

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1. 減量化・資源化計画					
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.1 各種ガイドブックやマニキュアの狐弁と作成 →改定後は、『ごみの分け方・出し方の周知』に名称変更 1.1.2 ホームページや市報等による情報発信 →改定後は、『ホームページや市広報紙等による情報発信』に名称変更	1) 「つくば市ごみの出し方カレンダー」等の作成 ① 「つくば市ごみの出し方カレンダー」毎年発行 ② 6カ国語の説明書きを付加 ③ 「ごみの分け方・出し方ハンドブック」の発行 (4か国語に対応) ④ 「重点施策」雑がみ回収促進に向けた周知強化 ⑤ ホームページによる情報の発信 ⑥ ホームページによる情報発信は適宜、新しい情報を提供	実績 ・ カレンダーを作成し、全戸配布 (R2/R3/R4/R5) ・ 英語、中国語(簡体)、韓国語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語の6カ国語に加えて、ベトナム語にも対応 (R4/R5) ・ ごみ分別辞典の内容を精査し、14年ぶりに改定版を発行(日本語のみ) (R5) ・ 雑がみの出し方について、ごみの出し方カレンダーの説明書きに掲載 (R2/R3/R4/R5) ・ 市ホームページに雑がみ回収袋の作り方を掲載 (R2/R3/R4/R5) ・ 市役所本庁舎や交流センター、つくばサイエンスラボ (つくば環境フェスティバル)、つくばフェスティバルで雑がみ回収袋及び自作できる雑がみ回収袋の作り方の資料を配布 (R2/R3/R4/R5) ・ 市民・小中学校向け出前講座で、自作できる雑がみ回収袋の作り方の資料を配布 (R3/R4/R5)	○	改定後は、『「つくば市ごみの出し方カレンダー」の発行(外国語版を含む)』に名称変更 ・ 今後も継続 ・ 改定後は、1-1-1(ア)「つくば市ごみの出し方カレンダー」の発行(外国語版を含む)に統合 ・ 今後も継続 ・ 改定後は、1-1-1(ア)「つくば市ごみの出し方カレンダー」の発行(外国語版を含む)に統合 ・ 今後も継続 ・ 改定後は、『「ごみの分け方・出し方ハンドブック」の精査、改定』に名称変更(毎年度発行するものではなく、必要に応じて精査、改定するものであるため) ・ 今後も継続 ・ 組成分析調査結果より、燃やせるごみに資源化可能な紙類が約2% (生活系ごみ)、約30% (事業系ごみ) 含まれていることから、(4)雑がみ回収促進は引き続き「重点施策」とする。 ・ 改定後は、『雑がみ及びプラスチック製容器包装の回収促進に向けた周知強化』に名称変更 (市民アンケート調査より、プラスチック製容器包装の分別方法や汚れ具合の判断等の課題が指摘されているため) ・ 改定後は、『ホームページ等による情報発信』に名称変更
	1.1.2 ホームページや市報等による情報発信 →改定後は、『ホームページや市広報紙等による情報発信』に名称変更	1) ホームページによる情報の発信 ① ホームページによる情報発信は適宜、新しい情報を提供	市ホームページによる情報発信 (R2/R3/R4/R5) [新たに作成したページ] ・ 段ボールコンポスト ・ 段ボールコンポスト配布会 ・ つくば市エコジョブ ・ ペットボトル水平リサイクル [新たに更新・追加した主な事項] ・ プラスチック製容器包装のゆくえを更新 ・ 事業系廃棄物適正処理パンフレットのデータを更新 ・ 災害廃棄物処理計画を掲載 ・ つくば市エコジョブのページ内に市内の店頭回収実施店舗を掲載 ・ 3Rニュースを発行するたびに随時掲載 ・ 雑がみ回収袋の作り方を掲載	○	・ ホームページにて、随時情報の更新及び新規ページを作成を実施。市ホームページは、重要な情報媒体であるため、引き続き積極的な情報発信を行っていく。 ・ 改定後は、1-1-2(ア)「ホームページ等による情報の発信」に統合
	② 「重点施策」ホームページの解析、アクセス数の高いページでの情報提供の重点化		・ 未実施	×	・ 今年度を通じて未実施。システム上ではアクセス数は確認不可。 ・ 改定後は、1-1-2(ア)「ホームページ等による情報発信」に統合し、市民が求めている情報へのとり着きやすさへ重点を置く。 ・ 今後もSNSを活用した情報発信を積極的にやっていく。 ・ 改定後は、1-1-2(ア)「ホームページ等による情報発信」に統合
	③ 「重点施策」ブログ等ネット媒体による情報提供の活性化		市SNSによる情報提供 (R2/R3/R4/R5) IX (旧Twitter)、Facebook ・ 段ボールコンポスト配布会の案内 ・ プラスチック製容器包装の収集回収が月2回から4回になること ・ つくば市一般廃棄物減量等推進審議会の市民委員募集の案内 [YouTube] ・ リサイクルセンターの紹介動画を公開	○	

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.2 ホームページや市民向け情報発信	2) 3Rニュース発行 ①「3Rニュース」を発行し市民のリサイクル意識の向上を図る ②市民への広報の充実として、つくば市リサイクルセンターの整備において現場での周知と市中部で広報の検討 3)【重点施策】ごみ分別アプリの活用 4)【重点施策】動画による周知の推進 5)【重点施策】ごみ集積所やごみ袋を活用した周知方法の検討	・市民へのごみ減量啓発を目的に、3Rニュースを発行 (R2/R3/R4/R5) ・ホームページにてリサイクルセンターについて公開 (R2/R3/R4/R5) ・広報紙 (12月号) にリサイクルセンターの利用方法等について掲載 (R2/R3/R4/R5) ・つくばサイエンスラボ2022 (つくば環境フェスティバル) 時に、ごみ分別に関する周知を実施 (R4) ・つくばフェスティバル時に、ごみ分別に関する周知を実施 (R5) ・総ダウンロード数：41,073件 (R5年度末時点) ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」に係る周知 (ごみの出し方カレンダー) にQRコードを掲載、広報つくば、3Rニュース、つくば環境スタイルサポーターズニュースに紹介記事掲載、筑波大学の学生掲示板に広報チラシを掲示、大学職員へ周知 ・対応言語を8言語 (日本語、英語、中国語 (簡体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語) に拡充 (R4/R5) ・アプリを用いた情報発信 (指定ごみ袋 (10L、45L) の販売店舗の紹介等) (R5) ・広報戦略課と協力し、つくば市かわら版チャナネルvol.3、4にて、ごみ減量に関する動画を公開 (R3/R4/R5) ・資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成 (R3) ・ごみ集積所の新規開設者に資源物の分別徹底を促す集積所用看板を配布 (R3/R4/R5) ・各地区の区会総会で、資源物の分別徹底を促す集積所用看板を区長へ配布、各集積所への掲示を依頼 (R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、1-1-2(イ)「3Rニュース」の発行」として継続 ・今後も継続 ・改定後は、1-2-2(ア)「情報提供拠点の設置検討」及び1-2-2(イ)「つくばサステナスクエアでの広報の実施」へ分割して移行
1.1.3 各種キャンペーンや環境プログラムの拡充 →改定後は、『市民向け環境プログラム』の拡充』に名称変更	1) 出前講座の実施 ①【重点施策】市内全小中学校、区会や市民団体への、地域、対象にあつたごみリサイクルに関する説明会、講座 (出前講座) の実施検討、提供情報の精査 ②イベント等において、出前講座実施についての周知 2) つくばサステナスクエアでの見学者受け入れ 3) リサイクルイベントの開催 ①広報の効果を高めるためのイベント等の開催	①【重点施策】市内全小中学校、区会や市民団体への、地域、対象にあつたごみリサイクルに関する説明会、講座 (出前講座) の実施検討、提供情報の精査 ②イベント等において、出前講座実施についての周知 2) つくばサステナスクエアでの見学者受け入れ (R2/R3/R4/R5) ・感染症拡大のための見学ガイドラインをホームページ上で公開 (R2/R3/R4) ・リサイクルセンターに関する動画をホームページで配信することにより、施設見学について周知 (R5) ・つくばサイエンスラボ2022 (つくば環境フェスティバル) 及びつくばフェスティバルに出席し、雑かみ回収袋やごみの分別に関する周知を実施 (R4/R5) ・リユース家具の提供やリサイクル講座を実施 (R5)	○	・改定後は、『市民向け環境プログラム』の拡充』に名称変更 ・改定後は、1-1-2(ア)「ホームページ等による情報発信」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、『効果的な情報発信方法の検討』に名称変更 (ごみ集積所とごみ袋に限定せず、あらゆる媒体を活用した効果的な情報発信・周知方法を検討する。) ・改定後は、1-1-4(イ)の「小中学校への出前講座」と区別するため) ・今後も継続 ・改定後は、1-1-3(ア)「区会や市民団体への出前講座の実施」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、1-1-3(ウ)「リサイクルイベントの開催」に統合	

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.4 小中学生への環境教育の拡充	1) 牛乳パック回収事業 ①小中学校での牛乳パック回収	・児童生徒を通して家庭で出た牛乳パックを小中学校で回収 (R2/R3/R4/R5) ・牛乳パック回収促進のため、牛乳パックリサイクルチラシを作成し、各小中学校及び義務教育学校へ配布 (R5)	○	・改定後は、『小中学校での牛乳パック回収事業の実施』に名称変更 ・今後も継続 ・小中学校での牛乳パック回収は、目標未達成であり、目標達成には学校との連携が不可欠であるため、連携を強化する。 ・改定後は、1-1-4(ア)「小中学校での牛乳パック回収事業の実施」に統合 ・改定後は、『小中学校への出前講座の実施』に名称変更
		2) 出前講座などによる周知			
		①【重点施策】小中学生への出前講座などによる周知について、学校教育の追加的提供を目的とすべく、学校の授業内容の把握と現状に見合った講座の実施 3) 【重点施策】学生向け廃棄物関連副読本等情報提供資料作成の検討	・出前講座の実施 (R3/R4/R5) ・小学校のつくばスタイル科の授業で使用する副読本「かがやつくば」のごみ関連の内容を更新 (R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、1-1-4(イ)「小中学校への出前講座の実施」に統合 ・改定後は、1-1-4(イ)「小中学校での出前講座の実施」に統合 ・改定後は、『大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ』へ名称変更
	1.1.5 大学生への情報提供や意識向上の強化	1) 大学生への情報提供や意識向上の強化 ①大学の学生生活講座等を通じた分別徹底の徹底を呼びかけの実施 ②リサイクルについての講義等の開催 ③学内でごみの適正な分別減量等に取組むための説明会等を使用してもらう分別指導用のデータ貸出 ④周知の効果を上げるため、大学の活動グループとの連携強化を検討 ⑤【重点施策】つくば市リサイクルセンターにおける家具等リユース情報の提供、新入生、卒業生による利用の活性化を推進	・大学の掲示板にさんあーるの紹介記事を掲載 (R2) ・未実施 ・未実施 ・未実施 ・家具等のリユース方法等について、包括的運営管理業務委託受託者と協議の実施 (R2) ・包括的運営管理業務委託受託者と協議し、リユース家具の提供を実施 (R3/R4/R5) ・リユース品の提供について、他市町村における取組内容や広報等の実施事例を調査 (R3/R4) ・開催毎につくば環境スタイルサポーターズメールによりリユース家具の提供について配信 (R4/R5) ・広報紙、ホームページ及びアプリ (さんあーる) にリユース家具の提供について掲載 (R3/R4/R5) ・ごみ直接搬入の申請者の目につきやすい箇所にリユース家具のお知らせの掲載 (R5) ・リユース家具の展示会の参加者に周知方法に関するアンケート調査を実施 (R5) (つくば環境サポーターズメールが最も効果的という結果)	○ × × ×	・大学生に対する効果的な周知方法について検討する。 ・改定後は、1-1-5(ア)「大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ」に統合 ・過年度は未実施であるが、学生向けワークショップ等の実施を検討。 ・改定後は、1-1-5(イ)「ごみ減量及び分別促進についての講義等の開催」に名称変更 ・今後検討 ・改定後は、1-1-5(イ)「ごみ減量及び分別促進についての講義等の開催」に統合 ・大学のグループの活動状況の把握した上で今後検討。 ・改定後は、『大学の活動グループとの連携』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は『家具等の不用品リユース情報の提供』に名称変更

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.1 市民・事業者への意識改革の推進	1.1.6 事業者への情報提供や意識向上の強化	1) 事業者への情報提供や意識向上の強化 ①多量排出事業者への減量計画書の提出指導 ②【重点施策】事業系ごみの排出事業者への排出指導強化(多量排出事業者からの排出実態の解析、事業系資源ごみの資源化促進体系構築の検討、民間リサイクルルートの活用(周知等)) ③【重点施策】優れた取組を実施する事業者の紹介・認定等評価・表彰制度の検討	・多量排出事業者への減量計画書の提出指導 (R2/R3/R4/R5) (R2:43社→R5:137社) ・事業者を訪問し、排出状況の確認及び指導を実施 (R3/R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ウ)「多量排出事業者に対する指導」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(イ)「事業所への分別強化の協力依頼」及び2-2-1(ウ)「多量排出事業者に対する指導」に分割して移行
1.2 市民・事業者が主体的に取り組むしくみづくり	1.2.1 ごみの減量や資源化に関する活動支援	④【重点施策】30・10運動(サンマル・イチマル)の周知 1) 資源物集団回収事業の推進 ①資源物集団回収奨励金事業の実施 ②資源物集団回収にあたっての後援団体での取組や「オフィス町内会」方式の取組の継続検討 2) 生ごみ処理容器等購入費補助事業の推進 3) エコショップ認定制度の推進 4) 不用品リサイクル情報(「ごしあげます」・「希望します」)の提供 5) 環境美化活動 6) 家庭用廃食用油の回収及び80F精製事業の実施 7) ごみ減量や資源化への活動支援として市民団体等の支援実施の検討 8) 事業所のごみ減量・リサイクルの取組強化のため連携する事業所間の組織作り支援の検討 9) 【重点施策】民間事業者と協力した資源化の推進、民間ノフハウの活用	・未実施 ・資源物集団回収実施団体数 (R2:117団体→R5:105団体) ・前年度に活動された団体に申請を促し、多くの団体が登録 (R3/R4) ・生ごみ処理容器等購入費に対し補助金を交付 (R2:108基、R3:152基、R4:408基、R5:310基) ・令和4年度から補助事業の予算を拡充) ・段ボールコンポストの無料配布会を開催し、配布 (R3:166個、R4:822個、R5:804個) ・エコショップ認定店舗 (R2:17店舗→R5:15店舗) ・不用品リサイクル掲示板の使用実績1件 (R4) ・市内一斉清掃の実施、16~20トンの不燃ごみを回収 (R4/R5) ※R2、R3はコロナウイルス感染拡大防止のため、中止 ・家庭用廃食用油回収量 (R2:9,996リットル、R3:14,838リットル；R4:13,767リットル、R5:11,360リットル) ・未実施 ・未実施	○ × ○ ○ △ △ ○ ○ × × ○	・今後も継続 ・改定後は、『不用品等のリユースの促進』に名称変更(掲示版に限定せず、あらゆる媒体を活用して周知を図) ・今後も継続 ・改定後は、5-3(イ)「環境美化活動の実施」に移行 ・今後も継続 ・今後検討 ・改定後は、1-2-1(ア)「市民団体等の活動支援」に統合 ・今後検討 ・改定後は、『民間事業者間の連携に向けた支援実施の検討』に名称変更 ・今後も継続。より積極的な施策展開を検討。
	1.2.2 広報拠点の充実	1) 広報拠点の設置検討 ①交通の便や、人の集まりやすさなどを考え、情報提供拠点の設置を検討	・未実施	○	・改定後は、『情報提供拠点の設置検討』に名称変更 ・今後検討 ・改定後は、1-2-2(ア)「情報提供拠点の設置検討」として継続

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.3 将来的な施策に向けた調査・検討	1.3.1 プラスチック類の 有効利用 →改定後は、『製品プラスチックの資源化の調査・検討』に名称変更 1.3.2 生ごみ等の資源化 の調査研究 →改定後は、『生ごみ等の資源化の推進』に名称変更 1.3.3 認定校のリサイクルの検討 →改定後は、『認定校のリサイクルの資源化の推進』に名称変更 1.3.4 資源化における先進的な取組	1) プラスチック類の有効利用 ①【重点施策】容器包装以外のプラスチックに関する資源化検討（ピットアップ回収、民間活用も含めた拠点回収の実施検討、有効利用の可能性調査） 1) 生ごみ等資源化の推進 ①【重点施策】生ごみの資源化処理についての調査研究 →改定後は、『生ごみ等の資源化の推進』に名称変更 1) 認定校のリサイクルの検討 ①【重点施策】土壌改良材としての調査研究 1) 資源化における先進的な取組 ①【重点施策】小型家電に含まれるレアメタルをはじめとする有用金属の回収推進と適正かつ効果的なリサイクルの推進 ②【重点施策】高度リサイクルのための研究学園都市としての市の特性を活かした先進的な取組の推進 1) 生活系ごみ有料化の検討 ①生活系ごみ有料化については検討を継続 1) 事業系ごみ処理手数料の見直し ①【重点施策】事業系ごみ処理手数料の見直しについては検討を継続	・改定後は、『製品プラスチックの資源化の調査研究』に名称変更 ・プラスチック製廃棄物の分別回収・再商品化について、継続的に調査研究する。 ・改定後は、1-3-1(ア)「製品プラスチックの資源化の調査研究」として継続 ・改定後は、『生ごみ等の資源化の調査研究』に名称変更 ・事例調査の結果を踏まえ、今後は、生ごみ処理器などを活用したごみ減量施策を進めていくとともに、バイオガス化等も含め、調査研究を行う。 ・改定後は、1-3-2(ア)「生ごみ等の資源化の調査研究」として継続 ・改定後は、『認定校の資源化の調査研究』に名称変更 ・今後も認定校リサイクルについて、継続的に調査研究する。 ・改定後は、1-3-3(ア)「認定校の資源化の調査研究」として継続 ・引き続き、拠点回収及び協定事業者による回収を行うとともに、回収量増加に向けた方策を検討する。 ・改定後は、1-3-4(ア)「資源化における都市鉱山取組」として継続 ・今後、調査研究を行う。 ・改定後は、『先進的な減量化・資源化の取組』に名称変更 ・ごみの排出状況や他市町村の状況を継続して調査し、検討を行う。 ・改定後は、1-3-5(ア)「生活系ごみ有料化の検討」として継続 ・ごみの排出状況や他市町村の状況を継続して調査研究する。 ・改定後は、1-3-6(ア)「事業系ごみ処理手数料の見直し」として継続	○	○
1.3.5 生活系ごみ有料化の検討	1.3.6 事業系ごみ処理手数料の見直し	②【重点施策】高度リサイクルのための研究学園都市としての市の特性を活かした先進的な取組の推進 1) 生活系ごみ有料化の検討 ①生活系ごみ有料化については検討を継続 1) 事業系ごみ処理手数料の見直し ①【重点施策】事業系ごみ処理手数料の見直しについては検討を継続	・生活系ごみの排出量の割合等の調査 (R2/R3/R4/R5)	○	○
1.3.6 事業系ごみ処理手数料の見直し		1) 事業系ごみ処理手数料の見直し ①【重点施策】事業系ごみ処理手数料の見直しについては検討を継続	・事業系ごみの排出量の割合等の調査 (R2/R3/R4/R5) ・事業系ごみのごみ処理手数料の調査を実施 (R3) ・近隣市町村（一部事務組合を含む）の事業系ごみ処理手数料の調査を実施 (8カ所) (R5)	○	○

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
1.4 つくば市役所におけるごみの発生抑制と資源化の推進	1.4.1 市役所内でのごみの発生抑制と資源化の推進	1) つくば市役所におけるごみの発生抑制と資源化の推進 ①ごみの減量と分別の徹底を呼びかけ、また職員向けごみ処理についての情報を積極的に発信 ②「公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進」に名称変更	・自動販売機の横にプラスチック製容器包装を回収するBoxを引き続き設置 (R2/R3/R4/R5) ・市内お知らせ表示で、プラスチック製容器包装の分別、食品ロス削減、ごみ分別アプリ「でんあ〜る」等の周知 (R2/R3/R4/R5) ・「公共施設のごみ減量・リサイクル推進方針」を策定。本方針では、「ごみの減量を意識するため、ごみの重量を把握する」「燃やせるごみを減らすため、分別を徹底する」「コピー用紙を再利用した後、雑がみとして資源化する」ことの3つを掲げ、ごみの重量及び資源化を推進 (R4) ・「公共施設のごみ減量・リサイクル推進方針」に基づき全公共施設から四半期ごとに「ごみの排出状況の報告を受け、ごみ減量及び資源化の推進を実施 (R5)」 ・市内お知らせ表示で、雑がみ分別の徹底	○	・改定後は、『公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進』に名称変更 ・公共施設のごみの排出状況の把握を把握しつつ、ごみ減量及びリサイクルを推進していく。 ・改定後は、1-4-1(ア)「公共施設におけるごみの発生抑制と資源化の推進」に統合
2. 収集運搬計画	2.1 生活系ごみの分別収集の徹底	1) プラスチック製容器包装の収集頻度の適正化 ①「重点施策」住民サービスの充実を図るため、プラスチック製容器包装の収集頻度の適正化の検討	・プラスチック製容器包装の収集量 -R2: 639t (7.3g/人・日) -R3: 751t (8.4g/人・日) -R4: 910t (9.9g/人・日) -R5: 1,017t (10.9g/人・日) ・令和4年度10月から収集頻度を月2回から月4回に増加することを決定。その旨を広報紙2月号で周知 (R3) ・令和4年度10月から収集頻度を月2回から月4回に増加 (R4)	○	・改定後は、『収集頻度の適正化』に名称変更 ・今後は、プラスチック製容器包装以外のものも含めて (燃やせるごみ、燃やせないごみ、資源ごみ等) 収集頻度の適正化を検討する。 ・改定後は、2-1-1(ア)「収集頻度の適正化」として継続
2.1.2 ごみ集積所管理の推進	1) 資源ごみ持ち去り防止対策 ①ごみ集積所の管理については、区会等による管理体制を推進	1) 資源ごみ持ち去り防止対策 ①ごみ集積所の管理については、区会等による管理体制を推進	・区会等によるごみ集積所の管理を推進。	○	・今後も継続 ・区会等による管理体制の課題 (区会に入らないと集積所を利用できない、新任者の受け入れは行わない等) の解決に向け検討を行う。 ・改定後は、2-1-2(ア)「ごみ集積所管理に係るシステム化の推進」に名称変更
		②管理のため区会からの求めに応じ、分別が適切に行われていない地区については、各集積所に分別の徹底を呼びかける張り紙等を貼付するなどの周知活動の実施	・資源物の分別徹底を促す集積所用看板を作成し、地区集積所への掲示を開始 (R3/R4/R5) ・ごみ集積所の新規開設者に分別促進のための看板を配布 (R3/R4/R5)。	○	・今後も継続 ・改定後は、1-1-2(エ)「効果的な情報発信方法の検討」に統合
		③資源持ち去り防止シートを配布し、資源物持ち去り防止対策を実施	・資源持ち去り防止シートをダウンロードできるように、ホームページに掲載 (R2/R3/R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-1-2(イ)「資源ごみ持ち去り防止対策」に統合
		④ごみ集積所の管理状況の調査及び集積所のシステム化の推進	・未実施	×	・収集運搬委託業者に対し、ごみ集積所の管理状況についてアンケート調査を実施 (R6) ・集積所のごみ収集完了の有無、ごみ収集後の後出しの確立等を可能とするシステム化を今後検討。 ・改定後は、2-1-2(ア)「ごみ集積所管理に係るシステム化の推進」に統合
		⑤GPSシステムによる資源ごみ持ち去り追跡導入の検討	・未実施	×	・資源ごみの持ち去りは条例違反であり、依然課題であるため、今後対応策を検討する。 ・改定後は、2-1-2(イ)「資源ごみ持ち去り防止対策」に統合
		2) 不法投棄対応	・随時実施	○	・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄票看板の配布」に統合

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
2.1 生活系ごみの分別収集の徹底	2.1.2 ごみ集積所管理の推進	3) 地区別排出実態の把握 ①【重点施策】地区ごとのステーション排出状況の調査把握の実施	・分別状況が悪いごみ集積所の現場を確認し、実態の把握を行った上で、適正なごみ分別やごみ集積所の使用を促すチラシのポスティングを実施 (R3/R4/R5)	△	・今後も継続 ・収集運搬委託業者に対し、ごみ集積所の管理状況についてアンケート調査を実施 (R6) ・各地区ごとに、ごみ組成分析調査を実施 (R6) ・改定後は、2-1-2(ウ)「地区別排出実態の把握」として継続
	2.1.3 資源ごみの収集方法の整備	1) 有害なもの、危険なもの、分別に依る周知の強化	・つくば市ホームページやごみの出し方カレンダー及びごみの分別アプリ「さんあ〜る」の「ごみの出し方ガイド」で乾電池、スプレー容器及び使い捨てライター等の有害ごみや危険なごみの出し方の掲載 (R2/R3/R4/R5) ・つくば市ホームページに「有害ごみ・小型家電・廃食用油 拠点回収場所一覧」を掲載 (R3/R4/R5)。	○	・今後も継続 ・改定後は、2-1-4(イ)「有害ごみ、危険なごみの排出方法に関する周知」に移行
	2.1.4 収集運搬体制の再構築	1) 収集運搬体制の再構築	・生活系ごみの搬入検査の実施 (R2/R3/R4/R5) ・未実施	○	・今後も継続 ・高齢者や障害のある方等、排出困難者に対する対応は社会的課題であるため、今後検討する。 ・改定後は、「排出困難者に対する戸別収集の検討」に名称変更
2.2 事業系ごみの排出管理の強化	2.2.1 事業系ごみの分別及び排出の適正化	1) 事業系ごみの分別及び排出の適正化 ①【重点施策】事業系ごみの排出業者へのさらなる指導強化 (多量排出事業者からの排出実態の解析、事業系資源ごみの資源化推進体系の検討、事業者に対する民間リサイクル率の活用周知等) ②【重点施策】つくばステナスクエアにおける事業系ごみ排出状況の実態把握 (業種別のごみ量、分別状況の実態把握を実施) ③【重点施策】つくばステナスクエアへの事業系ごみ搬入時における検査、指導の強化 ④事業所への分別強化の協力依頼 (R2/R3/R4/R5) ⑤【重点施策】食品リサイクルの推進に向けた周知強化 ⑦ 不法投棄対応	排出事業者に対し、以下を随時実施 (R2/R3/R4/R5) ①多量排出事業者より提出された一般廃棄物減量化等計画書の内容を確認し、指導を実施 ②事業所を訪問し、排出状況を確認 ③排出状況に応じて指導を実施 ・事業系ごみ全体の排出量を把握 (R2/R3/R4/R5) ・ステナスクエアで事業系ごみの搬入検査を行い、事業系ごみの排出状況の確認を実施 (R2/R3/R4/R5) ・事業系燃やせるごみの搬入検査 (R2:6件、R3:22件、R4:23件、R5:31件) ・発泡スチロール等の産業廃棄物 (廃プラ) や資源物 (段ボール等) が混入していたため、収集業者へ文書にて適正な分別収集を指導。また、不適正なものが持ち込まれた場合は、持ち帰りを指示 (R2/R3/R4/R5) ・収集運搬許可業者に対して、適正な分別収集に関する通知を発行 (R5) ・事業所訪問等を通じて分別強化の協力依頼を随時実施 (R2/R3/R4/R5) ・いばらき食べざき協力店 (R2:18店舗→R5:46店舗) ・随時対応 (R2/R3/R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(ア)「つくばステナスクエアにおける事業系ごみの搬入検査・指導の実施」に名称変更 ・改定後は、2-2-1(ア)「つくばステナスクエアにおける事業系ごみの搬入検査・指導の実施」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄厳禁看板の配布」に統合
	2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進	1) 事業系資源ごみの資源化の促進 ①ごみの適正な排出方法や分別の仕方をまとめた「ごみの減量情報」に関する冊子を活用し、多量排出事業者を訪問し周知を実施	・分別徹底による資源物の資源化促進及び廃棄物の減量化を啓発するポスターを作成し、収集運搬業者経由で配布 (R3) ・ごみの適正な排出方法や分別の方法をまとめた「事業系廃棄物適正処理パンフレット」を作成、配布 (R4/R5) ・事業系廃棄物適正処理パンフレットの改定 (R5) ・事業者を訪問し、排出状況の確認及び指導を実施 (R4/R5)	○	・改定後は、『紙類の資源化の促進』に名称変更 (ごみ組成分析調査結果やごみには、資源化可能な紙類が多く含まれていることが明らかとなったため、資源ごみの対象を具体化して重点的に取り組む) ・今後も継続 ・改定後は、1-1-6(ア)「事業者への情報提供や意識向上の強化」に移行

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
2.2 事業系ごみの排出管理の強化	2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進	②多量排出事業者以外の中小事業所や食卓等のごみ発生量と排出先の調査の検討 ③【重点施策】事業系資源ごみの再資源化推進体系構築の検討	・未実施 ・未実施	×	・今後検討 ・改定後は、2-2-2(オ)「紙類等の資源化の促進」に名称変更
	2.2.3 ごみの分別区分に関する大学とごみの分別区分に関する大学との調整	1) ごみの分別区分に関する大学との調整 ①筑波大学の事業所ごみ（平成20年4月より、学生宿舎に限り、生活系ごみとしての収集を開始）の分別徹底の指導 ②【重点施策】学生への広報で入学卒業と期間が短い十分な周知ができなことから、周知方法を検討	・筑波大学（ノブ天・平砂・追越）及び筑波技術大学（春日キャンパス・天久保キャンパス）の学生宿舎へごみの出し方カレンダーを配布(R2/R3/R4/R5) ・大学の掲示版にさんあ～るの紹介記事の掲載(R2) ・さんあ～るの紹介を含んだ「つくば市のごみ出しルール」チラシ（日本語、英語、中国語）を筑波大学、筑波技術大学で掲載(R4/R5) ・春日、天久保エリアに管理物件を有している不動産と対策について打合せを行い、「さんあ～る」のチラシ及び「つくば市のごみ出しルール」チラシを提供し、周知を依頼(R4/R5) ・筑波大学、筑波技術大学に訪問し、ごみ分別アプリ「さんあ～る」のチラシ及び「つくば市のごみ出しルール」チラシを提供し、周知を依頼(R4/R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、2-2-1(イ)「事業所への分別強化の協力依頼」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、1-1-5(ア)「大学や不動産管理会社等を通じた分別徹底の呼びかけ」に統合
2.3 有害ごみの回収体制の整備	2.3.1 有害ごみの回収体制の整備	1) 有害ごみの排出体制の検討 ①有害ごみについては、市民の利便性と排出場所の安全性や管理の容易性を確保できる排出体制の検討	・市内24か所所で拠点回収を実施(R2/R3/R4/R5) ・一般社団法人BRICの小型電気式電池一般廃棄物広域認定「排出者」につくば市後所とつくばステナスクエアを追加(R2/R3)	○	・改定後は、「有害ごみ、危険なごみの排出体制及び回収体制の再整備」に修正し、2-1-4(ア)に移行 ・今後も継続 ・改定後は、2-1-4(ア)「有害ごみ、危険なごみの排出体制及び回収体制の検討」として継続
3. 中間処理計画					
3.1 つくばステナスクエアの適正な運転維持管理	3.1 つくばステナスクエアの適正な運転維持管理	1) つくばステナスクエアの適正な運転維持管理 ①つくばステナスクエア内の施設の安定した運転の維持 ②【重点施策】焼却施設の計画的な補修等管理を実施し、施設の長寿命化を図っていく ③周辺の環境保全のためダイオキシン等の影響調査の実施 ④【重点施策】つくば市リサイクルセンターの安定した運転の維持	・施設の安定運転を実施(R2/R3/R4/R5) ・令和4年12月に電気設備の故障により緊急停止発生(R4) ・包括的運営管理業務委託受託者と定期的に整備会議を実施し、施設の稼働状況を確認(R2/R3/R4/R5) ・1号炉及び3号炉の耐火壁修繕工事を実施(R5) ・可燃ごみ処理施設（焼却施設）周辺地区の大気及び土壌について、ダイオキシン類の測定を実施(R2/R3/R4/R5) ・焼却灰（主灰及び固化灰）及び不燃物残渣の放射能測定、溶出試験を実施(R2/R3/R4/R5) ・施設の安定運転を実施(R2/R3/R4/R5)	○	・改定後は、「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合 ・今後も継続 ・改定後は、「ダイオキシン類等の影響調査の実施」に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、3-1(ア)「つくばステナスクエアの安全運転・長寿命化」に統合

項目	施策名	事業の概要	実績	評価	今後の方向性
4. 最終処分計画					
4.1 最終処分量の削減	4.1 最終処分量の削減	1) 最終処分量の削減 ①【重点施策】焼却灰の溶融処理、固形化処理(再生砕石)などの焼却灰再資源化の更なる拡大を図る ②つくば市クリーンセンターによる焼却処理により発生する焼却残渣の割合が高い原因調査及び対策の実施 1) 最終処分長期計画の策定	・焼却灰の資源化処理 (R2:745,591→R5:2,594,121) ・溶融固形化処理(R2/R3/R4/R5)、再生砕石化処理 (R2/R3/R4)、焼却灰処理 (R4/R5) (令和4年度から焼却灰資源化の予算を拡充) ・焼却量等のデータを分析し、残渣割合の調査を実施(R2/R3/R4/R5) (R3:11.7%, R4:11.8%, R5:12.0%)	○	・今後も継続 ・改定後は、『焼却灰の再資源化の推進』に名称変更
4.2 最終処分長期計画の策定	4.2 最終処分長期計画の策定 →改定後は、『安定的な最終処分先の確保』に名称変更	1) 最終処分長期計画の策定 ①民間最終処分場の動向を見据えた、最終処分場のあり方について検討 ②民間最終処分場の動向を見据え、最終処分場のあり方について検討 ③県内市町村(土浦市、水戸市)が所有する最終処分場の現地調査を実施(R3) ・独立処分を委託している民間最終処分場3か所(山形県、秋田県、青森県)すべてについて、現地訪問による処理状況の確認を実施(R4/R5) ・長期的な視点で最終処分場の在り方について検討するための調査比較を行う業務実施に向けた当初予算の確保 (R4) ・長期的な視点で最終処分場の在り方について検討するための調査比較を実施 (R5)	・県内市町村(土浦市、水戸市)が所有する最終処分場の現地調査を実施(R3) ・独立処分を委託している民間最終処分場3か所(山形県、秋田県、青森県)すべてについて、現地訪問による処理状況の確認を実施 ・長期的な視点で最終処分場の在り方について検討するための調査比較を行う業務実施に向けた当初予算の確保 (R4) ・長期的な視点で最終処分場の在り方について検討するための調査比較を実施 (R5)	○	・今後も継続 ・改定後は、以下の3つの施策を展開する。 (1) 最終処分場の現地確認の実施 (2) 最終処分先の確保 (3) 最終処分場の在り方の方針の検討
5. その他の廃棄物関連の計画					
5.1 一般廃棄物会計基準の導入	5.1 一般廃棄物会計基準の導入	1) 一般廃棄物会計基準の導入 事業コストの検討	・一般廃棄物会計基準を導入している自治体の活用事例を調査(R5)	△	・今後、環境省のツールを用いて、必要性及び効果の検証の実施
5.2 災害廃棄物対策	5.2 災害廃棄物対策	1) 災害廃棄物対策 ①【重点施策】災害廃棄物処理計画の策定	・災害廃棄物処理計画の策定支援業務の要請のある複数のコンサルタント事業者と相談し、業務の仕様を検討するとともに購買用見積書を実施。見積結果をもとに、予算を確保 (R2) ・プロポーザル形式で委託業者の選定を行い、一般廃棄物減量等推進審議会で災害廃棄物処理計画について諮問を実施。災害廃棄物処理計画策定のために、コンサルタントと協力して「災害廃棄物の発生量の推計」など基本的な事項の整理 (R3) ・令和5年3月に「つくば市災害廃棄物処理計画」を策定。併せて、市民のみならず災害時のごみの出し方や注ぎ置き、平時からの備えなどについてわかりやすくまとめた「つくば市災害廃棄物処理ハンドブック」を作成 (R4) ・「災害廃棄物処理業務マニュアル」を基に、発災後の流れについて、庁内の関係部署と4月と11月に勉強会を実施 (R5) ・茨城県主催の災害廃棄物処理に係る研修会に参加し、座学研修及び図上研修を実施 (R5) ・令和5年6月に大雨で被害を受けた取手市に職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事 (R5) ・令和6年鹿島半島地盤で被害を受けた富山県氷見市へ職員2名を派遣し、仮置場運営業務に従事 (R5)	○	・市職員へ災害時の廃棄物の処理方法について周知を行う。 ・改定後は、『災害廃棄物処理計画』に基づき平時の備えに名称変更
5.3 不法投棄対策・不適正処理対策	5.3 不法投棄対策・不適正処理対策	1) 不法投棄対策・不適正処理対策 ①【重点施策】不法投棄パトロールの実施、監視カメラの設置等推進	・防犯環境美化サポーターによる不法投棄パトロールの実施、野焼き行為に指導 (R2/R3/R4/R5) → (14~201のごみを回収) ・不法投棄防止のための看板について、広報紙での周知、交付 (R2/R3/R4/R5) ・野焼き対策に關し、相談の多い秋から冬にかけて、区会回りで年2回、広報紙で年1回、野焼きの禁止についての周知を実施 (R2/R3/R4/R5)	○	・改定後は、『不法投棄パトロールの実施、不法投棄対策看板の配布』に名称変更 ・今後も継続 ・改定後は、5-3(ア)「不法投棄パトロールの実施、不法投棄対策看板の配布」として継続

6. ごみ排出量の将来予測

1. 推計手順

つくば市一般廃棄物処理基本計画（令和2年（2020年）4月）の「第8節 施策の推進計画」において、「ごみの減量目標やリサイクル目標等については、年度毎に実態把握を行い、達成状況の照査を行う」こととしています。

計画の中間見直しに当たり、過年度のごみ処理に係る実績を踏まえ、ごみの発生量が将来的にどのように変化するかについての推計を行いました。ごみ排出量の推計は、計画改定であることを踏まえ、計画策定時に行った推計方法に準じて行いました。推計手順は、図6-1の通りです。

まず、生活系ごみ量原単位（1人1日当たりの排出量）及び事業系ごみ量（1日当たりの排出量）の実績値から、時系列分析（「トレンド分析」ともいう。次頁の表6-1参照。）を行い、現状のまま推移した場合のごみ排出量を予測しました。

次に、ごみ発生（排出）抑制等の減量目標・資源化目標を設定し、目標を達成した際のごみ排出量を設定しました。

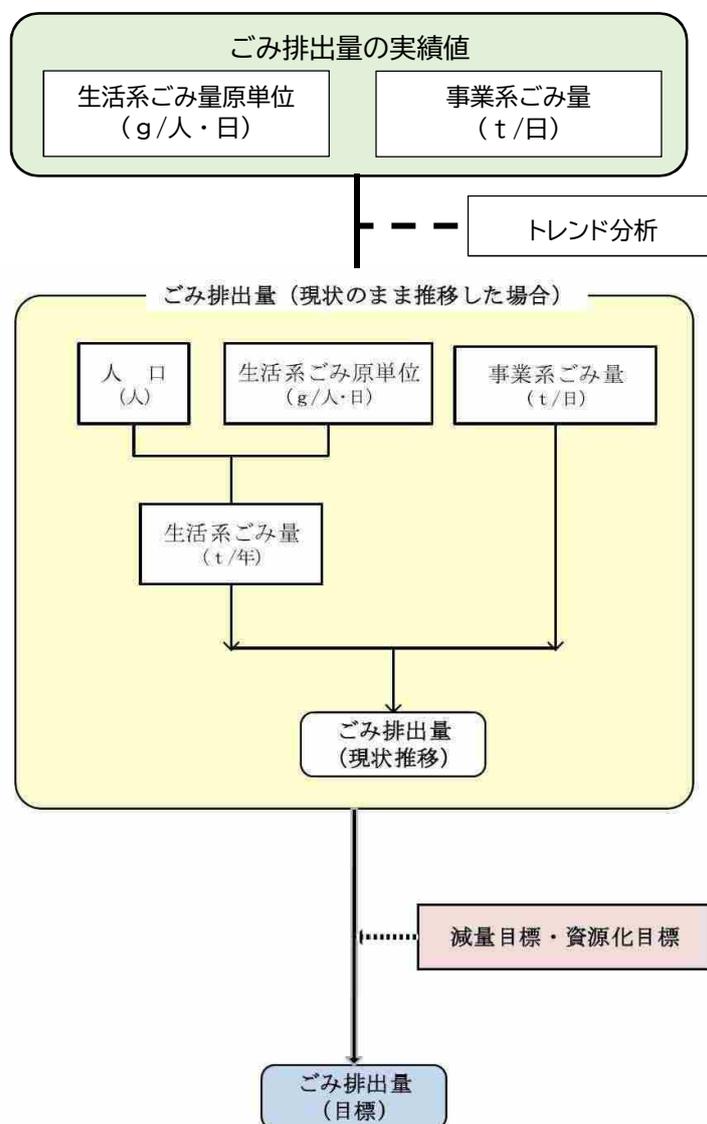


図 6-1 推計手順

将来ごみ排出量は、以下に示す6つの推定式を用いて推計しました。

表 6-1 トレンド分析に用いる推定式

回析式	推定式	式の傾向及び特徴
① 直線式 (1次関数式)	$y=ax+b$	最も基本となる式であり、傾きが一定で直線的に推移する式である。直線的に増加または減少することから、長期的な予測では不自然な傾向となってしまうことがある。
② 二次式 (2次関数式)	$y=ax+bx^2+c$	増減の大きな傾向曲線を示す場合が多く、実績値によっては傾向曲線の中に極地を含み、増減の逆転が生じてしまう場合がある。
③ 指数式	$y=bx^a$	実績値にばらつきが少ない場合に良く適合する式である。また、多くの場合において実績値の増減率が徐々に大きくなることから長期的な予測では不自然な傾向となってしまうことがある。
④ べき乗式	$y=x^a \cdot b+c$	指数式と同様に、徐々に増加率が大きくなっていく式である。
⑤ 対数式	$y=a \cdot \log(x)+b$	徐々に増減率が収束していくような式である。
⑥ ロジスティックス式	$y=K/(1+bexp(-ax))$	経過の初期の間は増加速度が増加し、中間で増加速度が最大になり、以後は増加速度が減少し、無限年後に定数Kに達する式である。一般的に飽和値Kはその環境下で存在できる最大値を示す定数であり、yが増加するにつれ、増加率は抑制され、最終的には飽和値に収束する。

2. ごみ排出量の将来予測（現状のまま推移した場合）

平成26年度（2014年度）から令和5年度（2023年度）までの過去9年間（令和2年度（2020年度）を除く※）の実績値を対象に、トレンド分析を行いました。分析結果を「3. 将来予測結果」に示します。また、現状のまま推移した場合のごみ排出量の将来予測を表6-2に示します。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、通常と異なる傾向を示しているため、推計の対象から除外します。

表6-2 ごみ排出量の将来予測（現状のまま推移した場合）

項目		年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
人口		人	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027	
日数		日	366	365	365	365	366	365	365	
生活系ごみ		g/人・日	613.7	644.2	641.2	638.6	636.1	633.8	631.7	
		t	57,174	61,139	61,835	62,253	62,665	62,643	62,721	
可燃ごみ	資源ごみ	古紙・古布	g/人・日	42.3	43.1	42.9	42.7	42.5	42.3	42.1
		プラスチック製容器包装	g/人・日	10.9	11.7	12.5	13.3	14.0	14.6	15.2
		ペットボトル	g/人・日	8.1	8.1	8.3	8.5	8.7	8.9	9.1
		廃食用油	g/人・日	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		計（上記+燃やせるごみ）	g/人・日	549.9	577.0	574.6	572.5	570.5	568.7	566.9
不燃ごみ	資源ごみ	かん類	g/人・日	6.2	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.1
		びん類	g/人・日	15.5	16.1	15.9	15.7	15.6	15.4	15.3
		小型家電	g/人・日	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
		有害ごみ	g/人・日	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
		計（上記+燃やせないごみ）	g/人・日	42.4	45.2	44.7	44.2	43.8	43.4	43.1
粗大ごみ		g/人・日	20.5	21.1	21.1	21.1	21.0	21.0	21.0	
資源ごみ	資源（混在）	g/人・日	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	
事業系ごみ		t/日	102.71	101.87	102.29	102.67	103.05	103.40	103.75	
		t	37,592	37,183	37,336	37,475	37,716	37,741	37,869	
可燃ごみ	燃やせるごみ	t/日	60.43	61.64	61.37	61.13	60.90	60.69	60.50	
不燃ごみ	燃やせないごみ	t/日	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61	1.61	1.62	
粗大ごみ		t/日	0.25	0.27	0.25	0.24	0.23	0.22	0.21	
資源ごみ		t/日	0.59	0.54	0.56	0.57	0.59	0.60	0.61	
事業者直接資源化（許可業者が運搬）		t/日	9.16	10.87	10.96	11.04	11.11	11.18	11.25	
事業者直接資源化（自社または資源化業者で運搬）		t/日	30.73	26.96	27.55	28.09	28.61	29.10	29.56	
総計		t/年	94,766	98,321	99,170	99,727	100,381	100,384	100,593	

※人口は、令和5年度に実施した市の人口推計（小地域・1歳階級）を基に算出しています。

3. 将来予測結果

次頁以降に分別項目ごとにトレンド分析を行った予測結果を示します。

(1) 生活系可燃ごみ（全体）

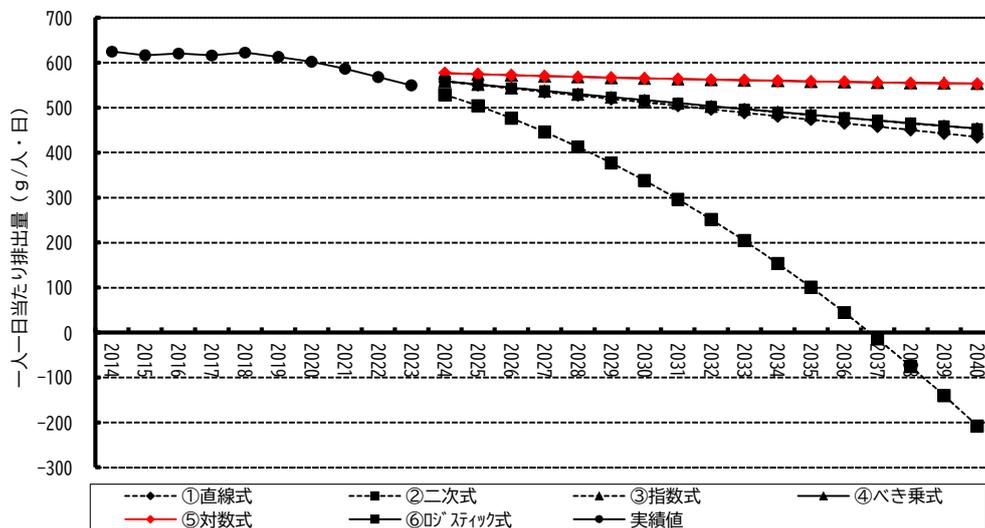
生活系可燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-3 に示します。

2018 年度（平成 30 年度）以降は年々減少していますが、それ以前は概ね一定で推移しています。今後も微減で推移すると考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-3 生活系可燃ごみ（全体）の推計値

単位：g/人・日

経過年数 (x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成(令和))			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	625								
2	2015	27	○	617								
3	2016	28	○	620								
4	2017	29	○	616								
5	2018	30	○	623								
6	2019	1	○	613								
7	2020	2		602								
8	2021	3	○	587								
9	2022	4	○	568								
10	2023	5	○	550								
11	2024	6			558.31	528.90	558.55	576.54	576.97	558.86	576.97	
12	2025	7			550.59	504.25	551.30	574.28	574.64	551.64	574.64	
13	2026	8			542.88	476.75	544.14	572.20	572.49	544.51	572.49	
14	2027	9			535.16	446.39	537.07	570.28	570.51	537.48	570.51	
15	2028	10			527.44	413.18	530.10	568.50	568.66	530.54	568.66	
16	2029	11			519.72	377.13	523.22	566.85	566.93	523.69	566.93	
17	2030	12			512.00	338.22	516.42	565.29	565.30	516.92	565.30	
18	2031	13			504.29	296.45	509.72	563.83	563.77	510.25	563.77	
19	2032	14			496.57	251.84	503.10	562.45	562.32	503.66	562.32	
20	2033	15			488.85	204.37	496.57	561.15	560.95	497.15	560.95	
21	2034	16			481.13	154.05	490.12	559.91	559.64	490.73	559.64	
22	2035	17			473.41	100.88	483.76	558.74	558.39	484.39	558.39	
23	2036	18			465.70	44.86	477.48	557.61	557.20	478.14	557.20	
24	2037	19			457.98	-14.02	471.28	556.54	556.06	471.96	556.06	
25	2038	20			450.26	-75.74	465.16	555.51	554.97	465.86	554.97	
26	2039	21			442.54	-140.32	459.12	554.53	553.92	459.85	553.92	
27	2040	22			434.82	-207.75	453.16	553.58	552.91	453.91	552.91	
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用				
	定数 a	643.210667	611.839537	644.906036	642.633472	641.22802	8.21E+21					
	定数 b	-7.71804	8.14577	0.98702	-0.04526	-61.70478	-0.01300					
	定数 c		-1.42596									
	収束値 k						5.29E+24					
相関係数	0.89765	0.98648	0.89095	0.74077	0.74942	0.89098						
相関順位	2	1	4	6	5	3						



(2) 生活系古紙・古布

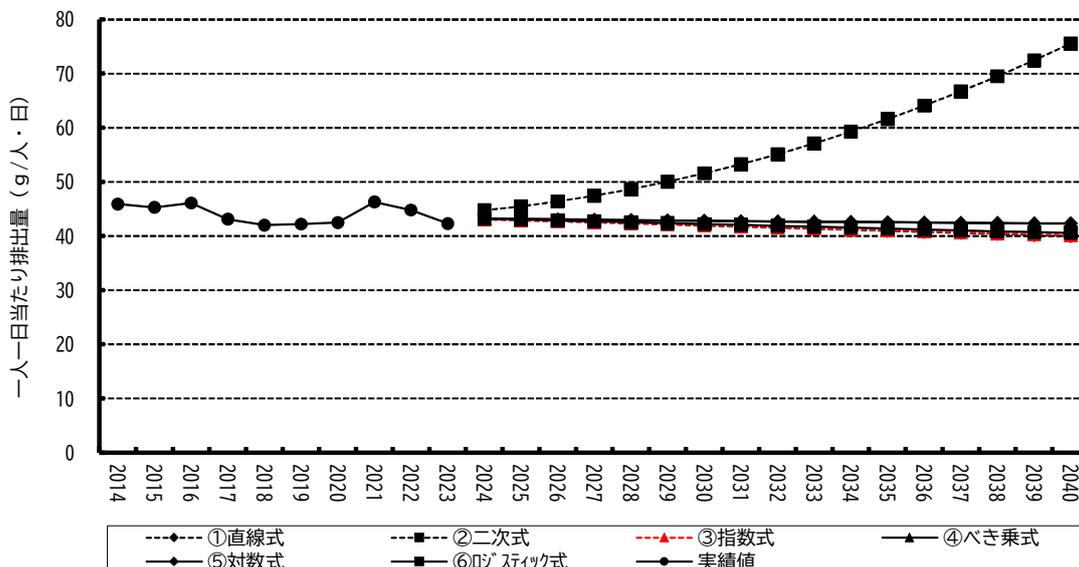
生活系古紙・古布量の推計値を表 6-4 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも微減傾向を示しています。今後も、微減で推移すると考えられるため、「③ 指数式」による推計結果を採用します。

表 6-4 生活系古紙・古布の推計値

単位：g/人・日

経過年数 (x)	年度			実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成)	(令和)		①直線式	②二次式	【採用式】 ③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	45.9								
2	2015	27	○	45.3								
3	2016	28	○	46.1								
4	2017	29	○	43.1								
5	2018	30	○	42.0								
6	2019	1	○	42.2								
7	2020	2		42.5								
8	2021	3	○	46.3								
9	2022	4	○	44.8								
10	2023	5	○	42.3								
11	2024	6			43.11	44.74	43.09	43.23	43.25	43.23	43.09	43.09
12	2025	7			42.92	45.48	42.90	43.14	43.16	43.06	42.90	42.90
13	2026	8			42.72	46.38	42.71	43.06	43.08	42.88	42.71	42.71
14	2027	9			42.53	47.44	42.52	42.98	43.01	42.71	42.52	42.52
15	2028	10			42.33	48.65	42.33	42.91	42.93	42.54	42.33	42.33
16	2029	11			42.13	50.03	42.14	42.85	42.87	42.37	42.14	42.14
17	2030	12			41.94	51.56	41.96	42.79	42.80	42.20	41.96	41.96
18	2031	13			41.74	53.25	41.77	42.73	42.75	42.04	41.77	41.77
19	2032	14			41.55	55.09	41.58	42.68	42.69	41.87	41.58	41.58
20	2033	15			41.35	57.10	41.40	42.63	42.64	41.70	41.40	41.40
21	2034	16			41.15	59.26	41.22	42.58	42.59	41.53	41.22	41.22
22	2035	17			40.96	61.58	41.03	42.53	42.54	41.37	41.03	41.03
23	2036	18			40.76	64.06	40.85	42.49	42.49	41.20	40.85	40.85
24	2037	19			40.57	66.70	40.67	42.44	42.45	41.04	40.67	40.67
25	2038	20			40.37	69.49	40.49	42.40	42.41	40.87	40.49	40.49
26	2039	21			40.18	72.44	40.31	42.36	42.37	40.71	40.31	40.31
27	2040	22			39.98	75.55	40.13	42.33	42.33	40.55	40.13	40.13
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$			指数式による予測を採用	
	定数 a	45.2666667		47.0033898	45.2498388	45.7328572	45.73369	5.48E+22				
	定数 b	-0.19583		-1.07406	0.99556	-0.02348	-2.38041	-0.00400				
	定数 c			0.07894								
収束値 k								2.48E+24				
相関係数	0.34262		0.48317	0.34449	0.43648	0.43490	0.34431					
相関順位	6		1	4	2	3	5					



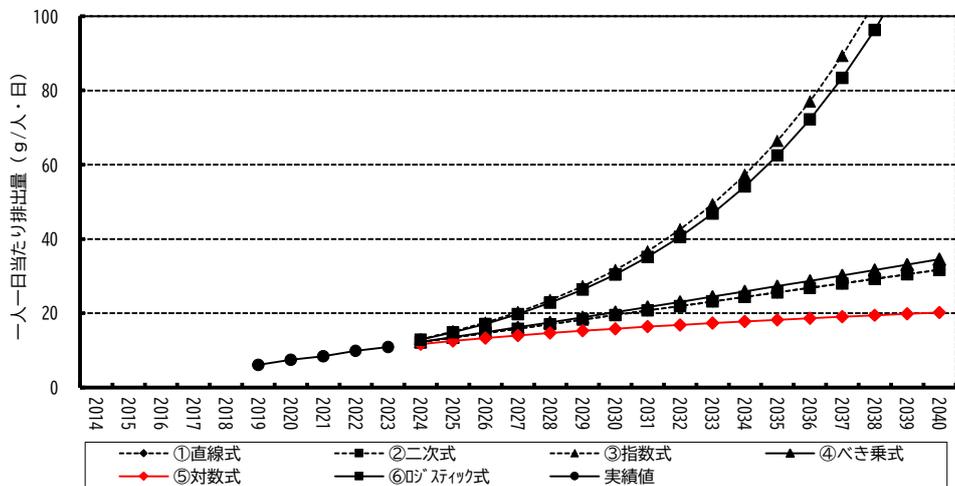
(3) 生活系プラスチック製容器包装

生活系プラスチック製容器包装量の推計値を表 6-5 に示します。

本市では、令和元年（2019年）4月に分別回収を開始し、令和4年（2022年）10月から回収回数を月2回から月4回に増加しています。令和元年（2019年）以降、実績値は年々増加していますが、このまま急激に増加するとも考え難いため、最も増加傾向が小さい「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-5 生活系プラスチック製容器包装の推計値

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥Dシフト式		
1	2014	26										
2	2015	27										
3	2016	28										
4	2017	29										
5	2018	30										
6	2019	1	○	6.1								
7	2020	2		7.4								
8	2021	3	○	8.4								
9	2022	4	○	9.9								
10	2023	5	○	10.9								
11	2024	6			12.18	12.18	12.97	12.26	11.70	12.83	11.70	
12	2025	7			13.40	13.40	15.05	13.56	12.52	14.82	12.52	
13	2026	8			14.62	14.62	17.46	14.87	13.28	17.12	13.28	
14	2027	9			15.84	15.84	20.25	16.20	13.97	19.77	13.97	
15	2028	10			17.06	17.06	23.49	17.54	14.62	22.83	14.62	
16	2029	11			18.28	18.28	27.25	18.89	15.23	26.36	15.23	
17	2030	12			19.50	19.50	31.61	20.26	15.80	30.45	15.80	
18	2031	13			20.72	20.72	36.67	21.64	16.34	35.16	16.34	
19	2032	14			21.94	21.94	42.54	23.04	16.85	40.61	16.85	
20	2033	15			23.16	23.16	49.35	24.44	17.34	46.90	17.34	
21	2034	16			24.38	24.38	57.24	25.86	17.80	54.16	17.80	
22	2035	17			25.60	25.60	66.41	27.28	18.24	62.55	18.24	
23	2036	18			26.82	26.82	77.03	28.72	18.65	72.24	18.65	
24	2037	19			28.04	28.04	89.36	30.17	19.06	83.43	19.06	
25	2038	20			29.26	29.26	103.67	31.62	19.44	96.35	19.44	
26	2039	21			30.48	30.48	120.26	33.08	19.81	111.27	19.81	
27	2040	22			31.70	31.70	139.50	34.56	20.17	128.50	20.17	
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用	
				定数 a	-1.24	-1.24	2.53363849	0.77088	-10.90178	3.32E+21		
				定数 b	1.22000	1.22000	1.16005	1.15383	21.70471	0.14400		
				定数 c		0.00000						
				収束値 k					8.73E+21			
				相関係数	0.99832	0.99832	0.99407	0.99826	0.99540	0.99432		
				相関順位	1	2	6	3	4	5		



(4) 生活系ペットボトル

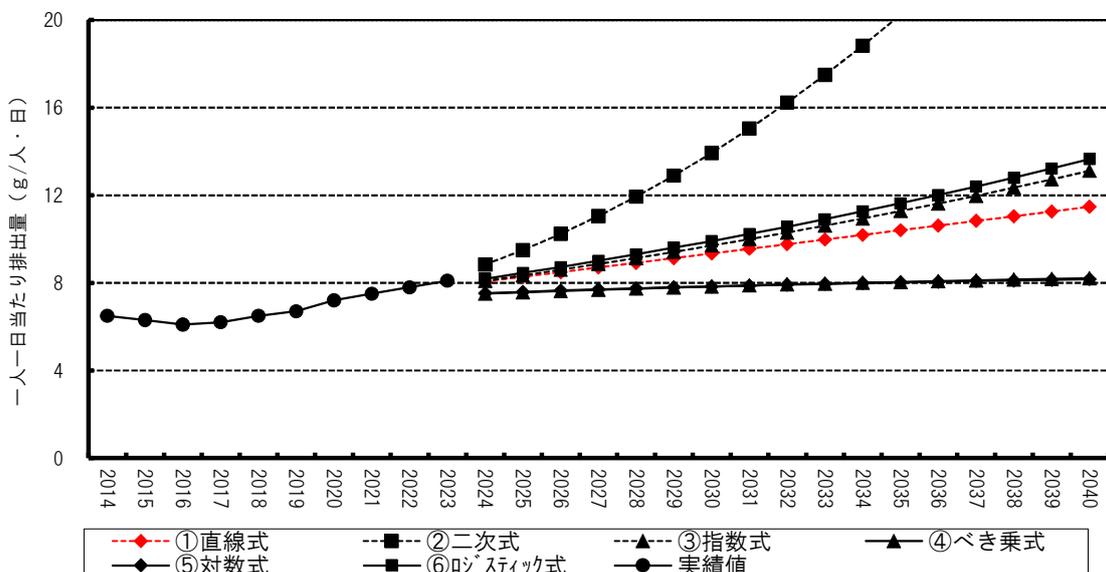
生活系ペットボトル量の推計値を表 6-6 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は年々増加しており、今後も増加すると考えられるため、「①直線式」による推計結果を採用します。

表 6-6 生活系ペットボトルの推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成) (令和)			【採用式】 ①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	6.5	5.9							
2	2015	27	○	6.3	6.1							
3	2016	28	○	6.1	6.4							
4	2017	29	○	6.2	6.6							
5	2018	30	○	6.5	6.8							
6	2019	1	○	6.7	7.0							
7	2020	2		7.2	7.2							
8	2021	3	○	7.5	7.4							
9	2022	4	○	7.8	7.6							
10	2023	5	○	8.1	7.8							
11	2024	6			8.06	8.84	8.09	7.50	7.52	8.18	8.06	
12	2025	7			8.28	9.50	8.34	7.56	7.59	8.45	8.28	
13	2026	8			8.49	10.24	8.60	7.63	7.64	8.72	8.49	
14	2027	9			8.70	11.05	8.86	7.68	7.70	9.00	8.70	
15	2028	10			8.91	11.93	9.13	7.74	7.75	9.30	8.91	
16	2029	11			9.13	12.89	9.41	7.79	7.79	9.60	9.13	
17	2030	12			9.34	13.93	9.70	7.84	7.84	9.91	9.34	
18	2031	13			9.55	15.04	9.99	7.88	7.88	10.23	9.55	
19	2032	14			9.77	16.23	10.30	7.92	7.92	10.57	9.77	
20	2033	15			9.98	17.49	10.62	7.97	7.95	10.91	9.98	
21	2034	16			10.19	18.83	10.94	8.01	7.99	11.26	10.19	
22	2035	17			10.40	20.25	11.28	8.04	8.02	11.63	10.40	
23	2036	18			10.62	21.74	11.62	8.08	8.05	12.01	10.62	
24	2037	19			10.83	23.30	11.98	8.11	8.08	12.40	10.83	
25	2038	20			11.04	24.94	12.34	8.15	8.11	12.80	11.04	
26	2039	21			11.26	26.65	12.72	8.18	8.14	13.22	11.26	
27	2040	22			11.47	28.45	13.11	8.21	8.17	13.65	11.47	
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$			直線式による予測を採用	
	定数 a	5.72	6.54881356	5.80753121	5.88289486	5.81058	2.00E+22					
	定数 b	0.21292	-0.20620	1.03062	0.10119	1.64573	0.03200					
	定数 c		0.03767									
	収束値 k						1.15E+23					
相関係数	0.90355	0.98586	0.91738	0.75236	0.72930	0.91817						
相関順位	4	1	3	5	6	2						



(5) 生活系廃食用油

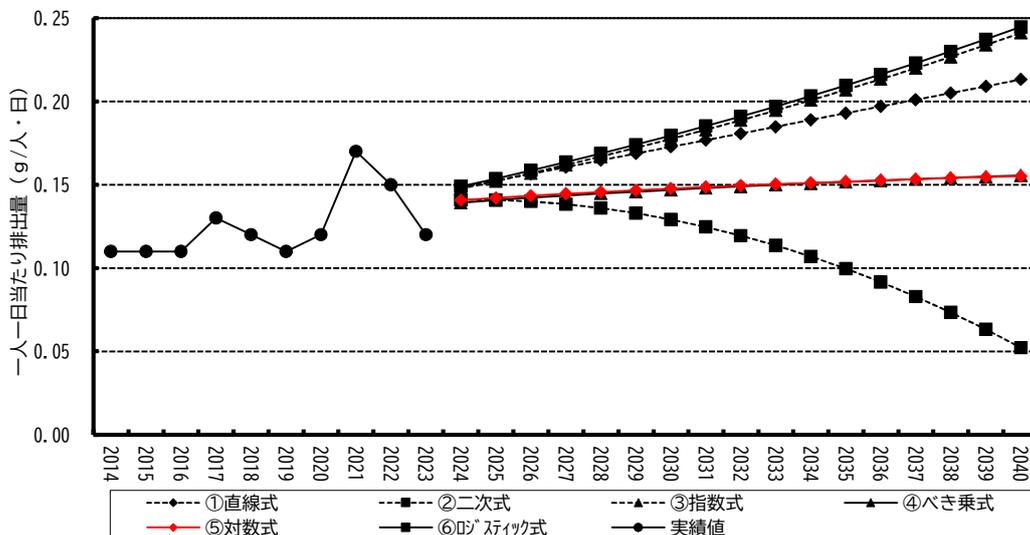
生活系廃食用油量の推計値を表 6-7 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は概ね一定若しくは微増傾向にあるため、今後も微増傾向で推移する「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-7 生活系廃食用油の推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】			
									⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	0.11								
2	2015	27	○	0.11								
3	2016	28	○	0.11								
4	2017	29	○	0.13								
5	2018	30	○	0.12								
6	2019	1	○	0.11								
7	2020	2		0.12								
8	2021	3	○	0.17								
9	2022	4	○	0.15								
10	2023	5	○	0.12								
11	2024	6			0.15	0.14	0.15	0.14	0.14	0.15	0.15	0.14
12	2025	7			0.15	0.14	0.15	0.14	0.14	0.15	0.15	0.14
13	2026	8			0.16	0.14	0.16	0.14	0.14	0.16	0.16	0.14
14	2027	9			0.16	0.14	0.16	0.14	0.14	0.16	0.16	0.14
15	2028	10			0.16	0.14	0.17	0.14	0.14	0.15	0.17	0.15
16	2029	11			0.17	0.13	0.17	0.15	0.15	0.15	0.17	0.15
17	2030	12			0.17	0.13	0.18	0.15	0.15	0.15	0.18	0.15
18	2031	13			0.18	0.12	0.18	0.15	0.15	0.15	0.19	0.15
19	2032	14			0.18	0.12	0.19	0.15	0.15	0.15	0.19	0.15
20	2033	15			0.18	0.11	0.19	0.15	0.15	0.15	0.20	0.15
21	2034	16			0.19	0.11	0.20	0.15	0.15	0.15	0.20	0.15
22	2035	17			0.19	0.10	0.21	0.15	0.15	0.15	0.21	0.15
23	2036	18			0.20	0.09	0.21	0.15	0.15	0.15	0.22	0.15
24	2037	19			0.20	0.08	0.22	0.15	0.15	0.15	0.22	0.15
25	2038	20			0.21	0.07	0.23	0.15	0.15	0.15	0.23	0.15
26	2039	21			0.21	0.06	0.23	0.15	0.15	0.15	0.24	0.15
27	2040	22			0.21	0.05	0.24	0.16	0.16	0.15	0.24	0.16
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+e^{-bx})$	対数式による予測を採用	
				定数 a	0.104	0.09614689	0.105395	0.10364826	0.10191	2.13E+22		
				定数 b	0.00404	0.00801	1.03113	0.12325	0.03724	0.03100		
				定数 c		-0.00036						
				収束値 k						2.26E+21		
				相関係数	0.60065	0.61473	0.59490	0.58592	0.57800	0.59483		
相関順位	2	1	3	5	6	4						



(6) 生活系不燃ごみ（全体）

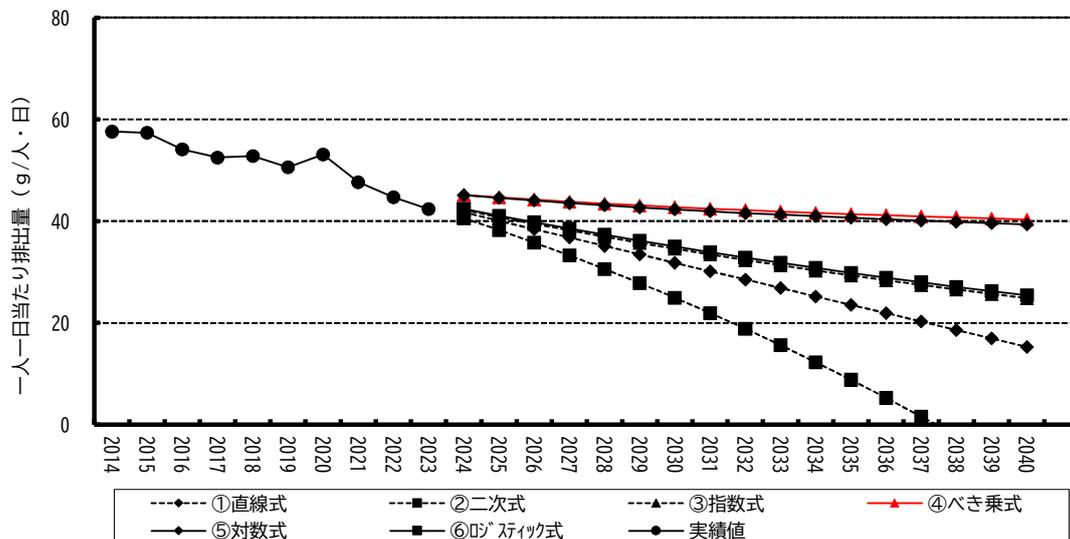
生活系不燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-8 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあります。今後急激に減少し続けるとは考え難いため、最も減少傾向が小さい「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-8 生活系不燃ごみ（全体）の推計値

単位：g/人・日

経過年数(x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成/令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	57.6							
2	2015	27	○	57.4							
3	2016	28	○	54.1							
4	2017	29	○	52.5							
5	2018	30	○	52.8							
6	2019	1	○	50.6							
7	2020	2		53.1							
8	2021	3	○	47.7							
9	2022	4	○	44.7							
10	2023	5	○	42.4							
11	2024	6			41.73	40.57	42.17	45.18	45.10	42.43	45.18
12	2025	7			40.08	38.25	40.80	44.68	44.55	41.09	44.68
13	2026	8			38.43	35.82	39.48	44.24	44.04	39.80	44.24
14	2027	9			36.78	33.27	38.20	43.82	43.56	38.55	43.82
15	2028	10			35.13	30.62	36.96	43.44	43.12	37.33	43.44
16	2029	11			33.48	27.85	35.76	43.09	42.71	36.16	43.09
17	2030	12			31.83	24.96	34.60	42.76	42.32	35.02	42.76
18	2031	13			30.18	21.97	33.48	42.46	41.96	33.91	42.46
19	2032	14			28.53	18.86	32.39	42.17	41.61	32.85	42.17
20	2033	15			26.88	15.64	31.34	41.90	41.28	31.81	41.90
21	2034	16			25.23	12.30	30.33	41.64	40.97	30.81	41.64
22	2035	17			23.58	8.86	29.34	41.40	40.67	29.84	41.40
23	2036	18			21.92	5.30	28.39	41.16	40.39	28.90	41.16
24	2037	19			20.27	1.62	27.47	40.94	40.12	27.99	40.94
25	2038	20			18.62	-2.16	26.58	40.73	39.86	27.11	40.73
26	2039	21			16.97	-6.06	25.72	40.53	39.60	26.25	40.53
27	2040	22			15.32	-10.07	24.88	40.34	39.36	25.43	40.34
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$		べき乗式による予測を採用	
	定数 a	59.8933333		58.6537853	60.6135769	61.1333137	60.43771	1.07E+21			
	定数 b	-1.65083		-1.02402	0.96756	-0.12614	-14.72341	-0.03200			
	定数 c			-0.05634							
収束値 k							6.43E+22				
相関係数	0.98601		0.98950	0.98188	0.90189	0.91832	0.98202				
相関順位	2		1	4	6	5	3				



(7) 生活系かん類

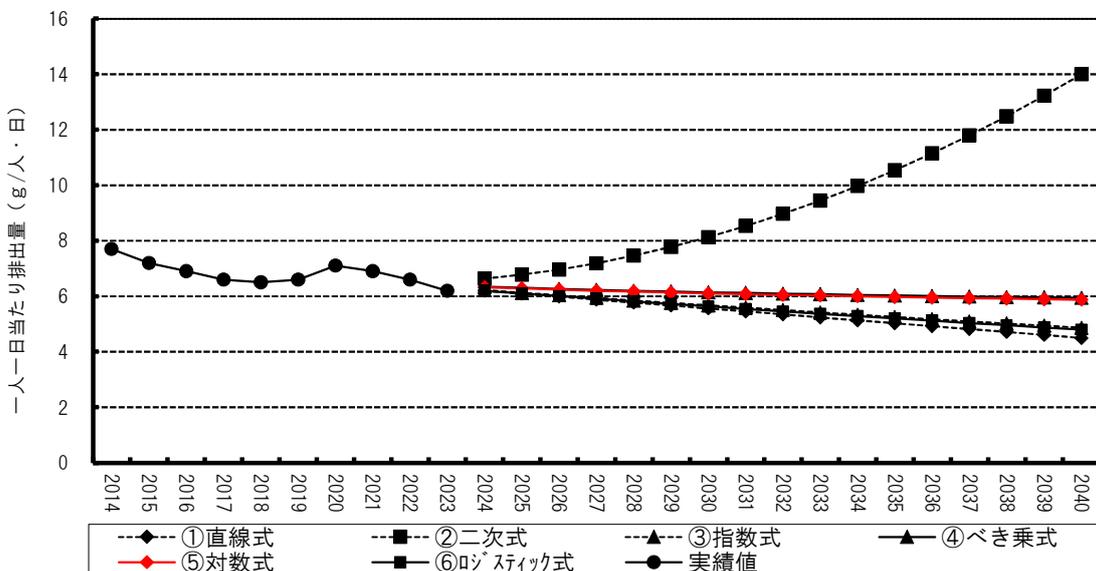
生活系かん類量の推計値を表 6-9 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあります。今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-9 生活系かん類の推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度			実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成)	推計 データ (令和) 採用		①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	7.70								
2	2015	27	○	7.20								
3	2016	28	○	6.90								
4	2017	29	○	6.60								
5	2018	30	○	6.50								
6	2019	1	○	6.60								
7	2020	2		7.10								
8	2021	3	○	6.90								
9	2022	4	○	6.60								
10	2023	5	○	6.20								
11	2024	6			6.20	6.63	6.22	6.34	6.33	6.20	6.33	6.33
12	2025	7			6.09	6.78	6.13	6.30	6.28	6.10	6.28	6.28
13	2026	8			5.99	6.96	6.03	6.27	6.24	6.01	6.24	6.24
14	2027	9			5.88	7.19	5.94	6.23	6.20	5.91	6.20	6.20
15	2028	10			5.77	7.46	5.85	6.20	6.17	5.82	6.17	6.17
16	2029	11			5.67	7.78	5.76	6.17	6.14	5.73	6.14	6.14
17	2030	12			5.56	8.13	5.67	6.14	6.11	5.64	6.11	6.11
18	2031	13			5.45	8.53	5.59	6.12	6.08	5.55	6.08	6.08
19	2032	14			5.35	8.97	5.50	6.10	6.05	5.46	6.05	6.05
20	2033	15			5.24	9.45	5.42	6.07	6.02	5.37	6.02	6.02
21	2034	16			5.14	9.97	5.33	6.05	6.00	5.29	6.00	6.00
22	2035	17			5.03	10.54	5.25	6.03	5.97	5.20	5.97	5.97
23	2036	18			4.92	11.15	5.17	6.01	5.95	5.12	5.95	5.95
24	2037	19			4.82	11.80	5.09	5.99	5.93	5.04	5.93	5.93
25	2038	20			4.71	12.49	5.02	5.97	5.91	4.96	5.91	5.91
26	2039	21			4.60	13.22	4.94	5.96	5.89	4.88	5.89	5.89
27	2040	22			4.50	14.00	4.86	5.94	5.87	4.80	5.87	5.87
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x+c \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用			
	定数 a	7.36666667	7.83050847	7.36760343	7.54772759	7.54107	1.94E+21					
	定数 b	-0.10625	-0.34081	0.98474	-0.07260	-1.16711	-0.01600					
	定数 c		0.02108									
	収束値 k						1.44E+22					
	相関係数	0.76087	0.84713	0.76792	0.87862	0.87277	0.76821					
相関順位	6	3	5	1	2	4						



(8) 生活系びん類

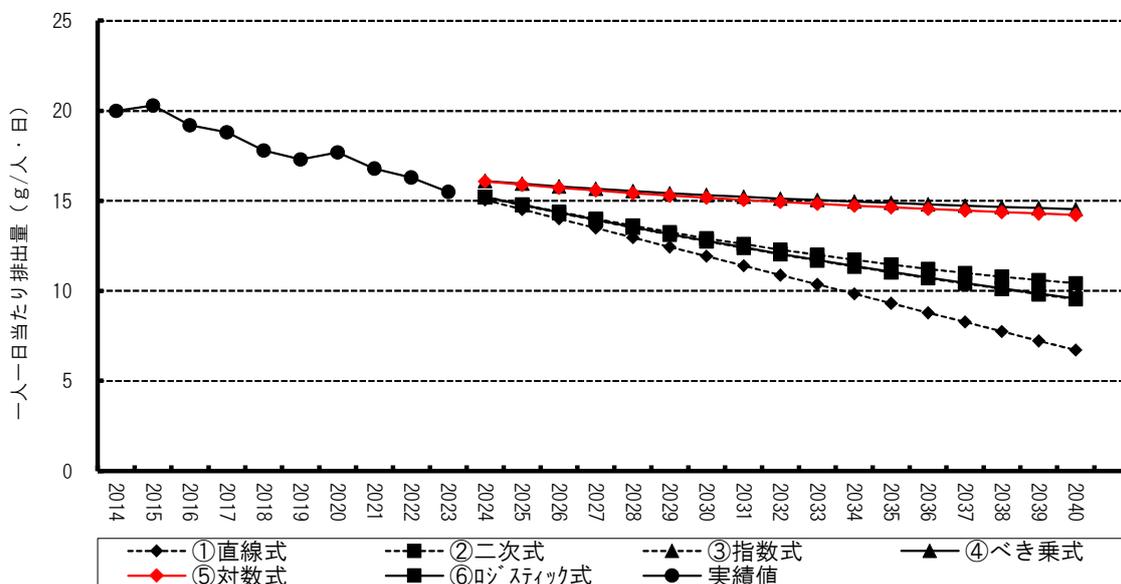
生活系びん類量の推計値を表 6-10 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向にあります。今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-10 生活系びん類の推計値

単位：g/人・日

経過年数(x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成(令和))			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	20.0								
2	2015	27	○	20.3								
3	2016	28	○	19.2								
4	2017	29	○	18.8								
5	2018	30	○	17.8								
6	2019	1	○	17.3								
7	2020	2		17.7								
8	2021	3	○	16.8								
9	2022	4	○	16.3								
10	2023	5	○	15.5								
11	2024	6			15.05	15.22	15.20	16.11	16.07	15.22	16.07	
12	2025	7			14.53	14.79	14.76	15.95	15.89	14.78	15.89	
13	2026	8			14.00	14.39	14.34	15.80	15.72	14.36	15.72	
14	2027	9			13.48	14.00	13.92	15.67	15.57	13.95	15.57	
15	2028	10			12.96	13.62	13.52	15.55	15.43	13.55	15.43	
16	2029	11			12.44	13.26	13.13	15.43	15.30	13.16	15.30	
17	2030	12			11.92	12.92	12.76	15.33	15.17	12.79	15.17	
18	2031	13			11.40	12.60	12.39	15.23	15.05	12.42	15.05	
19	2032	14			10.88	12.29	12.03	15.13	14.94	12.07	14.94	
20	2033	15			10.36	12.00	11.69	15.04	14.84	11.72	14.84	
21	2034	16			9.83	11.72	11.35	14.96	14.74	11.39	14.74	
22	2035	17			9.31	11.47	11.03	14.88	14.64	11.06	14.64	
23	2036	18			8.79	11.22	10.71	14.81	14.55	10.74	14.55	
24	2037	19			8.27	11.00	10.40	14.73	14.46	10.44	14.46	
25	2038	20			7.75	10.79	10.10	14.67	14.38	10.14	14.38	
26	2039	21			7.23	10.60	9.81	14.60	14.29	9.85	14.29	
27	2040	22			6.71	10.42	9.53	14.54	14.22	9.57	14.22	
備考	推計式				$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用	
	定数 a				20.78	20.9613559	20.9493077	21.1951191	21.01615	5.83E+20		
	定数 b				-0.52125	-0.61296	0.97124	-0.11441	-4.75012	-0.02900		
	定数 c					0.00824						
収束値 k									1.22E+22			
相関係数				0.98332	0.98406	0.98404	0.92198	0.93574	0.98404			
相関順位				4	1	2	6	5	3			



(9) 生活系小型家電

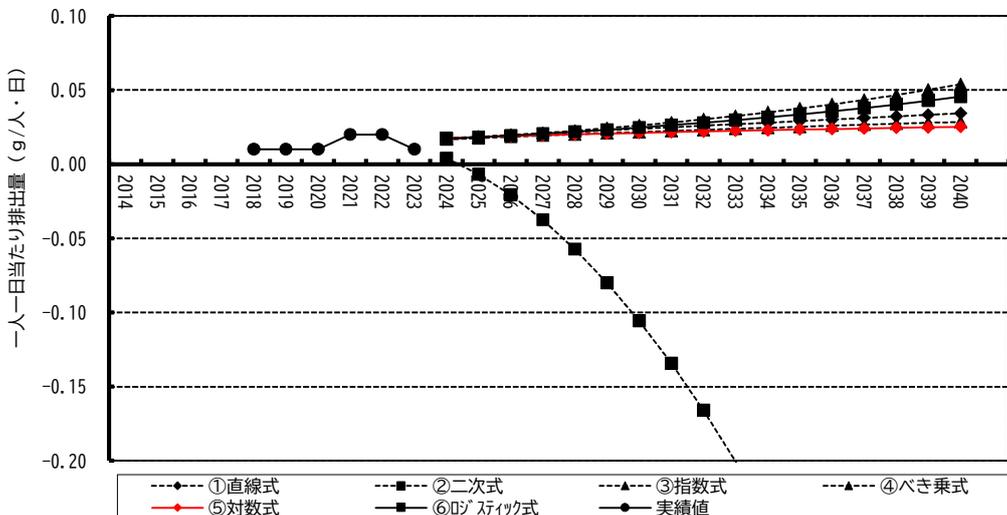
生活系小型家電量の推計値を表 6-11 に示します。

小型家電として集計を取り始めた 2018 年度(平成 30 年度)以降の実績値は概ね一定であることから、今後も概ね一定で推移すると考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-11 生活系小型家電の推計値

単位：g/人・日

経過年数(x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成(令和))			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥DZ スティック式		
1	2014	26										
2	2015	27										
3	2016	28										
4	2017	29										
5	2018	30	○	0.01								
6	2019	1	○	0.01								
7	2020	2		0.01								
8	2021	3	○	0.02								
9	2022	4	○	0.02								
10	2023	5	○	0.01								
11	2024	6			0.02	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
12	2025	7			0.02	-0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
13	2026	8			0.02	-0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
14	2027	9			0.02	-0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
15	2028	10			0.02	-0.06	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
16	2029	11			0.02	-0.08	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
17	2030	12			0.02	-0.11	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
18	2031	13			0.02	-0.13	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
19	2032	14			0.03	-0.17	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
20	2033	15			0.03	-0.20	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
21	2034	16			0.03	-0.24	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
22	2035	17			0.03	-0.28	0.04	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
23	2036	18			0.03	-0.32	0.04	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02
24	2037	19			0.03	-0.37	0.04	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02
25	2038	20			0.03	-0.42	0.05	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02
26	2039	21			0.03	-0.47	0.05	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02
27	2040	22			0.03	-0.52	0.05	0.03	0.03	0.02	0.05	0.03
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用			
	定数 a	0.00604651	-0.0709091	0.00760306	0.00404055	-0.00307	8.90E+17					
	定数 b	0.00105	0.02307	1.07523	0.59289	0.01970	0.06100					
	定数 c		-0.00148									
	収束値 k						7.80E+15					
	相関係数	0.39620	0.82343	0.36083	0.41958	0.45031	0.36666					
相関順位	4	1	6	3	2	5						



(10) 生活系有害ごみ

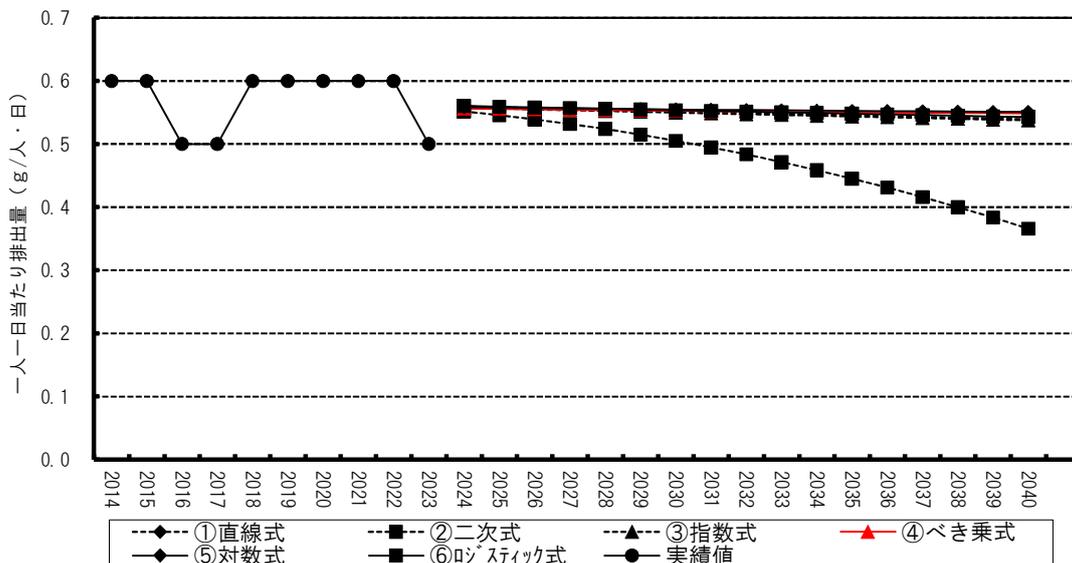
生活系有害ごみ量の推計値を表 6-12 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は概ね一定であることから、今後も概ね一定で推移すると考えられるため、「④ ベキ乗式」による推計結果を採用します。

表 6-12 生活系有害ごみの推計値

単位：g/人・日

経過年数 (x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値
	(西暦)	(平成(令和))			①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】 ④ベキ乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式	
1	2014	26	○	0.6							
2	2015	27	○	0.6							
3	2016	28	○	0.5							
4	2017	29	○	0.5							
5	2018	30	○	0.6							
6	2019	1	○	0.6							
7	2020	2	○	0.6							
8	2021	3	○	0.6							
9	2022	4	○	0.6							
10	2023	5	○	0.5							
11	2024	6			0.56	0.55	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
12	2025	7			0.56	0.55	0.56	0.56	0.56	0.56	0.56
13	2026	8			0.56	0.54	0.55	0.55	0.56	0.56	0.55
14	2027	9			0.56	0.53	0.55	0.55	0.56	0.56	0.55
15	2028	10			0.55	0.52	0.55	0.55	0.56	0.56	0.55
16	2029	11			0.55	0.51	0.55	0.55	0.56	0.55	0.55
17	2030	12			0.55	0.51	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
18	2031	13			0.55	0.49	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
19	2032	14			0.55	0.48	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
20	2033	15			0.55	0.47	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
21	2034	16			0.55	0.46	0.54	0.55	0.55	0.55	0.55
22	2035	17			0.55	0.45	0.54	0.55	0.55	0.55	0.55
23	2036	18			0.54	0.43	0.54	0.55	0.55	0.55	0.55
24	2037	19			0.54	0.42	0.54	0.55	0.55	0.55	0.55
25	2038	20			0.54	0.40	0.54	0.55	0.55	0.54	0.55
26	2039	21			0.54	0.38	0.54	0.55	0.55	0.54	0.55
27	2040	22			0.54	0.37	0.54	0.55	0.55	0.54	0.55
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$			
	定数 a	0.57333333	0.56485876	0.57152634	0.57783322	0.57935	1.34E+21				
	定数 b	-0.00125	0.00304	0.99772	-0.01582	-0.01998	-0.00200				
	定数 c		-0.00039								
収束値 k						7.67E+20					
相関係数	0.07906	0.09930	0.07889	0.13324	0.13195	0.07891	ベキ乗式による予測を採用				
相関順位	4	3	6	1	2	5					



(11) 生活系粗大ごみ

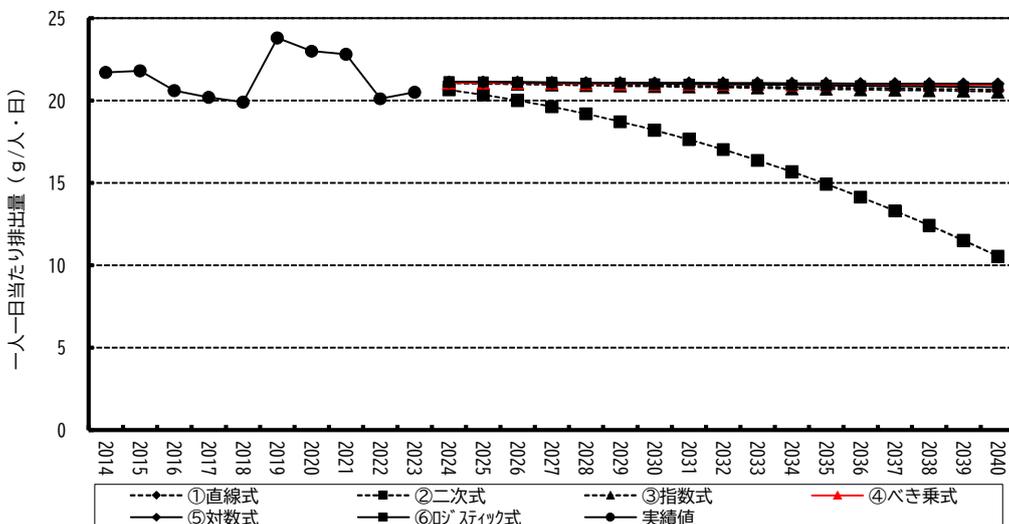
生活系粗大ごみ量の推計値を表 6-13 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向であることから、今後も減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-13 生活系粗大ごみの推計値

単位：g/人・日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式 【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	21.7								
2	2015	27	○	21.8								
3	2016	28	○	20.6								
4	2017	29	○	20.2								
5	2018	30	○	19.9								
6	2019	1	○	23.8								
7	2020	2		23.0								
8	2021	3	○	22.8								
9	2022	4	○	20.1								
10	2023	5	○	20.5								
11	2024	6			21.10	20.64	21.05	21.08	21.14	21.15	21.08	
12	2025	7			21.08	20.35	21.01	21.07	21.12	21.13	21.07	
13	2026	8			21.05	20.01	20.98	21.05	21.11	21.10	21.05	
14	2027	9			21.02	19.62	20.95	21.04	21.10	21.08	21.04	
15	2028	10			20.99	19.19	20.92	21.03	21.09	21.06	21.03	
16	2029	11			20.96	18.72	20.89	21.02	21.08	21.04	21.02	
17	2030	12			20.93	18.20	20.85	21.01	21.08	21.02	21.01	
18	2031	13			20.90	17.63	20.82	21.00	21.07	21.00	21.00	
19	2032	14			20.87	17.03	20.79	20.99	21.06	20.98	20.99	
20	2033	15			20.85	16.37	20.76	20.98	21.05	20.96	20.98	
21	2034	16			20.82	15.67	20.73	20.98	21.05	20.94	20.98	
22	2035	17			20.79	14.93	20.69	20.97	21.04	20.92	20.97	
23	2036	18			20.76	14.14	20.66	20.96	21.03	20.89	20.96	
24	2037	19			20.73	13.31	20.63	20.95	21.03	20.87	20.95	
25	2038	20			20.70	12.43	20.60	20.95	21.02	20.85	20.95	
26	2039	21			20.67	11.51	20.57	20.94	21.02	20.83	20.94	
27	2040	22			20.64	10.54	20.54	20.94	21.01	20.81	20.94	
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用	
				定数 a	21.42	20.9267797	21.4034555	21.4663362	21.46965	6.88E+19		
				定数 b	-0.02875	0.22066	0.99847	-0.00759	-0.31968	-0.00100		
				定数 c		-0.02242						
				収束値 k						1.47E+21		
				相関係数	0.06721	0.14570	0.06696	0.07826	0.07804	0.06705		
				相関順位	4	1	6	2	3	5		



(12) 生活系資源（混在）

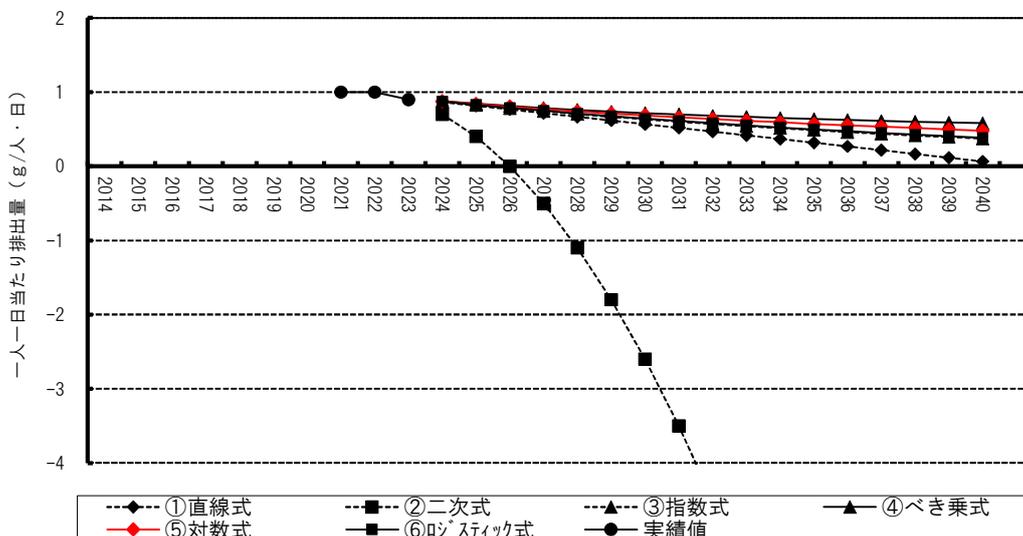
生活系資源（混在）量の推計値を表 6-14 に示します。

生活系資源（混在）は、2021 年度（令和 3 年度）以降の実績値しかありませんが、実績値は減少傾向で推移しています。今後も減少傾向のまま推移することが予測されますが、急激な減少は見込めないため、緩やかな減少になる「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-14 生活系資源（混在）の推計値

単位：g/人・日

経過年数 (x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26										
2	2015	27										
3	2016	28										
4	2017	29										
5	2018	30										
6	2019	1										
7	2020	2										
8	2021	3	○	1.0								
9	2022	4	○	1.0								
10	2023	5	○	0.9								
11	2024	6			0.87	0.70	0.87	0.88	0.88	0.87	0.88	0.88
12	2025	7			0.82	0.40	0.82	0.84	0.84	0.83	0.84	0.84
13	2026	8			0.77	0.00	0.78	0.81	0.80	0.79	0.80	0.80
14	2027	9			0.72	-0.50	0.74	0.79	0.77	0.75	0.77	0.77
15	2028	10			0.67	-1.10	0.70	0.76	0.74	0.71	0.74	0.74
16	2029	11			0.62	-1.80	0.67	0.74	0.71	0.68	0.71	0.71
17	2030	12			0.57	-2.60	0.63	0.72	0.69	0.64	0.69	0.69
18	2031	13			0.52	-3.50	0.60	0.70	0.66	0.61	0.66	0.66
19	2032	14			0.47	-4.50	0.57	0.68	0.64	0.58	0.64	0.64
20	2033	15			0.42	-5.60	0.54	0.67	0.61	0.55	0.61	0.61
21	2034	16			0.37	-6.80	0.51	0.65	0.59	0.52	0.59	0.59
22	2035	17			0.32	-8.10	0.49	0.64	0.57	0.50	0.57	0.57
23	2036	18			0.27	-9.50	0.46	0.62	0.55	0.47	0.55	0.55
24	2037	19			0.22	-11.00	0.44	0.61	0.53	0.45	0.53	0.53
25	2038	20			0.17	-12.60	0.42	0.60	0.52	0.43	0.52	0.52
26	2039	21			0.12	-14.30	0.39	0.59	0.50	0.41	0.50	0.50
27	2040	22			0.07	-16.10	0.37	0.58	0.48	0.39	0.48	0.48
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による予測を採用	
				定数 a	1.41666667	-2.6	1.55115862	2.6647554	1.93025	8.19E+18		
				定数 b	-0.05000	0.85000	0.94868	-0.46292	-1.01169	-0.05100		
				定数 c		-0.05000						
				収束値 k						1.25E+19		
				相関係数	0.86603	1.00000	0.85832	0.84160	0.84952	0.85857		
				相関順位	2	1	4	6	5	3		



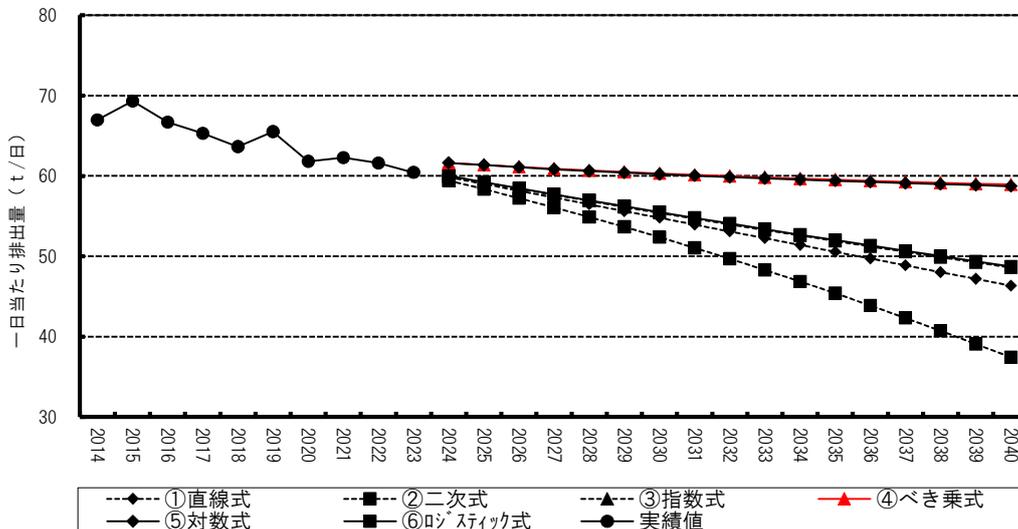
(13) 事業系可燃ごみ（全体）

事業系可燃ごみ（全体）量の推計値を表 6-15 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向で推移しています。今後も緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-15 事業系可燃ごみ（全体）の推計値

経過 年数 (x)	年度			実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 令和)	推計 データ 採用		①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】				⑥ロジスティック式
								④べき乗式	⑤対数式			
1	2014	26	○	66.98								
2	2015	27	○	69.32								
3	2016	28	○	66.70								
4	2017	29	○	65.30								
5	2018	30	○	63.65								
6	2019	1	○	65.49								
7	2020	2		61.80								
8	2021	3	○	62.28								
9	2022	4	○	61.61								
10	2023	5	○	60.43								
11	2024	6			59.85	59.44	59.96	61.64	61.62	60.01		61.64
12	2025	7			59.01	58.37	59.17	61.37	61.34	59.23		61.37
13	2026	8			58.16	57.25	58.40	61.13	61.09	58.46		61.13
14	2027	9			57.32	56.09	57.64	60.90	60.85	57.71		60.90
15	2028	10			56.47	54.89	56.89	60.69	60.62	56.96		60.69
16	2029	11			55.63	53.65	56.15	60.50	60.42	56.23		60.50
17	2030	12			54.78	52.37	55.42	60.31	60.22	55.50		60.31
18	2031	13			53.94	51.06	54.70	60.14	60.04	54.79		60.14
19	2032	14			53.10	49.70	53.98	59.98	59.86	54.08		59.98
20	2033	15			52.25	48.30	53.28	59.83	59.70	53.38		59.83
21	2034	16			51.41	46.87	52.58	59.68	59.54	52.69		59.68
22	2035	17			50.56	45.39	51.90	59.54	59.39	52.01		59.54
23	2036	18			49.72	43.88	51.22	59.41	59.25	51.34		59.41
24	2037	19			48.87	42.32	50.56	59.28	59.11	50.67		59.28
25	2038	20			48.03	40.73	49.90	59.16	58.98	50.02		59.16
26	2039	21			47.18	39.09	49.25	59.05	58.85	49.37		59.05
27	2040	22			46.34	37.42	48.60	58.94	58.73	48.74		58.94
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗式による予測を採用	
				定数 a	69.1453333	68.7099661	69.263532	69.4697468	69.35228	3.78E+19		
				定数 b	-0.84475	-0.62459	0.98697	-0.04989	-7.42134	-0.01300		
				定数 c		-0.01979						
				収束値 k						2.62E+21		
				相関係数	0.92839	0.92994	0.92739	0.84440	0.85171	0.92740		
				相関順位	2	1	4	6	5	3		



(14) 事業系不燃ごみ

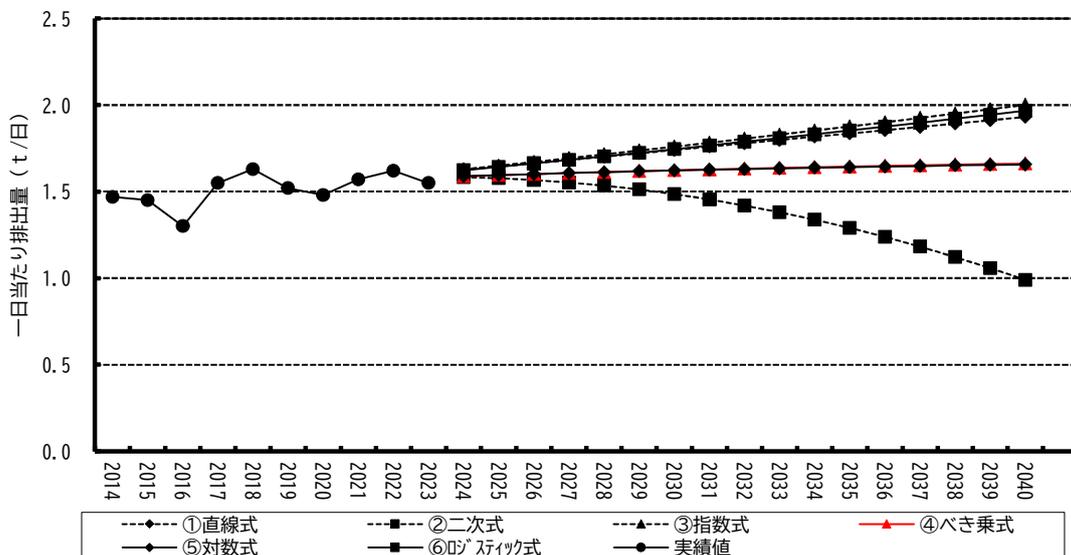
事業系不燃ごみ量の推計値を表 6-16 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも増加傾向で推移しています。今後も緩やかな増加傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-16 事業系不燃ごみの推計値

単位：t/日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値		
	(西暦)	(平成 令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式 【採用式】	⑤対数式	⑥ロジスティック式			
1	2014	26	○	1.47				1.4					
2	2015	27	○	1.45				1.5					
3	2016	28	○	1.30				1.5					
4	2017	29	○	1.55				1.5					
5	2018	30	○	1.63				1.5					
6	2019	1	○	1.52				1.5					
7	2020	2	○	1.48				1.6					
8	2021	3	○	1.57				1.6					
9	2022	4	○	1.62				1.6					
10	2023	5	○	1.55				1.6					
11	2024	6			1.63	1.58	1.63	1.59	1.59	1.62	1.59		
12	2025	7			1.65	1.58	1.65	1.60	1.60	1.64	1.60		
13	2026	8			1.66	1.57	1.67	1.60	1.60	1.66	1.60		
14	2027	9			1.68	1.55	1.69	1.61	1.61	1.68	1.61		
15	2028	10			1.70	1.53	1.72	1.61	1.61	1.70	1.61		
16	2029	11			1.72	1.51	1.74	1.62	1.62	1.72	1.62		
17	2030	12			1.74	1.49	1.76	1.62	1.62	1.74	1.62		
18	2031	13			1.76	1.45	1.78	1.63	1.63	1.77	1.63		
19	2032	14			1.78	1.42	1.81	1.63	1.63	1.79	1.63		
20	2033	15			1.80	1.38	1.83	1.64	1.63	1.81	1.64		
21	2034	16			1.82	1.34	1.85	1.64	1.64	1.83	1.64		
22	2035	17			1.84	1.29	1.88	1.64	1.64	1.85	1.64		
23	2036	18			1.85	1.24	1.90	1.65	1.64	1.88	1.65		
24	2037	19			1.87	1.18	1.93	1.65	1.65	1.90	1.65		
25	2038	20			1.89	1.12	1.95	1.66	1.65	1.92	1.66		
26	2039	21			1.91	1.06	1.98	1.66	1.65	1.94	1.66		
27	2040	22			1.93	0.99	2.00	1.66	1.66	1.97	1.66		
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$		$y=a+bx^2+c \cdot x$		$y=a \cdot b^x$		$y=a \cdot x^b$		$y=a+b \cdot \log x$		$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	
	定数 a	1.416		1.3700113		1.41423127		1.40661013		1.40701		1.53E+15	
	定数 b	0.01908		0.04234		1.01294		0.05060		0.17445		0.01200	
	定数 c			-0.00209									
	収束値 k											2.18E+15	
相関係数	0.59550		0.61685		0.59283		0.57278		0.56847		0.59301		
相関順位	2		1		4		5		6		3		



(15) 事業系粗大ごみ

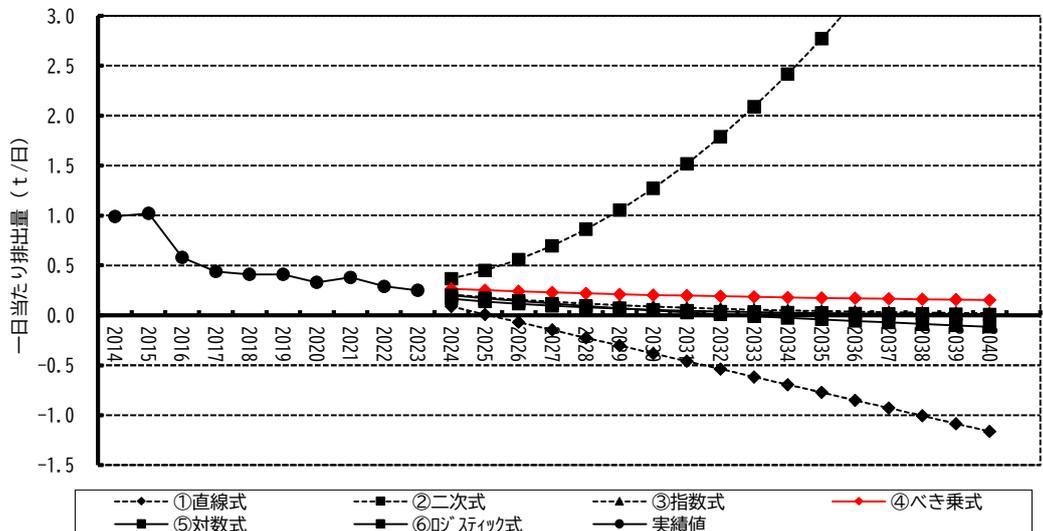
事業系粗大ごみ量の推計値を表 6-17 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は減少傾向で推移しています。今後は緩やかな減少傾向が続くと考えられるため、「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-17 事業系粗大ごみの推計値

単位：t/日

経過 年数 (x)	年度			実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 令和)	推計 データ 採用		①直線式	②二次式	③指数式	【採用式】 ④べき乗式	⑤対数式	⑥D' スティック式		
1	2014	26	○	0.99								
2	2015	27	○	1.02								
3	2016	28	○	0.58								
4	2017	29	○	0.44								
5	2018	30	○	0.41								
6	2019	1	○	0.41								
7	2020	2		0.33								
8	2021	3	○	0.38								
9	2022	4	○	0.29								
10	2023	5	○	0.25								
11	2024	6			0.09	0.37	0.21	0.27	0.20	0.16	0.27	
12	2025	7			0.01	0.45	0.18	0.25	0.17	0.14	0.25	
13	2026	8			-0.07	0.56	0.16	0.24	0.14	0.12	0.24	
14	2027	9			-0.15	0.70	0.14	0.23	0.12	0.10	0.23	
15	2028	10			-0.23	0.86	0.12	0.22	0.09	0.08	0.22	
16	2029	11			-0.30	1.05	0.10	0.21	0.07	0.07	0.21	
17	2030	12			-0.38	1.27	0.09	0.20	0.05	0.06	0.20	
18	2031	13			-0.46	1.52	0.08	0.20	0.03	0.05	0.20	
19	2032	14			-0.54	1.79	0.07	0.19	0.01	0.04	0.19	
20	2033	15			-0.62	2.09	0.06	0.18	-0.01	0.03	0.18	
21	2034	16			-0.69	2.42	0.05	0.18	-0.03	0.03	0.18	
22	2035	17			-0.77	2.77	0.04	0.17	-0.04	0.02	0.17	
23	2036	18			-0.85	3.15	0.04	0.17	-0.06	0.02	0.17	
24	2037	19			-0.93	3.56	0.03	0.17	-0.07	0.02	0.17	
25	2038	20			-1.01	4.00	0.03	0.16	-0.09	0.01	0.16	
26	2039	21			-1.08	4.46	0.02	0.16	-0.10	0.01	0.16	
27	2040	22			-1.16	4.95	0.02	0.15	-0.11	0.01	0.15	
備考	推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$					べき乗式による予測を採用
	定数 a	0.94666667	1.24502825	1.02185419	1.16107341	1.04282	6.91E+19					
	定数 b	-0.07813	-0.22900	0.86564	-0.61367	-0.80764	-0.18000					
	定数 c		0.01356									
	収束値 k						8.26E+19					
相関係数	0.86699	0.94312	0.92110	0.91792	0.93593	0.93013						
相関順位	6	1	4	5	2	3						



(16) 事業系資源ごみ（つくばサステナスクエア搬入分）

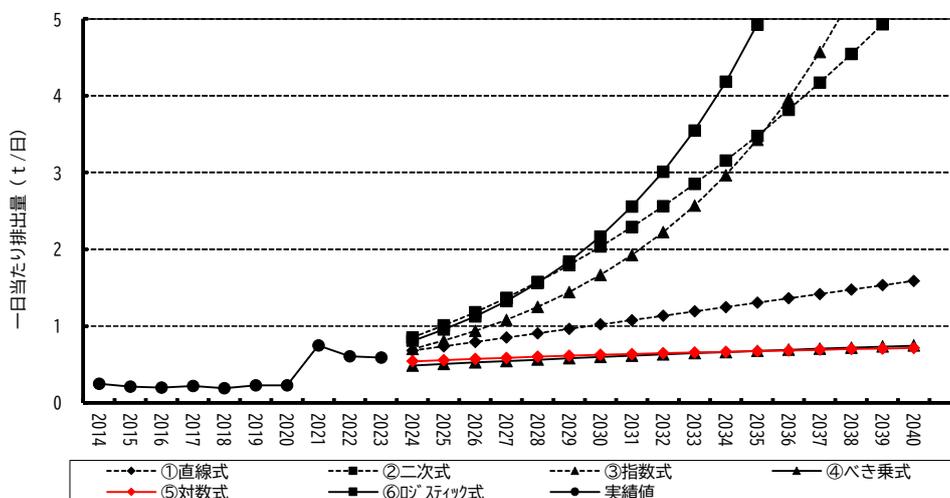
つくばサステナスクエアに搬入される事業系資源ごみ量の推計値を表 6-18 に示します。

実績値は 2021 年度（令和 3 年度）に大幅に増加し、それ以降は減少傾向で推移しています。今後も急激な増加は見込めませんので、最も緩やかな増加となる「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-18 事業系資源ごみの推計値

単位：t/日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成 令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	【採用式】 ⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	0.25								
2	2015	27	○	0.21								
3	2016	28	○	0.20								
4	2017	29	○	0.22								
5	2018	30	○	0.19								
6	2019	1	○	0.23								
7	2020	2		0.23								
8	2021	3	○	0.75								
9	2022	4	○	0.61								
10	2023	5	○	0.59								
11	2024	6			0.68	0.85	0.70	0.49	0.54	0.81	0.54	
12	2025	7			0.74	1.01	0.81	0.51	0.56	0.96	0.56	
13	2026	8			0.80	1.18	0.94	0.53	0.57	1.13	0.57	
14	2027	9			0.85	1.37	1.08	0.55	0.59	1.33	0.59	
15	2028	10			0.91	1.58	1.25	0.56	0.60	1.56	0.60	
16	2029	11			0.97	1.80	1.44	0.58	0.61	1.84	0.61	
17	2030	12			1.02	2.04	1.67	0.60	0.63	2.17	0.63	
18	2031	13			1.08	2.29	1.93	0.62	0.64	2.55	0.64	
19	2032	14			1.14	2.56	2.22	0.63	0.65	3.01	0.65	
20	2033	15			1.19	2.85	2.57	0.65	0.66	3.55	0.66	
21	2034	16			1.25	3.16	2.97	0.66	0.67	4.18	0.67	
22	2035	17			1.31	3.48	3.43	0.68	0.68	4.92	0.68	
23	2036	18			1.36	3.82	3.96	0.69	0.68	5.80	0.68	
24	2037	19			1.42	4.17	4.57	0.71	0.69	6.83	0.69	
25	2038	20			1.48	4.54	5.28	0.72	0.70	8.05	0.70	
26	2039	21			1.53	4.93	6.09	0.73	0.71	9.49	0.71	
27	2040	22			1.59	5.34	7.04	0.75	0.72	11.18	0.72	
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用	
				定数 a	0.05866667	0.24154802	0.14434625	0.15454416	0.07823	1.52E+20		
				定数 b	0.05671	-0.03577	1.15482	0.47839	0.44551	0.16400		
				定数 c		0.00831						
				収束値 k						2.02E+19		
				相関係数	0.80900	0.86026	0.84025	0.74747	0.66369	0.84136		



(17) 事業系直接資源化（許可業者が運搬）

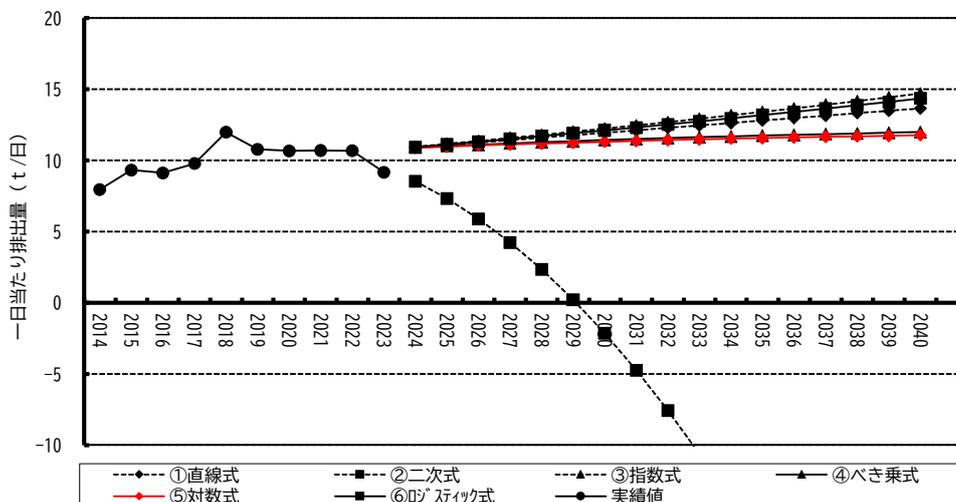
事業系直接資源化（許可業者が運搬）量の推計値を表 6-19 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増減しながらも増加傾向を示しています。今後も緩やかな増加が続くと考えられるため、「⑤ 対数式」による推計結果を採用します。

表 6-19 事業系直接資源化（許可業者が運搬）の推計値

単位：t/日

経過 年数 (x)	年度		推計 データ 採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成) (令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	7.96								
2	2015	27	○	9.32								
3	2016	28	○	9.12								
4	2017	29	○	9.78								
5	2018	30	○	11.98								
6	2019	1	○	10.78								
7	2020	2		10.67								
8	2021	3	○	10.69								
9	2022	4	○	10.68								
10	2023	5	○	9.16								
11	2024	6			10.91	8.53	10.96	10.91	10.87	10.93	10.87	
12	2025	7			11.09	7.33	11.16	11.01	10.96	11.12	10.96	
13	2026	8			11.26	5.89	11.37	11.10	11.04	11.31	11.04	
14	2027	9			11.43	4.23	11.58	11.19	11.11	11.50	11.11	
15	2028	10			11.60	2.33	11.79	11.27	11.18	11.70	11.18	
16	2029	11			11.77	0.20	12.01	11.35	11.25	11.90	11.25	
17	2030	12			11.94	-2.15	12.23	11.42	11.31	12.11	11.31	
18	2031	13			12.11	-4.74	12.46	11.49	11.36	12.31	11.36	
19	2032	14			12.29	-7.57	12.69	11.56	11.42	12.52	11.42	
20	2033	15			12.46	-10.62	12.92	11.62	11.47	12.74	11.47	
21	2034	16			12.63	-13.90	13.16	11.68	11.52	12.96	11.52	
22	2035	17			12.80	-17.42	13.41	11.74	11.57	13.18	11.57	
23	2036	18			12.97	-21.16	13.66	11.79	11.61	13.41	11.61	
24	2037	19			13.14	-25.14	13.91	11.85	11.65	13.64	11.65	
25	2038	20			13.32	-29.35	14.17	11.90	11.69	13.87	11.69	
26	2039	21			13.49	-33.79	14.43	11.95	11.73	14.11	11.73	
27	2040	22			13.66	-38.47	14.70	11.99	11.77	14.35	11.77	
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x+c \cdot x$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	対数式による 予測を採用	
				定数 a	9.026	6.48125424	8.95540663	8.45852942	8.48361	7.79E+18		
				定数 b	0.17158	1.45841	1.01851	0.10596	2.29541	0.01700		
				定数 c		-0.11567						
				収束値 k						7.06E+19		
				相関係数	0.45082	0.87477	0.43375	0.61404	0.62979	0.43501		
				相関順位	4	1	6	3	2	5		



(18) 事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）

事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）量の推計値を表 6-20 に示します。

2014 年度（平成 26 年度）以降、実績値は増加傾向で推移しています。本市は、多量排出事業者から提出される年次報告書により直接資源化した資源ごみ量の把握に努めており、今後も増加傾向で推移するものの、急激な増加は見込めないため、緩やかな増加となる「④ べき乗式」による推計結果を採用します。

表 6-20 事業系直接資源化（自社または資源化業者で運搬）の推計値

単位：t/日

経過年数 (x)	年度		推計データ採用	実績値	推計値(y)						採用値	
	(西暦)	(平成/令和)			①直線式	②二次式	③指数式	④べき乗式	⑤対数式	⑥ロジスティック式		
1	2014	26	○	14.71								
2	2015	27	○	21.25								
3	2016	28	○	18.88								
4	2017	29	○	18.16								
5	2018	30	○	21.61								
6	2019	1	○	20.98								
7	2020	2		21.86								
8	2021	3	○	24.97								
9	2022	4	○	25.54								
10	2023	5	○	30.73								
11	2024	6			29.49	31.63	30.30	26.96	26.73	30.54	26.96	
12	2025	7			30.84	34.20	32.21	27.55	27.19	32.49	27.55	
13	2026	8			32.18	36.98	34.24	28.09	27.60	34.57	28.09	
14	2027	9			33.52	39.97	36.40	28.61	27.99	36.78	28.61	
15	2028	10			34.87	43.16	38.69	29.10	28.35	39.14	29.10	
16	2029	11			36.21	46.57	41.13	29.56	28.68	41.64	29.56	
17	2030	12			37.56	50.18	43.73	30.01	29.00	44.30	30.01	
18	2031	13			38.90	53.99	46.48	30.43	29.29	47.14	30.43	
19	2032	14			40.25	58.02	49.41	30.84	29.57	50.15	30.84	
20	2033	15			41.59	62.25	52.53	31.23	29.84	53.36	31.23	
21	2034	16			42.94	66.68	55.84	31.60	30.10	56.77	31.60	
22	2035	17			44.28	71.33	59.36	31.97	30.34	60.41	31.97	
23	2036	18			45.63	76.18	63.11	32.32	30.57	64.27	32.32	
24	2037	19			46.97	81.24	67.08	32.66	30.79	68.38	32.66	
25	2038	20			48.32	86.51	71.31	32.99	31.00	72.75	32.99	
26	2039	21			49.66	91.98	75.81	33.31	31.21	77.41	33.31	
27	2040	22			51.01	97.66	80.59	33.62	31.40	82.36	33.62	
備考				推計式	$y=a+b \cdot x$	$y=a+b \cdot x^2$	$y=a \cdot b^x$	$y=a \cdot x^b$	$y=a+b \cdot \log x$	$y=k/(1+a \cdot e^{-bx})$	べき乗による予測を採用	
				定数 a	14.698	16.9756271	15.4653427	14.9640899	14.27078	8.22E+17		
				定数 b	1.34475	0.19300	1.06305	0.24556	11.96797	0.06200		
				定数 c		0.10353						
				収束値 k						1.27E+19		
				相関係数	0.90460	0.92076	0.91560	0.86247	0.84070	0.91573		
				相関順位	4	1	3	5	6	2		

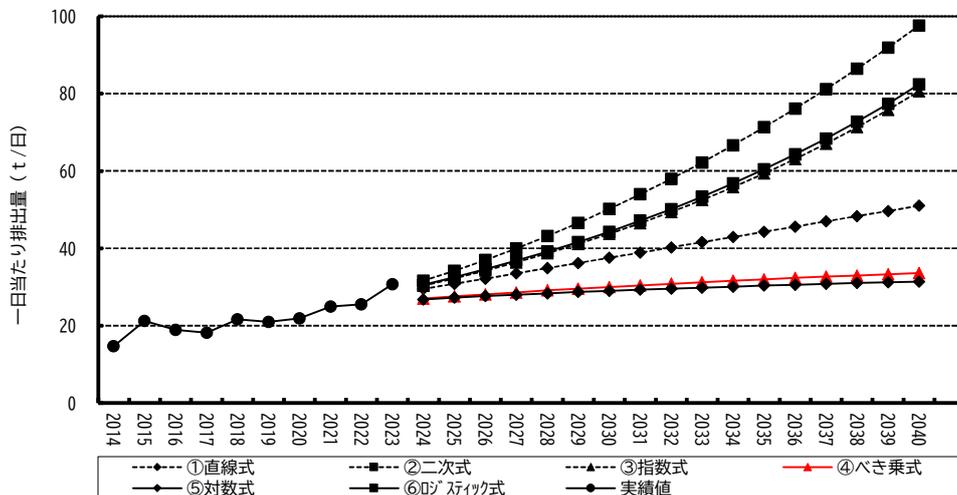


表 6-21 ごみ排出量の実績及び見込み (現状推移時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	366	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/年	56,583	56,723	57,415	57,720	59,100	59,541	59,535	58,965	58,154	57,178	61,138	61,835	62,253	62,665	62,643	62,723
燃やせるごみ	t/年	45,993	46,058	46,909	47,476	48,795	48,337	47,828	46,968	46,361	45,506	48,782	49,260	49,512	49,769	49,695	49,685
燃やせないごみ	t/年	2,354	2,385	2,274	2,232	2,372	2,261	2,426	2,100	1,943	1,882	2,105	2,110	2,113	2,106	2,093	2,093
粗大ごみ	t/年	1,738	1,777	1,700	1,693	1,688	2,065	2,022	2,044	1,846	1,914	2,003	2,035	2,057	2,069	2,076	2,085
資源ごみ	t/年	6,451	6,457	6,488	6,275	6,197	6,830	7,205	7,801	7,952	7,826	8,191	8,372	8,513	8,662	8,720	8,800
古紙・古布	t/年	3,687	3,689	3,811	3,613	3,576	3,654	3,738	4,153	4,113	3,939	4,090	4,137	4,163	4,187	4,181	4,180
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	751	910	1,017	1,110	1,205	1,297	1,379	1,443	1,509
ペットボトル	t/年	526	512	510	521	552	581	629	670	719	752	769	800	829	857	880	904
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10
資源(混在)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	90	80	85	77	78	79	69	70
かん	t/年	623	593	568	555	549	567	624	617	604	577	598	608	604	611	613	606
びん	t/年	1,606	1,654	1,590	1,575	1,509	1,492	1,553	1,503	1,496	1,449	1,528	1,533	1,530	1,537	1,522	1,519
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
有書ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
事業系ごみ	t/年	33,709	37,544	35,320	34,833	36,308	36,376	35,170	36,727	36,631	37,592	37,183	37,335	37,474	37,716	37,741	37,870
燃やせるごみ	t/年	24,447	25,371	24,344	23,836	23,234	23,968	22,557	22,731	22,490	22,120	22,499	22,400	22,312	22,289	22,152	22,083
燃やせないごみ	t/年	535	532	474	566	596	555	540	572	590	567	580	584	584	589	588	591
粗大ごみ	t/年	361	373	212	161	149	149	120	137	107	90	99	91	88	84	80	77
資源ごみ	t/年	88	78	71	78	69	85	83	273	226	213	197	204	208	216	219	223
古紙・古布	t/年	1	0	0	0	3	3	1	78	37	41	40	44	44	44	47	47
かん	t/年	19	19	16	17	12	13	18	77	62	53	59	54	54	58	55	59
びん	t/年	47	32	32	42	36	51	45	51	66	53	47	51	51	51	55	55
ペットボトル	t/年	21	27	23	19	18	18	19	54	47	52	40	44	44	48	47	47
資源(混在)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	13	14	14	11	11	15	15	15	15
直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,218	14,602	13,808	14,056	14,282	14,538	14,702	14,896
古紙・古布	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,881	14,272	13,468	13,712	13,935	14,183	14,340	14,534
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	161	164	168	172	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37
金属類	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	30	30	47	47	47	51	51	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	99	102	102
総ごみ量	t/年	90,292	94,267	92,735	92,553	95,408	95,917	94,705	95,692	94,785	94,770	98,321	99,170	99,727	100,381	100,384	100,593

表 6-22 ごみ排出量の実績及び見込み（現状推移時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
焼却処理量	t/年	75,416	76,524	76,152	75,814	76,224	75,366	72,930	73,452	72,581	71,429	75,177	75,625	75,838	76,122	75,930	75,881
可燃ごみ	t/年	70,440	71,429	71,253	71,312	72,029	72,305	70,385	69,699	68,851	67,626	71,281	71,660	71,824	72,058	71,847	71,768
中間処理後の可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,896	3,965	4,014	4,064	4,083	4,113
焼却残渣	t/年	11,078	11,117	11,139	10,592	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795	9,347	9,403	9,429	9,465	9,441	9,435
焼却残渣率	%	14.7%	14.5%	14.6%	14.0%	13.6%	12.8%	12.7%	12.6%	12.4%	12.3%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
破砕選別処理量	t/年	10,201	10,255	9,838	9,726	9,878	10,814	11,716	12,212	11,997	11,755	12,411	12,631	12,788	12,946	13,007	13,101
不燃ごみ	t/年	2,889	2,917	2,748	2,798	2,968	2,816	2,966	2,672	2,533	2,449	2,685	2,694	2,697	2,695	2,681	2,684
粗大ごみ	t/年	2,099	2,150	1,912	1,854	1,837	2,214	2,142	2,181	1,953	2,004	2,102	2,126	2,145	2,153	2,156	2,162
資源ごみ	t/年	5,166	5,142	5,134	5,030	5,025	5,736	6,554	7,203	7,351	7,252	7,567	7,753	7,888	8,039	8,111	8,195
かん	t/年	631	601	572	557	548	565	632	683	656	620	647	652	648	658	657	655
びん	t/年	1,644	1,673	1,614	1,611	1,540	1,538	1,595	1,552	1,560	1,501	1,573	1,582	1,579	1,586	1,575	1,572
古紙・古布	t/年	2,344	2,329	2,415	2,322	2,367	2,509	3,030	3,493	3,459	3,310	3,428	3,470	3,491	3,511	3,509	3,508
ペットボトル	t/年	547	539	533	540	570	599	648	724	766	804	809	844	873	905	927	951
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	751	910	1,017	1,110	1,205	1,297	1,379	1,443	1,509
有書ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
破砕選別処理後	t/年	10,199	10,256	9,839	9,727	9,879	10,938	11,715	12,212	11,994	11,849	12,448	12,688	12,857	13,037	13,108	13,208
資源物	t/年	4,455	4,646	4,442	4,427	5,155	5,125	7,219	7,425	7,579	7,332	7,714	7,870	7,980	8,099	8,147	8,211
缶	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	489	493	490	497	496	495
アルミカンプレス	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	310	307	310	308	312	312	311
スチールカンプレス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	182	183	182	185	184	184
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	137	138	138	138	138
その他金属廃材鉄	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄干地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	131	132	132	132	132
鉄・エレクトロニクス	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	6	6	6
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	969	976	981	982	980	981
破砕鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	855	860	861	859	860
破砕アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	121	121	121	121	121
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,347	3,388	3,409	3,428	3,426	3,425
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	425	428	430	430	430
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,101	1,114	1,121	1,128	1,127	1,127
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,464	1,483	1,491	1,499	1,499	1,498
紙パック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	362	366	369	371	370	370
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	642	670	693	719	736	755
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	381	397	411	426	436	448
常成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	261	273	282	293	300	307
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,275	1,282	1,279	1,285	1,276	1,274
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	110	110	110	111	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	183	184	184	184	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	135	135	135	134	134
びん残渣	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	848	853	850	855	849	847
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	860	926	985	1,030	1,077
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	860	926	985	1,030	1,077
有書ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	65	65	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	53	53	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12
可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,803	3,896	3,965	4,014	4,064	4,083	4,113
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	838	853	863	874	878	884

表 6-23 ごみ排出量の実績及び見込み（現状推移時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
資源化																		
中間処理後	t/年	14,355	17,478	16,331	16,492	19,064	20,143	20,569	21,979	33,160	36,430	24,237	24,663	25,009	25,397	25,603	25,858	
	t/年	4,704	4,895	4,689	4,977	5,563	7,345	7,945	8,197	9,926	9,926	9,704	9,872	9,987	10,114	10,157	10,219	
缶・プラスチック	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	489	493	490	497	496	495	495
アルミカン・プラスチック	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	307	310	308	312	312	312	311
スチール・ガラス	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	182	182	182	185	184	184	184
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	137	138	138	138	138	138
その他金属・木材	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
録土地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	131	132	132	132	132	132
録シロ・雑草	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	6	6	6	6
金属・プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	969	976	981	982	980	981	981
廃材	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	855	860	861	859	860	860
焼却アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	121	121	121	121	121	121
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,347	3,388	3,409	3,428	3,426	3,426	3,425	3,425
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	425	428	430	430	430	430
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,101	1,114	1,121	1,128	1,127	1,127	1,127
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,464	1,483	1,491	1,499	1,499	1,499	1,498
紙・パック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	362	366	369	371	370	370	370
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	642	670	693	719	736	755	755
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	306	433	381	397	411	426	436	448	448	448
密着	t/年	290	306	328	318	212	319	325	308	198	261	273	282	293	300	307	307	307
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,275	1,282	1,279	1,285	1,276	1,274	1,274
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	110	110	111	110	110	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	183	184	184	184	184	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	135	135	135	134	134	134
びん・残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	848	853	850	855	849	847	847
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	322	505	504	680	736	793	860	926	985	1,030	1,077	1,077
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	860	926	985	1,030	1,077	1,077
有蓋ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	65	65	65	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	53	53	53	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	6	5	18	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12	12
掃除機	t/年	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594	1,990	2,002	2,007	2,015	2,010	2,008	2,008
深層固化	t/年	249	249	247	250	248	245	250	250	199	675	444	446	448	449	448	448	448
再生砕石化	t/年	0	0	0	0	160	1,975	496	522	204	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却処理	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	1,940	1,919	1,546	1,556	1,559	1,566	1,562	1,560	1,560
通液資源化	t/年	1,373	1,393	1,425	1,323	1,241	1,179	734	768	719	693	725	735	740	745	744	743	743
牛乳パック	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
拠点回収	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10	10
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
集団回収	t/年	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702	680	713	722	727	732	731	730	730
総額	t/年	1,285	1,298	1,329	1,223	1,142	1,076	704	728	681	658	692	700	705	709	708	708	708
布類	t/年	23	23	25	26	25	32	4	8	9	11	9	10	10	10	10	10	10
金属類	t/年	11	11	12	15	13	15	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10
ガラス類	t/年	9	13	8	6	5	5	3	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2
事業者資源化	t/年	8,278	11,190	10,217	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	22,519	25,811	13,808	14,056	14,282	14,538	14,702	14,896	14,896
古紙	t/年	7,633	10,485	9,655	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	22,182	25,481	13,468	13,712	13,935	14,183	14,340	14,534	14,534
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	161	164	168	172	172	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37	37
金属	t/年	11	26	26	21	23	22	26	49	62	30	47	47	47	51	51	51	51
ペットボトル	t/年	271	274	142	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	102	102	102	102
リサイクル率	%	15.9%	18.5%	17.6%	17.8%	20.0%	21.0%	21.7%	23.0%	35.0%	38.4%	24.7%	24.9%	25.1%	25.3%	25.5%	25.7%	25.7%
最終処分																		
埋立処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	8,195	8,254	8,285	8,324	8,309	8,311	8,311
焼却残渣	t/年	10,829	10,868	10,892	10,342	9,987	7,464	8,500	8,492	6,657	6,201	7,357	7,401	7,422	7,450	7,431	7,427	7,427
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	838	853	863	874	878	884	884
最終処分率	%	12.8%	12.1%	12.3%	11.7%	11.0%	10.7%	11.0%	10.0%	7.7%	7.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%
最終処分量	g/人・日	144.3	139.6	137.9	129.5	123.7	117.9	119.1	106.3	80.1	74.2	86.3	85.6	85.0	84.5	84.1	83.7	83.7

表 6-24 ごみ排出量の実績及び見込み (現状推移時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	366	365	365	366	366	365	366	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	g/人・日	704.21	695.71	695.11	689.13	695.33	687.22	678.43	658.09	634.07	613.73	644.20	641.20	638.60	636.10	633.80	631.70
燃やせるごみ	g/人・日	572.40	564.80	568.10	567.00	574.00	557.70	545.10	524.20	505.60	488.50	514.00	510.80	507.90	505.20	502.80	500.40
燃やせないごみ	g/人・日	29.30	29.30	27.50	26.60	27.90	26.10	27.70	23.40	21.20	20.20	22.18	21.88	21.68	21.38	21.18	21.08
粗大ごみ	g/人・日	21.70	21.80	20.60	20.20	19.90	23.80	23.00	22.80	20.10	20.50	21.10	21.10	21.10	21.00	21.00	21.00
資源ごみ	g/人・日	80.21	79.21	78.41	74.83	72.93	79.02	82.03	87.09	86.57	84.03	86.32	86.82	87.32	87.92	88.22	88.62
古紙・古布	g/人・日	45.90	45.30	46.10	43.10	42.00	42.20	42.50	46.30	44.80	42.30	43.10	42.90	42.70	42.50	42.30	42.10
プラスチック製容器包装	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.10	7.40	8.40	9.90	10.90	11.70	12.50	13.30	14.00	14.60	15.20
ペットボトル	g/人・日	6.50	6.30	6.10	6.20	6.50	6.70	7.20	7.50	7.80	8.10	8.10	8.30	8.50	8.70	8.90	9.10
廃食用油	g/人・日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.12	0.11	0.12	0.17	0.15	0.12	0.12	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
資源(混在)	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.90	0.90	0.80	0.80	0.80	0.70	0.70
かん	g/人・日	7.70	7.20	6.90	6.60	6.50	6.60	7.10	6.90	6.60	6.20	6.30	6.30	6.20	6.20	6.20	6.10
びん	g/人・日	20.00	20.30	19.20	18.80	17.80	17.30	17.70	16.80	16.30	15.50	16.10	15.90	15.70	15.60	15.40	15.30
小型家電	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
有書ごみ	g/人・日	0.60	0.60	0.50	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
事業系ごみ	g/人・日	419.50	460.30	427.60	416.10	427.00	419.60	400.90	409.70	399.40	403.60	391.80	387.10	384.40	382.80	381.90	381.40
燃やせるごみ	g/人・日	304.30	311.10	294.80	284.70	273.30	276.50	257.10	253.60	245.30	237.50	237.50	232.20	228.90	226.10	224.20	222.40
燃やせないごみ	g/人・日	6.70	6.50	5.70	6.80	7.00	6.40	6.20	6.40	6.40	6.10	6.10	6.10	6.00	6.00	5.90	6.00
粗大ごみ	g/人・日	4.50	4.60	2.60	1.90	1.80	1.70	1.40	1.50	1.20	1.00	1.00	1.00	0.90	0.90	0.80	0.80
資源ごみ	g/人・日	1.00	0.80	0.80	0.90	0.70	0.90	1.00	3.00	2.50	2.30	2.10	2.10	2.10	2.20	2.20	2.20
古紙・古布	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.40	0.50	0.50
かん	g/人・日	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10	0.20	0.80	0.70	0.60	0.70	0.50	0.70	0.70	0.50	0.50
びん	g/人・日	0.60	0.30	0.40	0.50	0.40	0.60	0.60	0.60	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.60	0.60
ペットボトル	g/人・日	0.20	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.60	0.60	0.40	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50
資源(混在)	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
直接資源化	g/人・日	103.00	137.30	123.70	121.80	144.20	134.10	135.20	144.00	156.70	145.50	145.80	146.50	147.60	148.80	150.00	150.00
古紙・古布	g/人・日	95.00	128.60	117.00	115.30	136.40	127.20	130.90	141.60	140.50	153.20	141.90	142.20	142.90	144.00	145.20	146.40
かん	g/人・日	4.00	4.50	4.20	4.00	3.60	3.60	2.70	2.00	1.70	1.40	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
びん	g/人・日	0.50	0.50	0.50	0.60	0.50	0.50	0.40	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
金属類	g/人・日	0.10	0.30	0.40	0.30	0.30	0.80	0.30	0.50	0.70	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ペットボトル	g/人・日	3.40	3.40	1.60	1.60	3.40	2.00	0.90	0.80	0.80	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
総ごみ量	g/人・日	1,123.71	1,156.01	1,122.71	1,105.23	1,122.33	1,106.82	1,079.33	1,067.79	1,033.47	1,017.33	1,036.00	1,028.30	1,023.00	1,018.90	1,015.70	1,013.10

表 6-25 ごみ排出量の実績及び見込み（現状推移時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	365	365	365	365	366	365	365	366	365	366	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/日	155.00	155.00	157.31	158.14	161.92	162.67	163.12	161.56	159.34	156.23	167.50	169.41	170.56	171.22	171.62	171.84
燃やせるごみ	t/日	126.00	125.84	128.52	130.07	133.69	132.07	131.04	128.68	127.01	124.34	133.62	134.97	135.65	135.98	136.14	136.13
燃やせないごみ	t/日	6.45	6.52	6.23	6.11	6.50	6.17	6.65	5.75	5.33	5.14	5.77	5.78	5.79	5.75	5.74	5.73
粗大ごみ	t/日	4.76	4.86	4.66	4.64	4.62	5.64	5.53	5.60	5.06	5.23	5.49	5.57	5.64	5.65	5.69	5.71
資源ごみ	t/日	17.66	17.65	17.78	17.20	16.98	18.66	19.75	21.39	21.80	21.38	22.46	22.93	23.32	23.68	23.89	24.11
古紙・古布	t/日	10.10	10.09	10.45	9.90	9.80	9.99	10.24	11.38	11.27	10.76	11.21	11.33	11.40	11.44	11.45	11.45
プラスチック製容器包装	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.43	1.78	2.06	2.49	2.78	3.04	3.30	3.55	3.77	3.95	4.13
ペットボトル	t/日	1.44	1.40	1.40	1.43	1.51	1.59	1.73	1.84	1.97	2.05	2.11	2.19	2.27	2.34	2.41	2.48
廃食用油	t/日	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
資源（混在）	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.26	0.22	0.23	0.21	0.21	0.22	0.19	0.19
かん	t/日	1.71	1.62	1.56	1.52	1.51	1.54	1.71	1.69	1.66	1.58	1.64	1.66	1.66	1.67	1.68	1.66
びん	t/日	4.39	4.52	4.35	4.32	4.13	4.08	4.26	4.12	4.10	3.96	4.19	4.20	4.19	4.20	4.17	4.16
小型家電	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
有害ごみ	t/日	0.13	0.13	0.12	0.12	0.12	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
事業系ごみ	t/日	92.36	102.57	96.78	95.45	99.47	99.41	96.37	100.64	100.35	102.71	101.87	102.29	102.67	103.05	103.40	103.75
燃やせるごみ	t/日	66.98	69.32	66.70	65.30	63.65	65.49	61.80	62.28	61.61	60.43	61.64	61.37	61.13	60.90	60.69	60.50
燃やせないごみ	t/日	1.47	1.45	1.30	1.55	1.63	1.52	1.48	1.57	1.62	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61	1.61	1.62
粗大ごみ	t/日	0.99	1.02	0.58	0.44	0.41	0.41	0.33	0.38	0.29	0.25	0.27	0.25	0.24	0.23	0.22	0.21
資源ごみ	t/日	0.25	0.21	0.20	0.22	0.19	0.23	0.23	0.23	0.75	0.61	0.59	0.54	0.57	0.59	0.60	0.61
古紙・古布	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.21	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13
かん	t/日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.03	0.03	0.05	0.22	0.17	0.14	0.16	0.15	0.15	0.16	0.15	0.16
びん	t/日	0.13	0.09	0.09	0.11	0.10	0.14	0.12	0.14	0.18	0.15	0.13	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15
ペットボトル	t/日	0.06	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.06	0.14	0.12	0.15	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13
資源（混在）	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
直接資源化	t/日	22.67	30.57	28.00	27.94	33.59	31.76	32.53	35.66	36.22	39.89	37.83	38.51	39.13	39.72	40.28	40.81
古紙・古布	t/日	20.91	28.65	26.47	26.47	31.76	30.13	31.47	34.76	35.29	39.00	36.90	37.57	38.18	38.75	39.29	39.82
かん	t/日	0.88	0.99	0.96	0.92	0.85	0.86	0.65	0.48	0.44	0.36	0.44	0.44	0.45	0.46	0.47	0.47
びん	t/日	0.11	0.11	0.10	0.13	0.11	0.11	0.11	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
金属類	t/日	0.03	0.07	0.09	0.06	0.06	0.20	0.07	0.13	0.17	0.08	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14
ペットボトル	t/日	0.74	0.75	0.38	0.36	0.81	0.46	0.23	0.20	0.22	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.28	0.28
総ごみ量	t/日	247.36	257.57	254.09	253.59	261.39	262.08	259.49	262.20	259.69	258.94	269.37	271.70	273.23	274.27	275.02	275.59

表 6-26 ごみ排出量の実績及び見込み(目標達成時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/年	56,583	56,723	57,415	57,720	59,100	59,541	59,535	58,965	58,154	57,178	61,138	60,841	60,204	59,532	58,412	57,363
燃やせるごみ	t/年	45,993	46,058	46,909	47,476	48,795	48,337	47,828	46,968	46,361	45,506	48,782	48,151	47,250	46,331	45,040	43,807
燃やせないごみ	t/年	2,354	2,385	2,274	2,232	2,372	2,261	2,426	2,100	1,943	1,882	2,105	2,071	2,035	1,978	1,925	1,885
粗大ごみ	t/年	1,738	1,777	1,700	1,693	1,688	2,065	2,022	2,044	1,846	1,914	2,003	1,996	1,979	1,951	1,917	1,877
資源ごみ	t/年	6,451	6,457	6,488	6,275	6,197	6,830	7,205	7,801	7,952	7,826	8,191	8,565	8,882	9,213	9,471	9,734
古紙・古布	t/年	3,687	3,689	3,811	3,613	3,576	3,654	3,738	4,153	4,113	3,939	4,090	4,262	4,406	4,551	4,675	4,796
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	751	910	1,017	1,110	1,273	1,423	1,566	1,700	1,827
ペットボトル	t/年	526	512	510	521	552	581	629	670	719	752	769	800	829	857	880	904
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10
資源(混在)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	90	94	80	85	77	78	79	69	70
かん	t/年	623	593	568	555	549	567	624	617	604	577	598	608	604	611	613	606
びん	t/年	1,606	1,654	1,590	1,575	1,509	1,492	1,553	1,503	1,496	1,449	1,528	1,533	1,530	1,537	1,522	1,519
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2
有書ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
事業系ごみ	t/年	33,709	37,544	35,320	34,833	36,308	36,376	35,170	36,727	36,631	37,592	37,183	36,427	35,671	35,009	34,156	33,402
燃やせるごみ	t/年	24,447	25,371	24,344	23,836	23,234	23,968	22,557	22,731	22,490	22,120	22,499	21,378	20,287	19,252	18,133	17,071
燃やせないごみ	t/年	535	532	474	566	596	555	540	572	590	567	580	562	540	523	496	478
粗大ごみ	t/年	361	373	212	161	149	149	120	137	107	90	99	88	80	70	62	55
資源ごみ	t/年	88	78	71	78	69	85	83	273	226	213	197	204	208	216	219	223
古紙・古布	t/年	1	0	0	0	3	3	1	78	37	41	40	44	44	44	47	47
かん	t/年	19	19	16	17	12	13	18	77	62	53	59	54	54	58	55	59
びん	t/年	47	32	32	42	36	51	45	51	66	53	47	51	51	51	55	55
ペットボトル	t/年	21	27	23	19	18	18	19	54	47	52	40	44	44	48	47	47
資源(混在)	t/年	0	0	0	0	0	0	0	13	14	14	11	11	15	15	15	15
直接資源化	t/年	8,278	11,190	10,219	10,192	12,260	11,619	11,870	13,014	13,218	14,602	13,808	14,195	14,556	14,948	15,246	15,575
古紙・古布	t/年	7,633	10,485	9,662	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	12,881	14,272	13,468	13,851	14,209	14,593	14,884	15,213
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	161	164	168	172	172
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37
金属類	t/年	11	26	32	21	23	72	26	49	62	30	47	47	47	51	51	51
ペットボトル	t/年	271	274	137	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	99	102	102
総ごみ量	t/年	90,292	94,267	92,735	92,553	95,408	95,917	94,705	95,692	94,785	94,770	98,321	97,268	95,875	94,541	92,568	90,765

表 6-27 ごみ排出量の実績及び見込み (目標達成時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
焼却処理量	t/年	75,416	76,524	76,152	75,814	76,224	75,366	72,930	73,452	72,581	71,429	75,177	73,521	71,603	69,718	67,354	65,112
可燃ごみ	t/年	70,440	71,429	71,253	71,312	72,029	72,305	70,385	69,699	68,851	67,626	71,281	69,529	67,537	65,583	63,173	60,878
中間処理後の可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,546	3,753	3,730	3,896	3,896	3,992	4,066	4,135	4,181	4,234
焼却残渣	t/年	11,078	11,117	11,139	10,592	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795	9,247	9,141	8,903	8,668	8,374	8,096
焼却残渣率	%	14.7%	14.5%	14.6%	14.0%	13.6%	12.8%	12.7%	12.6%	12.4%	12.3%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%	12.4%
破砕選別処理量	t/年	10,201	10,255	9,838	9,726	9,878	10,814	11,716	12,212	11,997	11,755	12,411	12,718	12,954	13,173	13,318	13,488
不燃ごみ	t/年	2,889	2,917	2,748	2,798	2,968	2,816	2,966	2,672	2,533	2,449	2,685	2,633	2,575	2,501	2,421	2,363
粗大ごみ	t/年	2,099	2,150	1,912	1,854	1,837	2,214	2,142	2,181	1,953	2,004	2,102	2,084	2,059	2,021	1,979	1,932
資源ごみ	t/年	5,166	5,142	5,134	5,030	5,025	5,736	6,554	7,203	7,351	7,252	7,567	7,943	8,262	8,592	8,859	9,133
かん	t/年	631	601	572	557	548	565	632	683	656	620	647	652	648	658	657	655
びん	t/年	1,644	1,673	1,614	1,611	1,540	1,538	1,595	1,552	1,560	1,501	1,573	1,582	1,579	1,586	1,575	1,572
古紙・古布	t/年	2,344	2,329	2,415	2,322	2,367	2,509	3,030	3,493	3,459	3,310	3,428	3,592	3,739	3,877	4,000	4,128
ペットボトル	t/年	547	539	533	540	570	599	648	724	766	804	809	844	873	905	927	951
プラスチック製容器包装	t/年	0	0	0	0	0	525	649	751	910	1,017	1,110	1,273	1,423	1,566	1,700	1,827
有害ごみ	t/年	47	46	44	44	48	48	54	52	52	50	57	58	58	59	59	60
破砕選別処理後	t/年	10,199	10,256	9,839	9,727	9,879	10,938	11,715	12,212	11,994	11,849	12,448	12,865	13,203	13,539	13,789	14,062
資源物	t/年	4,455	4,646	4,442	4,427	5,155	5,125	7,219	7,425	7,579	7,332	7,714	8,014	8,263	8,515	8,709	8,918
缶	t/年	428	470	459	424	456	475	516	511	498	471	489	493	490	497	496	495
アルミカン	t/年	229	252	245	252	270	278	307	319	310	301	307	310	308	312	312	311
スチールカン	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	182	183	182	185	184	184
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	134	132	129	125	122
その他金属廃材	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄干地	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	128	126	123	120	117
鉄屑	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	0	20	0	6	6	6	6	5
金属プレス	t/年	0	0	0	0	0	748	1,194	1,054	911	834	969	955	938	916	891	870
破砕鉄	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	837	822	803	781	762
破砕アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	118	116	113	110	108
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,367	3,399	3,253	3,347	3,507	3,651	3,786	3,906	4,031
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	440	458	475	490	506
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,101	1,154	1,201	1,245	1,285	1,326
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,464	1,534	1,597	1,657	1,709	1,763
紙パック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウェス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	362	379	395	409	422	436
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	642	670	693	719	736	755
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	381	397	411	426	436	448
雑成	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	261	273	282	293	300	307
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	386	1,323	1,307	1,250	1,182	1,275	1,282	1,279	1,285	1,276	1,274
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	98	110	110	111	110	110
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	183	184	184	184	183	183
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	135	135	135	134	134
びん残差	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	848	853	850	855	849	847
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	909	1,016	1,118	1,214	1,305
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	909	1,016	1,118	1,214	1,305
有害ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	65	65	66
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	53	53	54
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	5	18	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12
可燃残渣	t/年	4,976	5,095	4,899	4,502	4,195	3,061	2,545	3,753	3,730	3,896	3,896	3,992	4,066	4,135	4,181	4,234
不燃残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	838	859	874	889	899	910

表 6-28 ごみ排出量の実績及び見込み (目標達成時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
資源化	t/年	14,355	17,478	16,331	16,492	19,064	20,143	20,569	21,979	33,160	36,430	24,237	24,893	25,450	26,052	26,485	26,955	
中間処理後	t/年	4,704	4,895	4,689	4,977	5,563	7,345	7,965	8,197	9,922	9,226	9,704	9,960	10,158	10,360	10,492	10,641	
缶・ビン	t/年	428	470	469	424	466	475	516	511	498	471	489	493	490	497	496	495	
アルミカン・プラスチック	t/年	229	252	245	252	270	278	319	310	301	307	310	308	312	312	312	311	
スチール・カン・プラスチック	t/年	199	218	214	172	186	197	209	192	188	170	182	183	182	185	184	184	
スクラップ	t/年	856	748	707	702	784	68	39	73	152	163	136	134	132	129	125	122	
その他金属・廃材類	t/年	0	0	19	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉄・鋼	t/年	50	39	24	40	85	6	39	73	132	163	130	128	126	123	120	117	
鉄・シロ・レンガ	t/年	806	709	664	662	681	62	0	0	20	0	6	6	6	6	5	5	
金属・プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	698	1,052	922	794	736	849	837	822	803	781	762	
破砕鉄	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
破砕アルミ	t/年	0	0	0	0	0	50	142	132	117	98	120	118	116	113	110	108	
古紙・古布	t/年	1,663	1,979	1,838	2,037	2,369	2,589	3,099	3,323	3,347	3,399	3,253	3,247	3,507	3,451	3,786	3,906	4,031
新聞	t/年	434	473	408	413	409	356	400	469	425	364	420	440	458	475	490	506	
雑誌	t/年	679	808	741	728	807	947	1,094	1,107	1,125	1,064	1,101	1,154	1,201	1,245	1,285	1,326	
段ボール	t/年	333	470	528	647	857	960	1,258	1,422	1,490	1,470	1,464	1,534	1,597	1,657	1,709	1,763	
紙パック	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ウエス	t/年	214	226	161	249	296	326	347	369	359	355	362	379	395	409	422	436	
ふとん	t/年	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ペットボトル	t/年	464	457	467	467	442	478	492	576	614	631	642	670	693	719	736	755	
容器包装	t/年	174	151	139	149	230	159	167	342	306	433	381	397	411	426	436	448	
密着	t/年	290	306	328	318	212	319	325	234	308	198	261	273	282	293	300	307	
びん	t/年	999	952	930	1,037	1,050	866	1,323	1,307	1,250	1,182	1,275	1,285	1,279	1,285	1,276	1,274	
カレット白	t/年	383	370	344	375	405	64	120	126	99	98	110	110	110	111	110	110	
カレット茶	t/年	379	355	340	362	385	128	188	189	167	180	183	184	184	184	183	183	
カレットその他	t/年	237	227	246	300	260	71	130	147	120	127	134	135	135	135	134	134	
びん・残燐	t/年	0	0	0	0	0	123	885	845	864	777	848	853	850	855	849	847	
プラスチック	t/年	0	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	909	1,016	1,118	1,214	
容器包装	t/年	0	0	0	0	0	0	332	505	504	680	736	793	909	1,016	1,118	1,214	
有蓋ごみ	t/年	45	40	41	60	54	49	51	33	75	62	63	64	64	64	65	66	
乾電池	t/年	35	23	25	55	36	37	39	26	63	50	51	52	52	52	53	54	
蛍光灯	t/年	6	6	6	5	18	12	12	7	12	12	12	12	12	12	12	12	
焼却残渣	t/年	249	249	247	250	408	2,220	746	772	2,343	2,594	1,990	1,946	1,895	1,845	1,783	1,723	
溶融固化	t/年	249	249	247	250	248	245	250	250	199	675	444	434	423	411	398	384	
厚生・投石化	t/年	0	0	0	0	160	1,975	496	522	204	0	0	0	0	0	0	0	
焼成処理	t/年	0	0	0	0	0	0	0	0	1,940	1,919	1,546	1,512	1,472	1,434	1,385	1,339	
直接資源化	t/年	1,373	1,393	1,425	1,323	1,241	1,179	734	768	719	693	725	738	736	744	747	739	
牛乳パック	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
瓶・缶回収	t/年	36	39	42	42	45	40	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	
廃食用油	t/年	9	9	9	11	10	10	11	15	14	11	9	10	10	10	10	10	
小型家電	t/年	0	0	0	0	1	1	1	2	2	1	2	2	2	2	2	2	
集団回収	t/年	1,328	1,345	1,374	1,270	1,185	1,128	721	749	702	680	714	726	724	732	735	727	
紙類	t/年	1,285	1,298	1,329	1,223	1,142	1,076	704	728	681	658	693	704	702	709	712	705	
布類	t/年	23	23	25	26	25	32	4	8	9	11	9	10	10	10	10	10	
金属類	t/年	11	11	12	15	13	15	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	
ガラス類	t/年	9	13	8	6	5	5	3	2	2	1	2	2	2	2	2	2	
事業部資源化	t/年	8,278	11,190	10,277	10,192	12,260	11,419	11,870	13,074	22,519	25,811	13,808	14,195	14,556	14,948	15,246	15,575	
古紙	t/年	7,633	10,485	9,655	9,660	11,594	11,027	11,485	12,685	22,182	25,481	13,468	13,851	14,209	14,593	14,884	15,213	
かん	t/年	322	364	349	333	310	313	237	176	159	134	161	161	164	168	172	172	
びん	t/年	41	41	39	47	39	38	39	31	36	35	37	37	37	37	37	37	
金属	t/年	11	26	39	21	23	72	26	49	62	40	47	47	47	47	51	51	
ペットボトル	t/年	271	274	142	131	294	169	83	73	80	131	95	99	99	99	102	102	
リサイクル率	%	15.9%	18.5%	17.6%	17.8%	20.0%	21.0%	21.7%	23.0%	35.0%	38.4%	24.7%	25.6%	26.5%	27.6%	28.6%	29.7%	
最終処分	t/年	11,597	11,383	11,390	10,840	10,516	10,451	9,526	7,342	6,915	8,195	8,915	8,954	7,882	7,712	7,490	7,283	
埋立処分	t/年	10,829	10,868	10,892	10,342	9,987	7,464	8,500	8,492	6,657	6,201	7,357	7,195	7,008	6,823	6,591	6,373	
焼却残渣	t/年	768	515	498	498	529	2,752	1,951	1,034	685	714	838	859	874	889	899	910	
不燃残渣	%	12.8%	12.1%	12.3%	11.7%	11.0%	10.7%	11.0%	10.8%	7.7%	7.3%	8.3%	8.3%	8.2%	8.2%	8.1%	8.0%	
最終処分量	g/人・日	144.3	139.6	137.9	129.5	123.7	117.9	119.1	106.3	80.1	74.2	86.3	83.5	80.9	78.3	75.8	73.4	

表 6-29 ごみ排出量の実績及び見込み（目標達成時）

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	365	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	g/人・日	704.21	695.71	695.11	689.13	695.33	687.22	678.43	658.09	634.07	613.73	644.20	630.90	617.60	604.30	591.00	577.70
家庭系ごみ	g/人・日	624.00	616.50	616.70	614.30	622.40	608.20	596.40	571.00	547.50	529.70	557.88	542.08	526.48	510.78	495.18	479.68
燃やせるごみ	g/人・日	572.40	564.80	568.10	567.00	574.00	557.70	545.10	524.20	505.60	488.50	514.00	499.30	484.70	470.30	455.70	441.20
燃やせないごみ	g/人・日	29.30	29.30	27.50	26.60	27.90	26.10	27.70	23.40	21.20	20.20	22.18	21.48	20.88	20.08	19.48	18.98
粗大ごみ	g/人・日	21.70	21.80	20.60	20.20	19.90	23.80	23.00	22.80	20.10	20.50	21.10	20.70	20.30	19.80	19.40	18.90
資源ごみ	g/人・日	80.21	79.21	78.41	74.83	72.93	79.02	82.03	87.09	86.57	84.03	86.32	88.82	91.12	93.52	95.82	98.02
古紙・古布	g/人・日	45.90	45.30	46.10	43.10	42.00	42.20	42.50	46.30	44.80	42.30	43.10	44.20	45.20	46.20	47.30	48.30
プラスチック製容器包装	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.10	7.40	8.40	9.90	10.90	11.70	13.20	14.60	15.90	17.20	18.40
ペットボトル	g/人・日	6.50	6.30	6.10	6.20	6.50	6.70	7.20	7.50	7.80	8.10	8.10	8.30	8.50	8.70	8.90	9.10
廃食用油	g/人・日	0.11	0.11	0.11	0.13	0.12	0.11	0.12	0.17	0.15	0.12	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
資源(混在)	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.90	0.90	0.80	0.80	0.80	0.70	0.70
かん	g/人・日	7.70	7.20	6.90	6.60	6.50	6.60	7.10	6.90	6.60	6.20	6.30	6.30	6.20	6.20	6.20	6.10
びん	g/人・日	20.00	20.30	19.20	18.80	17.80	17.30	17.70	16.80	16.30	15.50	16.10	15.90	15.70	15.60	15.40	15.30
小型家電	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
有書ごみ	g/人・日	0.60	0.60	0.50	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
事業系ごみ	g/人・日	419.50	460.30	427.60	416.10	427.00	419.60	400.90	409.70	399.40	403.60	391.80	377.70	365.90	355.40	345.60	336.40
燃やせるごみ	g/人・日	304.30	311.10	294.80	284.70	273.30	276.50	257.10	253.60	245.30	237.50	237.10	221.70	208.20	195.50	183.50	171.90
燃やせないごみ	g/人・日	6.70	6.50	5.70	6.80	7.00	6.40	6.20	6.40	6.40	6.10	6.10	5.80	5.50	5.30	5.00	4.80
粗大ごみ	g/人・日	4.50	4.60	2.60	1.90	1.80	1.70	1.40	1.50	1.20	1.00	1.00	0.90	0.80	0.70	0.60	0.60
資源ごみ	g/人・日	1.00	0.80	0.80	0.90	0.70	0.90	1.00	3.00	2.50	2.30	2.10	2.10	2.10	2.20	2.20	2.20
古紙・古布	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.40	0.50	0.50
かん	g/人・日	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10	0.10	0.20	0.80	0.70	0.60	0.70	0.50	0.70	0.70	0.50	0.50
びん	g/人・日	0.60	0.30	0.40	0.50	0.40	0.60	0.60	0.60	0.70	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.60	0.60
ペットボトル	g/人・日	0.20	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.60	0.50	0.60	0.40	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50
資源(混在)	g/人・日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
直接資源化	g/人・日	103.00	137.30	123.70	121.80	144.20	134.10	135.20	145.20	144.00	156.70	145.50	147.20	149.30	151.70	154.30	156.90
古紙・古布	g/人・日	95.00	128.60	117.00	115.30	136.40	127.20	130.90	141.60	140.50	153.20	141.90	143.60	145.70	148.10	150.70	153.30
かん	g/人・日	4.00	4.50	4.20	4.00	3.60	3.60	2.70	2.00	1.70	1.40	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
びん	g/人・日	0.50	0.50	0.50	0.60	0.50	0.50	0.40	0.40	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
金属類	g/人・日	0.10	0.30	0.40	0.30	0.30	0.80	0.30	0.50	0.70	0.30	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ペットボトル	g/人・日	3.40	3.40	1.60	1.60	3.40	2.00	2.00	0.90	0.80	1.40	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
総ごみ量	g/人・日	1,123.71	1,156.01	1,122.71	1,105.23	1,122.33	1,106.82	1,079.33	1,067.79	1,033.47	1,017.33	1,036.00	1,008.60	983.50	959.70	936.60	914.10

表 6-30 ごみ排出量の実績及び見込み (目標達成時)

項目	単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
日数	日	365	366	366	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366	365	365
人口	人	220,135	222,818	226,253	229,404	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	260,018	264,209	267,077	269,165	270,785	272,027
生活系ごみ	t/日	155.00	155.00	157.31	158.14	161.92	162.67	163.12	161.56	159.34	156.23	167.50	166.69	164.95	162.66	160.03	157.15
燃やせるごみ	t/日	126.00	125.84	128.52	130.07	133.69	132.07	131.04	128.68	127.01	124.34	133.62	131.91	129.45	126.58	123.39	120.02
燃やせないごみ	t/日	6.45	6.52	6.23	6.11	6.50	6.17	6.65	5.75	5.33	5.14	5.77	5.68	5.58	5.40	5.27	5.16
粗大ごみ	t/日	4.76	4.86	4.66	4.64	4.62	5.64	5.53	5.60	5.06	5.23	5.49	5.47	5.42	5.33	5.25	5.14
資源ごみ	t/日	17.66	17.65	17.78	17.20	16.98	18.66	19.75	21.39	21.80	21.38	22.46	23.47	24.34	25.19	25.96	26.68
古紙・古布	t/日	10.10	10.09	10.45	9.90	9.80	9.99	10.24	11.38	11.27	10.76	11.21	11.68	12.07	12.44	12.81	13.14
プラスチック製容器包装	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.43	1.78	2.06	2.49	2.78	3.04	3.49	3.90	4.28	4.66	5.01
ペットボトル	t/日	1.44	1.40	1.40	1.43	1.51	1.59	1.73	1.84	1.97	2.05	2.11	2.19	2.27	2.34	2.41	2.48
廃食用油 (t)	t/日	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
資源 (混在)	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.26	0.22	0.23	0.21	0.21	0.22	0.19	0.19
かん	t/日	1.71	1.62	1.56	1.52	1.51	1.54	1.71	1.69	1.66	1.58	1.64	1.66	1.66	1.67	1.68	1.66
びん	t/日	4.39	4.52	4.35	4.32	4.13	4.08	4.26	4.12	4.10	3.96	4.19	4.20	4.19	4.20	4.17	4.16
小型家電	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
有害ごみ	t/日	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.13	0.15	0.14	0.14	0.14	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
事業系ごみ	t/日	92.36	102.57	96.78	95.45	99.47	99.41	96.37	100.64	100.35	102.71	101.87	99.80	97.73	95.65	93.58	91.51
燃やせるごみ	t/日	66.98	69.32	66.70	65.30	63.65	65.49	61.80	62.28	61.61	60.43	61.64	58.57	55.58	52.60	49.68	46.77
燃やせないごみ	t/日	1.47	1.45	1.30	1.55	1.63	1.52	1.48	1.57	1.62	1.55	1.59	1.54	1.48	1.43	1.36	1.31
粗大ごみ	t/日	0.99	1.02	0.58	0.44	0.41	0.41	0.33	0.38	0.29	0.25	0.27	0.24	0.22	0.19	0.17	0.15
資源ごみ	t/日	0.25	0.21	0.20	0.22	0.19	0.23	0.23	0.75	0.61	0.59	0.54	0.56	0.57	0.59	0.60	0.61
古紙・古布	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.21	0.10	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13
かん	t/日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.03	0.03	0.05	0.22	0.17	0.14	0.16	0.15	0.15	0.16	0.15	0.16
びん	t/日	0.13	0.09	0.09	0.11	0.10	0.14	0.12	0.14	0.18	0.15	0.13	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15
ペットボトル	t/日	0.06	0.07	0.06	0.06	0.05	0.05	0.06	0.14	0.12	0.15	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13
資源 (混在)	t/日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.04	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
直接資源化	t/日	22.67	30.57	28.00	27.94	33.59	31.76	32.53	35.66	36.22	39.89	37.83	38.89	39.88	40.84	41.77	42.67
古紙・古布	t/日	20.91	28.65	26.47	26.47	31.76	30.13	31.47	34.76	35.29	39.00	36.90	37.95	38.93	39.87	40.78	41.68
かん	t/日	0.88	0.99	0.96	0.92	0.85	0.86	0.65	0.48	0.44	0.36	0.44	0.44	0.45	0.46	0.47	0.47
びん	t/日	0.11	0.11	0.10	0.13	0.11	0.11	0.11	0.09	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
金属類	t/日	0.03	0.07	0.09	0.06	0.06	0.20	0.07	0.13	0.17	0.08	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14
ペットボトル	t/日	0.74	0.75	0.38	0.36	0.81	0.46	0.23	0.20	0.22	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.28	0.28
総ごみ量	t/日	247.36	257.57	254.09	253.59	261.39	262.08	259.49	262.20	259.69	258.94	269.37	266.49	262.68	258.31	253.61	248.66

7. 審議会委員名簿及び改定の経緯

つくば市一般廃棄物減量等推進審議会委員名簿（R6.5.20～R6.3.31）

委員名	役職	所属
高野 文男	副会長	市議会議員 (つくば市議会)
板谷 亜由美		公共団体及び公共的団体の役職員 (学校長会)
櫻井 姚		公共団体及び公共的団体の役職員 (つくば市商工会)
佐藤 則恵		公共団体及び公共的団体の役職員 (つくばくらしの会)
鈴木 裕一		公共団体及び公共的団体の役職員 (つくば市区会連合会(～R6.7.11))
高野 正子		公共団体及び公共的団体の役職員 (NPO法人 つくばクリエイティブリサイクル)
仲田 弘美		公共団体及び公共的団体の役職員 (茨城県県南県民センター)
張元 政治		公共団体及び公共的団体の役職員 (つくば市区会連合会(R6.7.12～))
宮本 純		公共団体及び公共的団体の役職員 (一般社団法人 つくば青年会議所)
稲葉 陸太		学識経験を有する者 (国立研究開発法人 国立環境研究所)
梶原 夏子		学識経験を有する者 (国立研究開発法人 国立環境研究所)
加茂 徹		学識経験を有する者 (早稲田大学 理工学術院総合研究所)
肴倉 宏史		学識経験を有する者 (国立研究開発法人 国立環境研究所)
原田 幸明		学識経験を有する者 (国立研究開発法人 物質・材料研究機構)
森口 祐一	会長	学識経験を有する者 (国立研究開発法人 国立環境研究所)
伊藤 佳子		市民 (公募市民)
木下 潔		市民 (公募市民)
小林 知博		市民 (公募市民)
斉藤 新吾		市民 (公募市民)
山中 美根子		市民 (公募市民)
對崎 輝夫		一般廃棄物の収集運搬業又は資源回収業を営む者 (一般社団法人 つくば市環境協会)
伊神 里美		事業所を代表する者 (株式会社カスミ)
草野 伸一		事業所を代表する者 (関彰商事株式会社)
西 博文		事業所を代表する者 (国立大学法人 筑波大学)
星野 敏之		事業所を代表する者 (イオンモール株式会社 イオンモールつくば)
伊藤 智治		市職員 (つくば市生活環境部長)

計画改定の経緯

時期	内容
令和6年5月	令和6年度第1回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ 諮問 ・ 改定スケジュールについて ・ ごみ組成分析調査実施方法について ・ アンケート調査実施方法について
5月	ごみ組成分析調査を実施
6月	アンケート調査を実施
8月	令和6年度第2回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ たたき台について ・ ごみ組成調査結果について ・ アンケート調査結果について
10月	令和6年度第3回つくば市一般廃棄物減量等推進審議会 〈主な内容〉 ・ パブリックコメント案について
12月	パブリックコメントの実施
令和7年〇月	

つくば市一般廃棄物処理基本計画 概要版 (パブリックコメント案)

【対象期間】 令和2年度(2020年度)～令和11年度(2029年度)
[令和6年度改定版]

はじめに ～つくば市一般廃棄物処理基本計画とは～

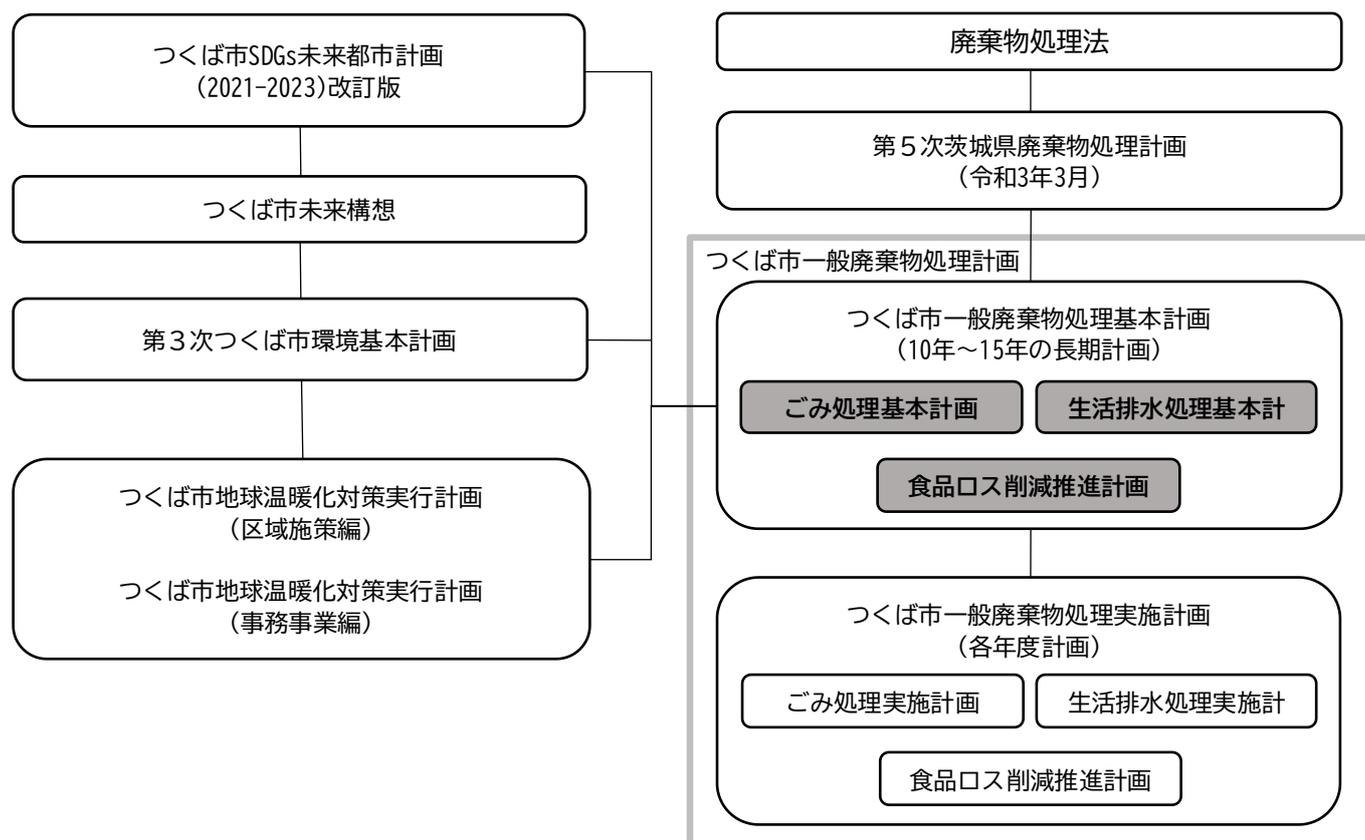
つくば市（以下「本市」とします。）では、令和2年4月に、ごみ処理と生活排水処理からなる「つくば市一般廃棄物処理基本計画」（以下「本計画」とします。）を策定し、長期的な視点に立って、ごみ及び生活排水の発生から最終処分に至るまでの適正な処理を進め、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に資するための基本的な方向性を定めています。

今回、計画の策定から5年が経過し、令和6年度に中間目標年度を迎えるにあたり、市民の生活意識や産業活動の変化及び自然災害等、本市の地域特性に対応した廃棄物行政を進めていくために、計画の見直しを行いました。

また、令和元年10月に施行された食品ロスの削減の推進に関する法律で市町村は食品ロス削減推進計画を策定することが求められているため、食品ロス削減推進計画を内包することで他計画と一体的に取り組むこととします。

■計画の位置付け

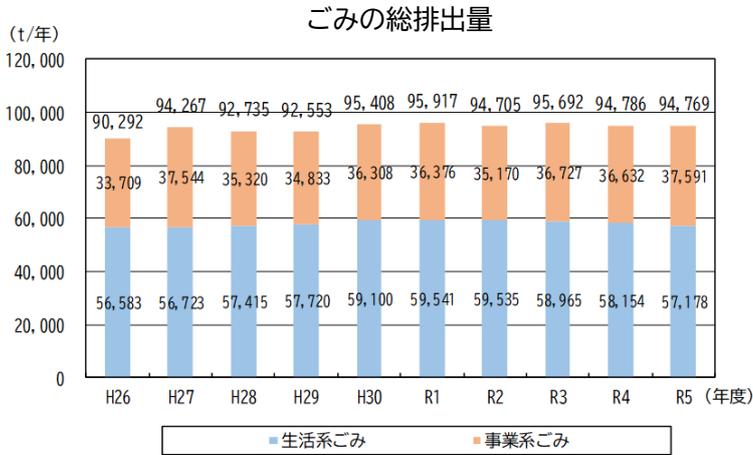
本計画は、ごみ処理基本計画と食品ロス削減推進計画、生活排水処理基本計画から構成されるもので、各種法律や県の関連計画等を踏まえるとともに、本市の関連計画等との整合性を図るものとしします。



■計画の期間

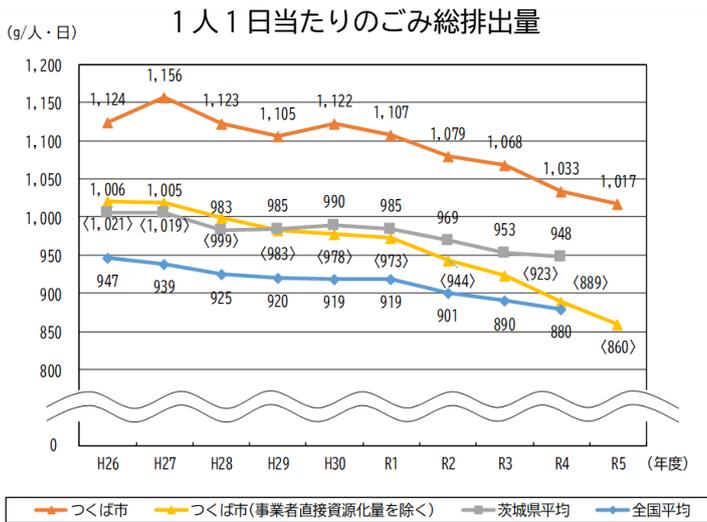
本計画の計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間の計画とします。中間目標年度に当たる令和6年度に計画の点検、評価、見直しを行いました。

■ごみ処理の現状



■ごみ総排出量

ごみの総排出量は、横ばいで推移しています。生活系ごみ排出量は、減少傾向にあります。事業系ごみ排出量は、多量排出事業者（1日当たり100kg以上の事業系ごみを排出する事業者）が排出した資源ごみ量を含めているため、横ばいで推移しています。ごみ総排出量に占める割合は、家庭系ごみが約6割、事業系ごみが約4割となっています。

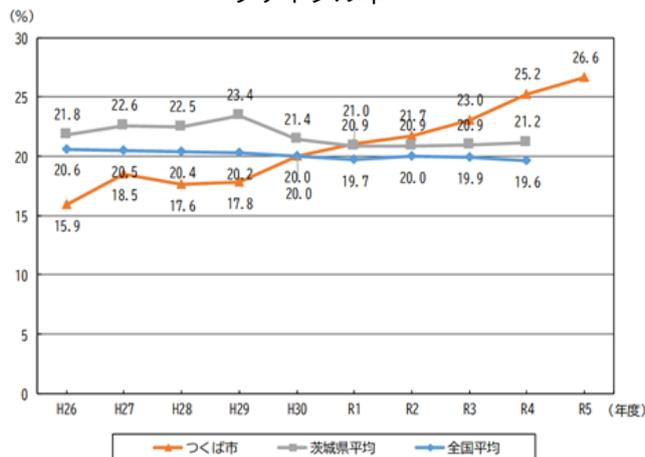


■1人1日当たりのごみ排出量

1人1日当たりのごみ排出量は、減少傾向にありますが、茨城県平均、全国平均より多くなっています。



リサイクル率

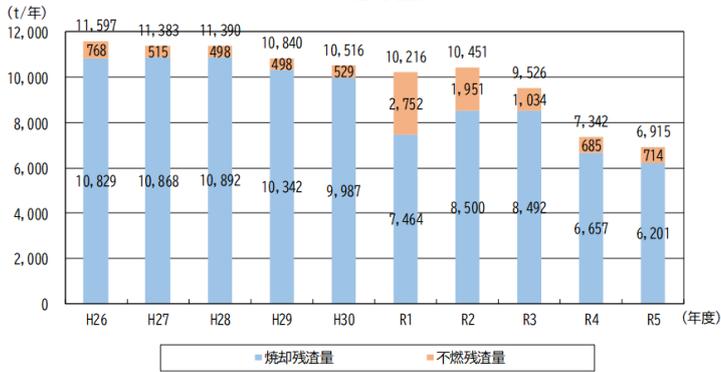


■リサイクル率

リサイクル率は、上昇傾向にあり、茨城県平均、全国平均を上回っています。これは、多量排出事業者による資源化量の把握と焼却残渣の資源化を積極的に進めた結果と考えられます。

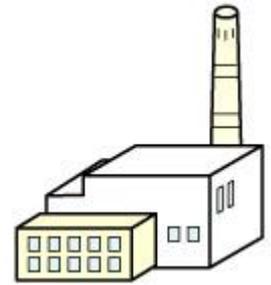


最終処分量



■最終処分量

最終処分量及び1人1日当たりの最終処分量は、減少傾向にあります。これは、生活系燃やせるごみの減量化及び焼却残渣の資源化を積極的に進めた結果と考えられます。



■計画の評価

令和2年度から令和5年度までの計画目標値の達成状況は、下表に示すとおりです。

事業系ごみ排出量において、令和3年度以降は目標を達成することはできませんでしたが、それ以外のすべての項目において目標値を達成しています。

			R2	R3	R4	R5
人口 (人)	推計値		238,440	240,964	243,290	245,237
	実績		240,383	245,511	251,208	254,534
1人1日当たりのごみ排出量						
生活系ごみ 排出量 (g/人・日)	目標		687	683	678	674
	実績		678	658	634	614
	達成状況		○	○	○	○
1日当たりのごみ排出量						
事業系ごみ 排出量 (t/日)	目標		98.64	97.85	97.07	96.27
	実績		96.37	100.64	100.35	102.71
	達成状況		○	×	×	×
リサイクル率						
リサイクル率 (%)	目標		22.2	22.2	22.2	23.0
	実績		21.7	23.0	25.2	26.6
	達成状況		○	○	○	○
1人1日当たりの最終処分量						
1人1日当たりの 最終処分量 (g/人・日)	目標		121	119	118	116
	実績		119	106	80	74
	達成状況		○	○	○	○

■ごみ処理の課題

ごみ処理の課題を以下に示します。

1. 排出抑制・資源化に関する課題

- ・ 1人1日当たりの生活系ごみ排出量は、目標を大幅に上回っています。実施した施策により、計画策定時に想定していた以上に市民の協力が得られたためと考えられます。
- ・ 1日当たりの事業系ごみ排出量は、目標を達成できておらず、事業系ごみの減量が依然として課題です。
- ・ 総資源化量、リサイクル率ともに、年々増加傾向にあり、計画目標値を達成できています。これは、多量排出事業者による資源化量の把握と焼却残渣の資源化を積極的に進めたほか、これまで行ってきた施策等の効果、ならびに、市民及び事業所のごみの減量化に対する継続的な努力と評価できます。
- ・ 燃やせるごみにおける資源化可能なもの、入れてはいけないものの混入率は改善傾向にあるものの、生活系ごみで約25%、事業系ごみで約37%と依然として高い状況にあり、分別を徹底する必要があります。
- ・ プラスチック製容器包装の収集量は年々増加していますが、分別方法や汚れ具合による排出可否について、わかりやすい周知を行う必要があります。
事業者と連携して、市民がスーパーの店頭回収等に出した資源ごみ量や、事業者が資源化回収業者等に直接排出している直接資源化量の把握に引き続き努め、本市全体におけるごみ流れの実態を正確に把握する必要があります。

2. 収集運搬に関する課題

- ・ 区会等による集積所管理等の課題について区会等と連携し、解決を図る必要があります。
- ・ ごみ出しが困難な高齢者等への支援策について、今後検討していく必要があります。

3. 中間処理に関する課題

- ・ つくば市クリーンセンター（焼却施設）は、定期的な維持管理点検が行われていますが、竣工後27年が経過し、経年劣化が著しい状況で、安定的な稼働に懸念があることから、計画的な更新等も視野に今後検討を行う必要があります。

4. 最終処分に関する課題

- ・ 最終処分量は年々減少していますが、委託先の残余容量等を継続的に把握し、長期展望に立って安定的な委託先の確保を図る必要があります。
- ・ 更なる最終処分量の削減に向け、焼却灰の資源化拡大を継続して検討するとともに、資源化後の利用先における環境への影響や安全性を調査し、十分に確認する必要があります。

5. その他の課題

- ・ 廃棄物排出者の公平負担の原則のため、ごみの排出状況や他自治体の取組等を注しつつ、ごみの有料化を検討することが必要です。
- ・ ごみ処理経費が増加しているため、「一般廃棄物会計基準」を導入し、一般廃棄物の処理に関する事業に係るコスト分析を行い、事業の効率化を図る必要があります。

■基本理念、基本方針

近年、廃棄物・リサイクル行政においては、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行が求められています。循環経済への移行は、気候変動対策や脱炭素社会の実現の観点からも重要とされています。

本市は、令和4年2月に「つくば市ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、さらなる資源循環や循環経済（サーキュラーエコノミー）、ごみ減量等への取組を通じて、持続可能な脱炭素社会の形成を目指します。

ごみ処理基本計画における基本理念及び基本方針を以下のとおり定めます。

基本理念

資源循環から持続可能な社会をめざすまち

基本方針1：地域全体での協働

持続可能な社会を形成するために、市民・事業者・行政の協働を進めます。取組においては行政のみではなく、地域の市民や事業者の民間活力も積極的に活用し、役割分担の中でより良い取組を目指します。

基本方針2：3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

ごみの発生段階、排出段階、処理段階における減量化、資源化の推進により一層取り組むことにより、循環型社会の形成を目指します。

基本方針3：適正な処理・処分体制の構築

安全かつ適正な処理・処分体制を構築し、環境負荷の低減と処理コストの削減を目指します。

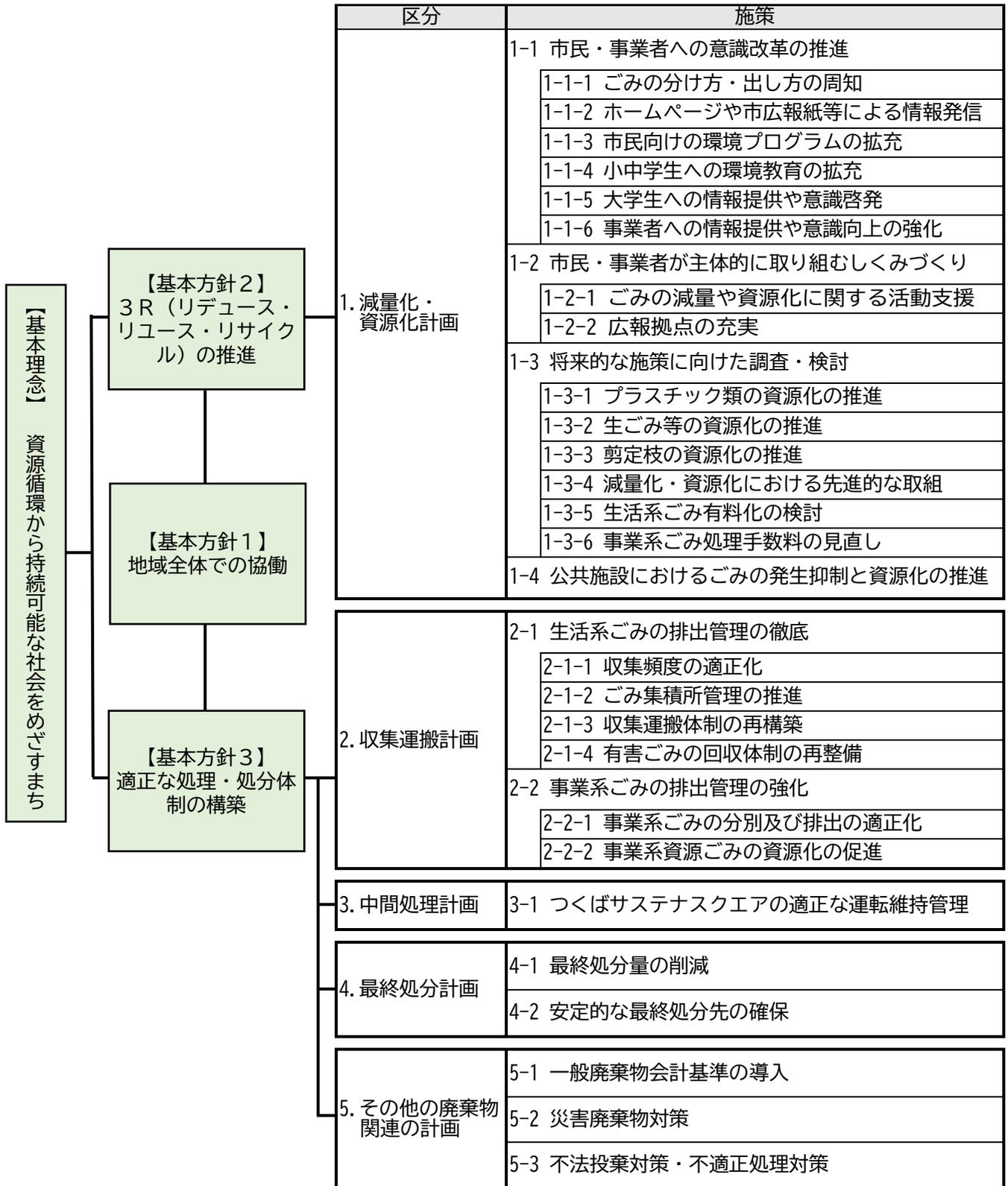
■数値目標

ごみ処理基本計画における数値目標を下表に示します。数値目標の設定に当たっては、現行計画の数値目標の達成状況、過年度のごみ処理の実績、現状で推移した場合の将来ごみ量、関連法令・計画等を踏まえて精査し、必要に応じて新たな数値目標を設定しました。

項目	令和5年度実績	計画目標年度(令和11年度)	
		改定前目標値	新目標値
1人1日当たりの生活系ごみの排出量	614 (g/人・日)	648 (g/人・日)	578 (g/人・日)
1日当たりの事業系ごみの排出量	102.71 (t/日)	91.51 (t/日)	91.51 (t/日)
リサイクル率	26.6 (%)	25.0 (%)	29.7 (%)
1人1日当たりの最終処分量	74 (g/人・日)	107 (g/人・日)	73 (g/人・日)

■施策の方向性

ごみ処理基本計画の施策体系図を以下に示します。



■食品ロスとは

食品ロスとは、食品廃棄物から不可食部（＝「調理くず」（野菜・果物の皮、肉・魚の骨など））を除いた、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品のことであり、発生要因ごとに「直接廃棄（手付かず食品）」「過剰除去」「食べ残し」の3つに分類されます。

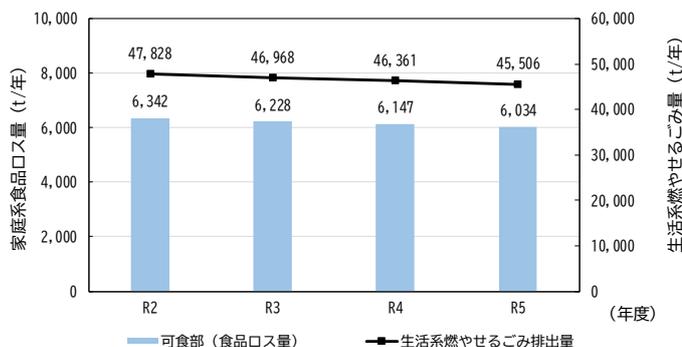
本計画で対象とする食品ロスは、「家庭から生じる食品ロス（家庭系食品ロス）」と「事業系一般廃棄物に区分される食品ロス（事業系食品ロス）」とします。

■食品ロスの現状

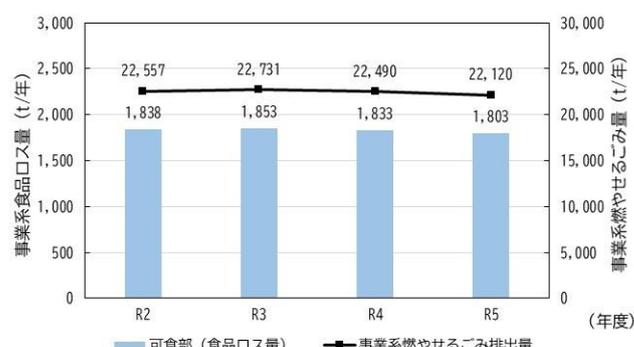
食品ロスの発生量

令和6年度に実施した組成分析調査結果を用いて食品ロス量を推計した結果、令和5年度は7,837 t/年（家庭系食品ロス量：6,034 t/年、事業系食品ロス量：1,803 t/年）と推計されます。

家庭系食品ロス量の推移



事業系食品ロス量の推移

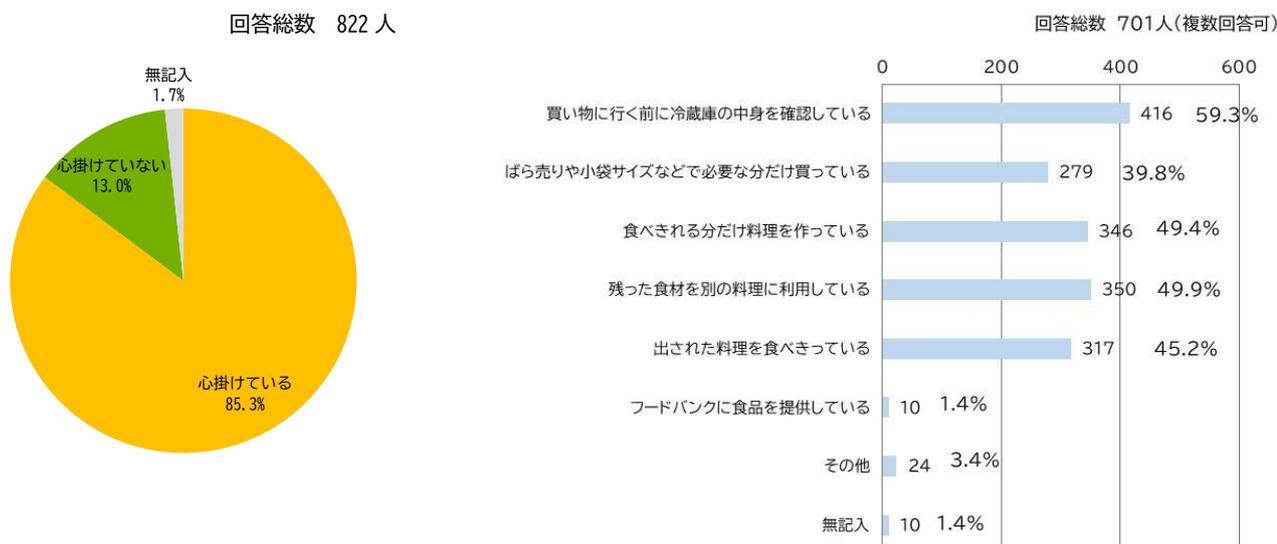


食品ロス削減の実施状況

(1) 家庭における食品ロス削減に向けた取組状況

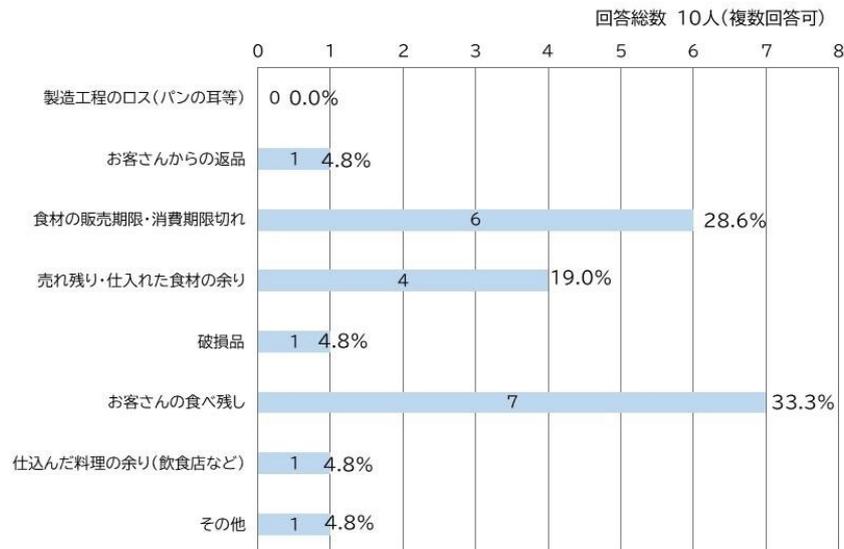
令和6年度に実施した市民を対象にアンケート調査によると、回答者の85%以上が「普段食品ロスを減らすために心掛けている」と回答しており、家庭において食品ロス削減に向けた様々な取組がなされています。

家庭における食品ロス削減に向けた取組状況



(2) 事業所における食品ロスの発生状況

令和6年度に実施した事業所（飲食サービス業や食品を扱う小売業等の事業所）を対象にアンケート調査によると、事業所において食品ロスが発生した要因は、「お客さんの食べ残し」が最も多く、次いで「食材の販売期限・消費期限切れ」、「売れ残り・仕入れた食材の余り」が多くなっています。



■食品ロスの課題

食品ロスの課題を以下に示します。

1. 家庭系食品ロスに関する課題

- ・本市における家庭系食品ロス量は、燃やせるごみ排出量の約13%を占めています。特に、都市部（東地区、西地区）において食品ロス発生割合が多く、周辺部（北地区、南地区）の約2倍となっています。
- ・食品ロスのうち、「直接廃棄」と「食べ残し」が全体の約8割を占め、「直接廃棄」については、手付かずに廃棄された100%残存の割合が最も高く、その多くは消費・賞味期限切れのものとなっています。
- ・市民の約85%が食品ロス削減を心掛けて取り組んでいますが、「賞味（消費）期限が切れてしまった」「大量に買ってしまい、食べきれなかった」等を理由に、食品ロスが発生している状況にあります。
- ・家庭系の食品ロス削減は、都市部を中心に、計画的な買い物・管理・使い切り等の啓発に取り組むことが必要です。

2. 事業系食品ロスに関する課題

- ・本市における事業系食品ロス量は、事業系燃やせるごみ排出量の約8%を占めています。
- ・業種によって食品ロスの発生割合は大きく異なっており、特に宿泊業・飲食店及び販売店で食品ロスの発生割合が多くなっています。また、宿泊業・飲食店では食べ残しが多く、販売店では直接廃棄が多いなど、業種によって食品ロスの発生要因も異なります。
- ・一部の事業所では、調理ロスの削減等、食品ロス削減に向けて取り組んでいますが、限定的となっています。業種に応じた具体的な食品ロス削減の取組事例の紹介や啓発等を推進する必要があります。

■基本方針

食品ロス削減推進計画における基本方針を以下のとおり定めます。

基本方針：食品ロスの発生抑制・減量化の推進

食品ロス削減に対する市民及び事業者の意識を高め、家庭及び事業所からの食品ロスの発生抑制と減量化を図ります。

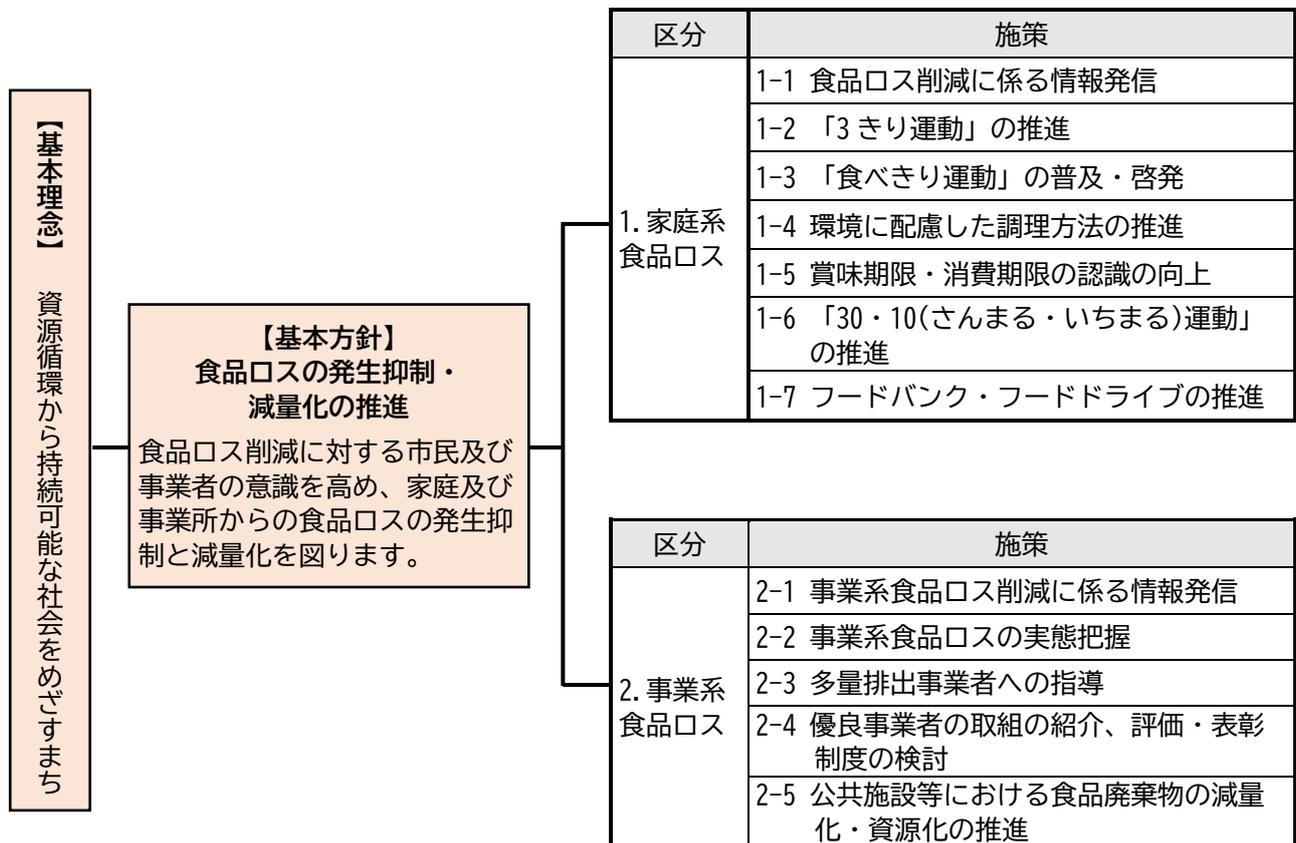
■数値目標

食品ロス削減推進計画における数値目標は、国や本市の関連計画で掲げられた指標を踏まえ、以下のとおり定めます。

項目	令和 5 年度実績	計画目標年度(令和 11 年度)
		目標値
食品ロス量	7,837 (t/年)	5,222 (t/年)
食品ロス削減に取り組んでいる市民の割合	85.3 (%)	90 以上 (%)

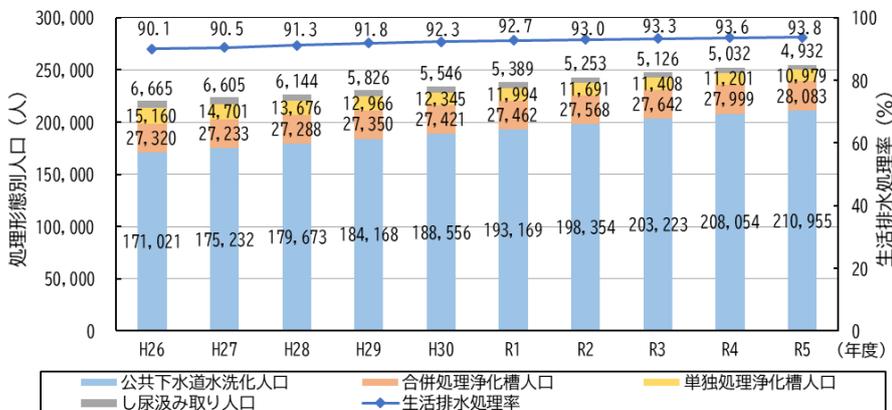
■施策の方向性

食品ロス削減推進計画の施策体系図を以下のとおりに定めます。



■生活排水処理の現状

処理形態別人口の推移

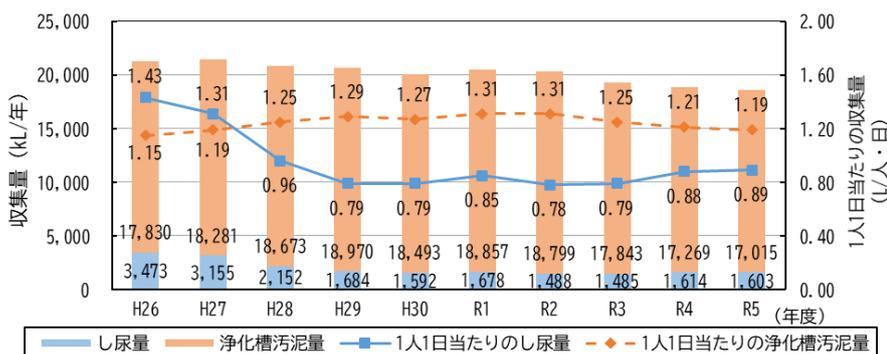


■処理形態別人口の推移

公共下水道水洗化人口及び合併処理浄化槽人口は増加傾向にあり、単独処理浄化槽人口及びし尿汲み取り人口は減少傾向にあります。

生活排水処理率は、上昇傾向にあり、令和5年度は93.8%となっています。

し尿・浄化槽汚泥収集量の推移



■し尿・浄化槽汚泥収集量の推移

し尿及び浄化槽汚泥の収集量は、増減しながら推移しています。

1人1日当たりのし尿量は増加傾向にある一方、1人1日当たりの浄化槽汚泥量は減少傾向にあります。

■計画の評価

令和2年度から令和5年度までの計画目標値の達成状況は、下表に示すとおりです。
目標値である生活排水処理率は、すべての年度において目標値を達成しています。

		R2	R3	R4	R5
生活排水処理率 (%)	目標	89.7	90.2	90.7	91.2
	実績	93.0	93.3	93.5	93.7
	達成状況	○	○	○	○

■生活排水処理の課題

生活排水処理の課題を以下に示します。

1. 生活排水処理率の向上に関する課題

- ・ 単独処理浄化槽やし尿汲み取り便槽を利用している人口も一定数存在することから、引き続き、公共下水道の整備を進めるとともに、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を促していく必要があります。

2. 合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽の適正管理に関する課題

- ・ 合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽は、処理機能を十分に発揮させるために、定期的な維持管理（保守点検・清掃）と定期検査（法定検査）が必要とされています。

3. 収集運搬計画の見直しに関する課題

- ・ し尿・浄化槽汚泥の排出量の変化に対応した収集・運搬体制を適宜検討していく必要があります。

4. し尿処理施設の搬入量減少及び老朽化

- ・ 本市のし尿処理施設は、処理能力の半分以下の処理しかなされておらず、また、2施設とも経年劣化による老朽化が懸念されます。

■基本方針

生活排水処理基本計画における基本方針を以下のとおり定めます。

基本方針1：生活排水処理施設の整備と適正な維持管理

生活排水を処理する施設の整備及び適正な維持管理を促進します。

基本方針2：効率的な収集運搬体制の整備

下水道や浄化槽の普及に伴う収集量の変化を考慮し、効率的な収集運搬体制の整備に努めます。

基本方針3：安定処理のための施設整備

安定した処理を継続するため、今後変動するし尿・浄化槽汚泥量に対応できる施設整備に向け検討します。

基本方針4：安全かつ安定的な最終処分

適正な処理に努め、環境負荷の低減や処分コストの削減を踏まえた安全かつ安定的な処分を行います。

基本方針5：生活排水に係る啓発・情報発信

市民一人一人の生活排水に対する意識向上を図り、生活排水の発生源において対策が実施できるように広く啓発・情報発信を行います。

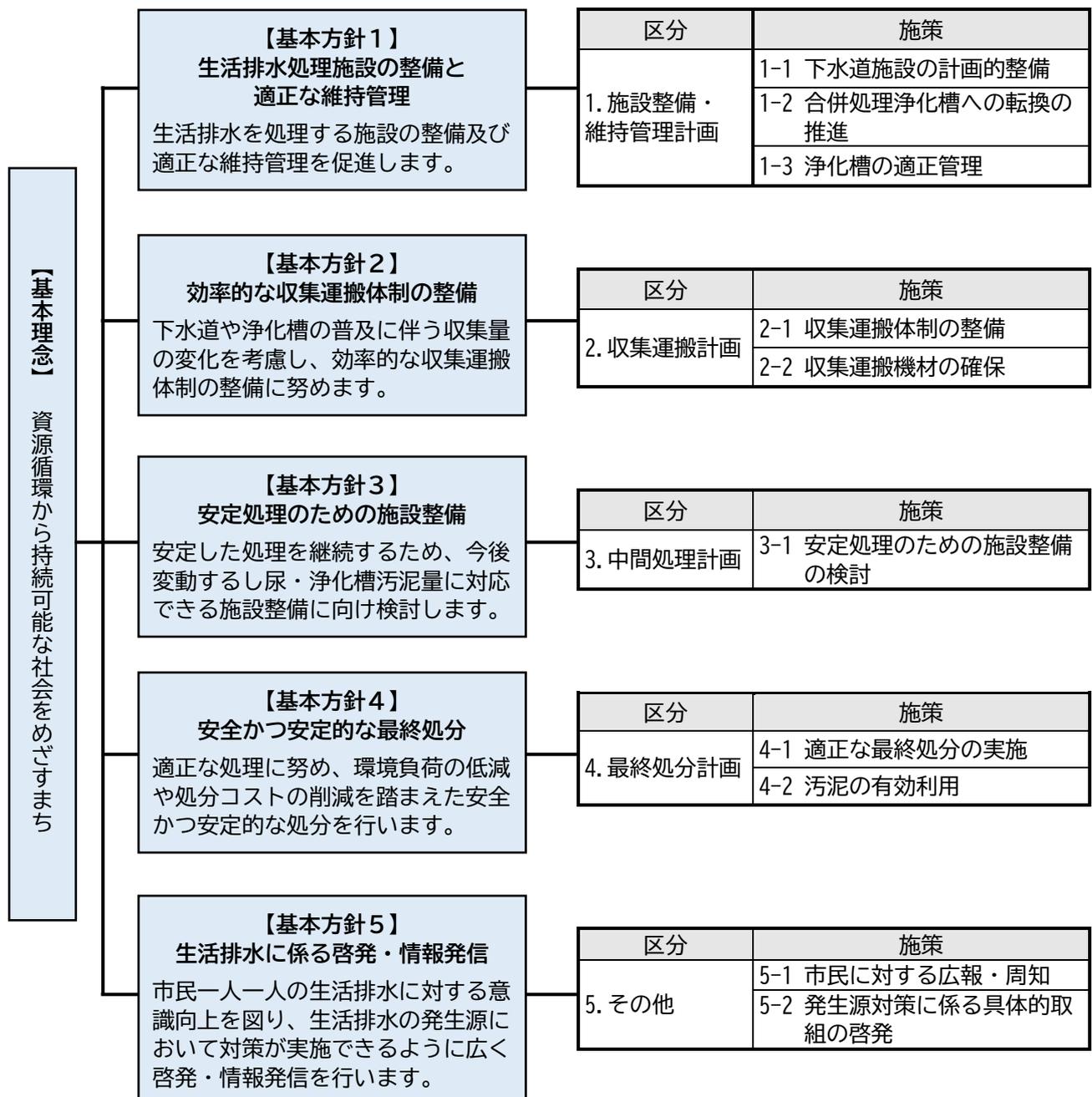
■数値目標

生活排水処理基本計画の数値目標を下表に示します。新たな目標値は、茨城県生活排水ベストプラン（令和5年3月第4回改定）の数値目標を踏まえて設定しました。

項目	令和5年度実績	計画目標年度(令和11年度)	
		改定前目標値	新目標値
生活排水処理率	93.7 (%)	94.4 (%)	95.2 (%)

■施策の方向性

生活排水処理基本計画の施策体系図を以下のとおりに定めます。



世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市一般廃棄物処理基本計画

令和6年(2024年) 月

編集・発行 つくば市 生活環境部 環境衛生課 計画管理係

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL: 029-883-1111

第2回審議会（令和6年8月23日開催）における委員御意見への対応について

資料1-4

No.	委員名	内容	回答	計画書の修正有無
1	木下委員	1人1日当たりの生活系ごみ排出量の数値目標を前倒しで達成した要因について、分析が必要ではないか。要因がわからなければ、次の目標値の達成も難しいのではないか。増えた人口の内訳（子育て世代の増加）が影響している可能性はないか。	生活系ごみについては、組成分析調査の結果からも明らかのように、生ごみについては、生ごみ処理機等や段ボールコンポスト等の施策の実施により、減量化が進んだ印象があります。このような推察はできますが、数値目標の達成にどの施策の実施が効いたかという分析は、因果関係の検証ができないため、難しい状況です。現在の施策取組を更に伸ばし、ごみの減量化に努めていきます。 人口増の主な要因としては、子育て世帯がTX駅近辺に転入を続けているほか、コロナウイルス感染症の影響で控えられていた国外からの外国人の転入が再び活性化していることも考えられます。	無
2	森口会長	数値目標を達成した要因について、計画書に多少なりとも記載したほうがよいのではないか。	計画書の「第1章 第2節 ごみ排出量の実績」や「第2章 ごみ処理の課題」に要因を追記しました。（ごみp.22～23）（当日資料：本編p.35～36）	有
3	森口会長	つくば市と同様の人口増加傾向にある自治体の事例を調べて、計画に活かしてはどうか。	今後、本市と同様の人口形態・傾向にある自治体を抽出し、事例の情報収集に努めます。	無
4	伊神委員	事業系ごみは事業所数に比例して増加する。1日当たりの事業系ごみ排出量を目標値としているのは妥当か。	今回は現行計画の改定に当たるため、目標値は変更しませんが、5年後の新たな計画の策定に当たっては、社会情勢等も見極めながら、より実態を反映できる目標の設定を検討します。 また、本市の土地利用状況においては、産業用地（商業用地、工業・物流用地）が増加しており、今後も事業所数が増加することが見込まれ、事業所数の増加に伴い事業系ごみが更に増加する可能性があります。計画書「第1編 第5節 地域概況」（共通p.9）（当日資料：本編p.10）に土地利用状況の記載を追記しました。	有
5	原田委員	事業者を対象にしたアンケート調査結果より、建設業の中小企業から排出された紙ごみが、事業系ごみ排出量が多い要因ではないか。	アンケート調査の回答者は、市内の事業所の業種割合を考慮した調査票の送付を行っています。組成分析調査では、建設業を対象としていないため、今回の結果のみをもって、建設業の中小企業の紙ごみと特定するのは難しいですが、回答者のうち最も多いのが建設業ですので、可能性としては考えられます。引き続き、要因の分析を進めていきます。	無

6	加茂委員	<p>プラスチック容器包装のリサイクルによる減量化効果が見えない。一方、事業系のプラスチックごみ量は減少している。減少の要因を分析する必要があるのではないか。</p> <p>生活系燃やせるごみの組成分析調査の結果で、令和元年度の調査結果に比べて、プラスチック類の0.3%しか減っていない。この結果は、政策評価として、プラスチック製容器包装の分別収集を実施した意味がないことにならないか。実態はどうか、施策の評価としてどうか、検討いただきたい。</p>	<p>生活系ごみのプラスチック製容器包装の収集量は、年々増加傾向にありますが、全国平均よりは少ない状況です。今後更なる周知徹底を行い、収集量の増加を図っていきます。</p> <p>なお、ごみ組成分析調査結果は燃やせるごみの組成割合を示しており、燃やせるごみ量が減少すれば、その分プラスチック類の量も減少することになります。そのため、必ずしもプラスチック類が減っていないわけではないと考えます。実際、プラスチック製容器包装の収集量は、令和2年度の639t (7.3g/人・日) から、令和5年度は1,017t (10.9g/人・日) と年々増加しており、施策の効果はあるものと認識しています。</p>	無
7	森口会長	<p>事業所から排出されるプラスチック類は、法律上は、基本的には産業廃棄物に該当する。この点について、事業者に対し指導を徹底することで、事業系ごみの減量化に結びつくのではないか。</p>	<p>事業所から排出されるプラスチック製品は産業廃棄物になることは、市が作成した「事業系廃棄物適正処理パンフレット」にも記載しており、配布等を通じて周知を図っていますが、今後より指導を徹底していきます。</p>	無
8	加茂委員	<p>目標値は、トレンド分析による推計値に基づき設定されているが、これまで施策を実施した結果がどうなったと考察した上で、目標値と次の施策を検討するべきではないか。</p>	<p>現状のまま推移した場合の推計値はトレンド分析に基づき推計していますが、目標値は、今回実施したアンケート調査や組成分析調査の結果等を踏まえて設定しています。</p> <p>計画書の「第1章 第2節 ごみ排出量の実績」や「第2章 ごみ処理の課題」に要因を追記しました。(ごみ22～23) (当日資料：本編p.19、35～36)</p>	有
9	小林委員	<p>プラスチック系ごみの資源化量については、サステナスクエアで回収されたものということでよいか。スーパー等で店頭回収されたものも相当の量があると考えられるが、資源化量に含まれるか。</p>	<p>店頭回収部分は含まれていません。市民がこれまで市の収集に出していたものを、スーパー等の店頭回収に出した場合、その量が、市が集計している排出量ならびに資源化量から減ることになります。</p>	無
10	森口会長	<p>店頭回収で回収量とその推移について、事業者の協力が得られるのであれば、定量的な解析をしてはどうか。</p>	<p>店頭回収量の把握が可能か否かを事業者を確認します。</p>	無

11	小林委員	ごみ組成分析調査で、「資源化不可」とあるものうち、「資源化可」に移行できるものがどの程度含まれているのか。	今回のごみ組成分析調査では、プラスチック類では「汚れの少ない容器包装」「複合材料（アルミ蒸着プラ）」「レジ袋」以外、紙類では「その他紙（カーボン紙、ティッシュ、レシート等）」以外を、「資源化不可」としています。ごみ別・地区別・業種別の割合について、ごみ組成分析調査報告書の巻末にある【資料編】p.24（当日資料：資料編p.44）以降をご確認ください。	無
12	原田委員	生活系ごみについては、事業系ごみに流れている部分も含めてトータルで実態を把握できるシステムの検討が必要ではないか。	将来的に計画に反映できるよう、どのような数値データが必要なのかを整理した上で、検討していきます。	無
13	森口会長	家庭から排出される廃棄物のフローについて、事業者からもデータの提供を依頼し、市内の経済活動の全体像をよりの確に捉えられるような仕組みを作れるとよい。		無
14	小林委員	組成分析調査報告書p.23の写真4-3（当日資料：資料編p.43の写真2-4-3）で、販売店から相当量の直接廃棄の食品ロスが排出されている。ディスカウント等で消費に回す、豚の餌にする等、直接廃棄量の削減に係る対策を講ずるべきではないか。	食品ロス削減推進計画における事業系食品ロスに係る施策を通じて、先進的取組の情報収集・発信、指導を講じて、直接廃棄量の削減を図っていきます。	無
15	櫻井委員	事業系ごみの削減が相変わらず課題である。事業者が営業許認可申請時の行政指導とその後のモニタリングを徹底し、事業系ごみの削減を遵守しない場合は許認可を取り消すくらいの強力な対策を講じる必要があるのではないか。	事業所を対象としたアンケート調査の結果からも、事業系ごみを排出する事業者の意識改革が重要と認識しています。庁内関係各署、また、商工会とも連携して、指導の強化を図っていきます。	無
16	森口会長	事業者に営業許認可を出す部署を通じて、事業者に指導を行うことは可能か。		
17	伊神委員	事業者に対する許認可制度や条例制定を行う場合は、事業者との合意形成や周知を十分に行った上で、施行いただきたい。		
18	木下委員	事業者が市が指導した事項を遵守しなかった場合、何らかの罰則を与えることは可能か。罰則がないと、指導だけでは徹底できないのではないか。	法的根拠を含め、どのように実効性を担保していくか、今後慎重に検討していきます。	
19	對崎委員	分別不十分でも回収を行うような、不適正な契約を事業所と締結している収集運搬許可業者に対して、指導を強化する、あるいは、一般廃棄物収集運搬業の許可の取り消し等の手段を講じるべきではないか。	収集運搬業者への指導強化をしつつ、悪質な業者に対して法に基づく適正な対処を行えるよう努めます。	

20	森口会長	市民対象のアンケート調査より、「ごみの出し方カレンダー」が最も有用という結果がでている。来年度以降のカレンダーには、プラスチック製容器包装の分け方・出し方について、市民にとってわかりやすい記載としていただきたい。	いただいた御意見をもとに、工夫していきます。	無
21	稲葉委員	食ロスについて、都市部でも、世帯（単身・家族）、住宅形態（集合・戸建）、居住年数等で排出傾向が変わってくると考えられる。施策の実施においては、そのような市の地域特性を踏まえた上で、取り組んでいただきたい。	今回実施したごみ組成分析調査の結果をもって、世帯（単身・家族）、住宅形態（集合・戸建）、居住年数等の排出傾向を踏まえた施策の展開は難しいですが、他自治体の取組等も参考にしていきたいと考えています。	無
22	肴倉委員	リサイクル率について、平成30年度の20%から令和5年度の26.6%へ上昇した要因は、多量排出事業者による段ボールのリサイクルと焼却残渣の資源化によるもので、市民の努力により達成したものとは異なる。多量排出事業所から排出される段ボールのリサイクル量と焼却残渣の資源化量の更なる増加がない限り、令和11年度の29.7%の目標達成は困難ではないか。 多量排出事業者による段ボールのリサイクル量と焼却残渣の資源化量を除いたリサイクル率を別途把握して、継続的にモニタリングするべきではないか。	現行計画のリサイクル率に追加して、生活系ごみの資源化量、事業系直接資源化量、焼却灰の資源化量のそれぞれの寄与分をモニタリングを行い、審議会で報告していきます。	無
23	森口会長	製品プラスチックについて、プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律についての認知度は低いものの、市が分別収集する場合の協力については、84%が協力できると回答している。市民の協力は得られる可能性は高い。計画書には施策として検討することを位置付けておき、計画策定後に、製品プラスチックの今後の方向性について検討いただきたい。	製品プラスチックの再商品化については、施策の1-3-1(ア)（ 当日資料：p.53 ）に位置付けているとおり、市としても実施に向けた検討を進めていく予定です。本施策は重要施策として、プラスチック類全体の資源化システムについて、詳細検討を進めていきます。	有
24	伊神委員	今回実施したごみ組成分析調査の対象事業所数が、産業大分別事業所数8,208に対し、ほんの一部となっている。産業大分類についても、全業種を対象に組成分析を行った上で、施策を検討すべきではないか。	ごみ組成分析調査報告書p.2（ 当日資料：資料編p.21 ）の《参考》に記載のとおり、予算等の制約もあり、今回は、事業系ごみ全体の傾向を把握することを目的に、市の産業分類の特性や計画の施策内容を考慮して一部の業種のみを対象に、調査を実施しました。ごみ組成分析調査は今後も継続して実施していく予定としています。事業系ごみの組成分析調査については、本市の社会情勢等も見極めながら、より実態を反映できる調査方法について検討していきます。	無

25	高野委員	ごみ組成分析調査結果より、燃やせるごみに、資源化可能なものが相当量混入している状況がある。県内他自治体では、生活系ごみの指定袋に、名前と地区名を記載して排出させている自治体もある。これくらい行わないと、市民の意識改革はできないのではないかと。	市民の意識改革につながるごみの排出方法について、他自治体の取組も参考に、検討していきます。	無
26	梶原委員	市民対象のアンケート調査より、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」の認知度と利用率が低い。アプリが更に浸透すれば、ごみ収集サービスへの満足度が向上することが期待される。	施策1-1-2（ウ）の施策を通じて、「さんあ〜る」の認知度と利用率の向上を図っていきます。	無
27	梶原委員	燃やせるごみに混入されている資源化可能なものの割合等、ごみ組成分析調査の結果を市の広報で活用できると良い。	御指摘を踏まえ、今後広報等での活用を検討していきます。	無
28	梶原委員	市民対象のアンケート調査の自由意見で、ごみ処理の全体の流れがみたい、見えないという意見があった。回収した紙類からできた商品を紹介する等、何か示せると良い。	市のホームページにて、「資源ごみのゆくえ」として、サステナスクエアにあるリサイクルセンターに搬入された資源ごみが、どのように処理され、どのようなものに再生されるのかを掲載しています。ホームページ以外での情報発信についても検討していきます。	無
29	森口会長	計画書ごみp.2（当日資料：本編p.13）のごみの処理フローについて、写真を挿入するなどして、視覚的に示せると良い。また、「ごみの出し方カレンダー」も視覚的に理解できるよう、工夫いただきたい。	見やすさと必要な情報のバランスを考慮しつつ、ごみの出し方カレンダーに記載する情報を増やすことを検討していきます。	無
30	稲葉委員	計画書共通p.2（当日資料：本編p.3）の図1-2について、循環型社会形成推進基本計画等の国の計画等との関連性についても示せると良い。	計画書ごみp.26（当日資料：本編p.39）に循環型社会形成推進基本計画等の国の計画等との関連性について示しています。	無
31	森口会長	計画書ごみp.26（当日資料：本編p.39）の本文に循環型社会形成推進基本計画についての記載があるが、第五次計画が令和6年8月2日に閣議決定済であるため、指標も含めて、更新すること。	第五次計画の内容に修正しました。（当日資料：本編p.39～40、82）	有

No.	該当資料	該当ページ	事前質問及び意見	回答
1	資料1-1	27	(2) つくば市クリーンセンターでの廃棄物発電 「表2-17 焼却施設における発電及び売電電力量」の実績のうちの売電収益金からの経費としての利用もあるのでしょうか？	売電収益金はサステナスクエアの経費として利用されております。
2	資料1-1	27	売電収益金は隣接するスポーツ施設等にも利用されているようですがクリーンセンターの必要経費とはそもそも別個の扱いになっているのでしょうか？	隣接するスポーツ施設においては、焼却施設から出る蒸気の供給のみとなります。売電収益金は利用されておられません。
3	資料1-2	16~17	4. ごみ処理経費 (1) 歳出 令和5年の人口1人あたりの処理経費の実績がクリーンセンターの修繕に伴い最近で最大値になったとのことですが、経年劣化を補うための措置で致し方ないものと思われる中、形としては来年以降も少しずつ増える予定で補っていく予定となるのか、もしくは(状態、時期によっては)まとまった修繕をする予定となるのでしょうか？	計画的に施設の修繕を進めており、修繕する箇所や規模により費用が異なることから、年度により修繕費に増減があります。
4			プラスチック類 容器包装類 汚れの落としにくい容器包装について 災害非常時などに汚さないために紙の皿にラップを敷いて利用するイメージでプラスチック容器の上に簡単に取り外し可能なシートをシーリング出来ないものでしょうか。(できればそのシートも再利用できる形で) 個人情報保護のためのシールのように惣菜など入れるプラスチック容器全体にびったり表面合わせて貼り付けておいて、それだけ取り外せば下のプラスチック容器がほぼ水洗いだけで済ませられるような形体を是非ともつくばの業者等に委託できたらあるいはスーパーで手掛けてくれたらつくば発で更に再利用が進むのではないのでしょうか。 コストの問題が当然発生しますがこのままゴミの有料化にかけることになるよりプラスチック容器ごみの減量、再利用には繋がると思われます。 勤め人はもとより増加の一途である高齢者も含めとにかく惣菜パック購入者がとても多い印象の中惣菜容器の循環方法を少しでも見直していけたらよいと思います。	御意見をいただきありがとうございます。 生活系燃やせるごみ組成分析調査の結果から、資源化可能なプラスチック類が5.42%含まれていることが分かりました。そのため、まずは燃やせるごみとして出されている資源化可能なプラスチック類の分別促進に取り組んでいきたいと思っております。

ごみ量実績（令和5年度実績）

総排出量（生活系+事業系）

表1に、令和5年度のごみ量実績値を集計したデータを示しています。表中の①は令和5年度の実績値を示しています。比較として、②令和4年度実績と③令和5年度の計画値（つくば市一般廃棄物処理基本計画より記載）を示しています。

令和5年度の総排出量は令和4年度に比べ、15t増加と令和4年度と変わらない結果となりました。1人1日当たりの総排出量は、1,017g/人・日となり、計画値を19g下回りました。

表1：ごみ量実績

	①R5年度 実績値	②R4年度 実績値	①-②	増減率	③R5年度 計画値	①-③
人口(人)	254,534	251,208	3,326	1.3%	245,237	9,297
総排出量(t)	94,769	94,784	▲15	▲0.0%	95,461	▲692
1人1日当たり(g/人・日)	1,017	1,034	▲17	▲1.6%	1,066	▲49
生活系ごみ合計(t)	57,178	58,151	▲973	▲1.7%	60,332	▲3,154
1人1日当たり(g/人・日)	614	634	▲20	▲3.2%	674	▲60
事業系ごみ合計(t)	37,591	36,632	959	2.6%	35,139	2,452
1人1日当たり(g/人・日)	404	400	4	0.9%	392	12
リサイクル率(%)	26.6	25.2	1	5.6%	23.0	4
資源化量	25,220	23,861	1,359	5.7%	21,951	3,269
最終処分量(t)	6,915	7,342	▲427	▲5.8%	10,391	▲3,476
1人1日当たり(g/人・日)	74	80	▲6	▲7.2%	116	▲42

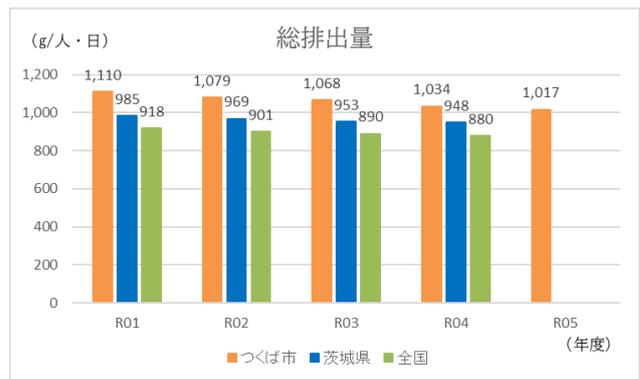
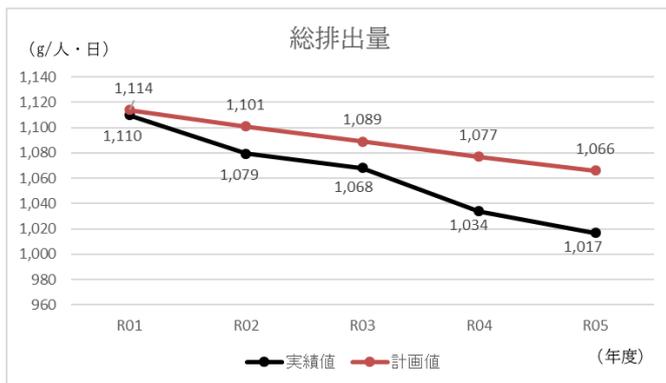


図1-1：1人1日当たりのごみ総排出量の推移（計画値との比較）（左）

図1-2：1人1日当たりのごみ総排出量の推移（茨城県・全国との比較）（右）

資料：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

生活系ごみ

表 2 に、令和 5 年度の生活系ごみ排出量の実績値を示しています。

図 2-1 に、1 人 1 日当たりの生活系ごみ排出量の推移（計画値との比較）を、図 2-2 に、1 人 1 日当たりの生活系ごみ排出量の推移（茨城県・全国との比較）を示しています。

表 2：生活系ごみ排出量実績

	①R5年度 実績値	②R4年度 実績値	①-②	増減率	③R5年度 計画値	①-③
人口(人)	254,534	251,208	3,326	1.3%	245,237	9,297
	(t)	(t)	(t)		(t)	(t)
生活系ごみ合計	57,178	58,152	▲ 974	▲ 1.7%	60,322	▲ 3,144
1人1日当たり(g/人・日)	614	634	▲ 20	▲ 3.2%	674	▲ 60
燃やせるごみ	45,506	46,361	▲ 855	▲ 1.8%	48,809	▲ 3,303
燃やせないごみ	1,882	1,942	▲ 60	▲ 3.1%	2,667	▲ 785
粗大ごみ	1,915	1,848	67	3.6%	1,835	80
資源ごみ	7,814	7,935	▲ 121	▲ 1.5%	6,955	859
資源ごみ 内訳						
古紙・古布	3,939	4,113	▲ 174	▲ 4.2%	3,867	72
かん	577	604	▲ 27	▲ 4.5%	474	103
びん	1,449	1,495	▲ 46	▲ 3.1%	1,441	8
ペットボトル	752	719	33	4.6%	582	170
プラ製容器包装	1,017	910	107	11.8%	537	480
直接搬入(混在)	80	94	▲ 14	▲ 14.9%	—	—
剪定枝	0	0	—	—	54	▲ 54
廃食用油	11	14	▲ 3	▲ 21.4%	11	0
有害ごみ	50	52	▲ 2	▲ 3.8%	45	5

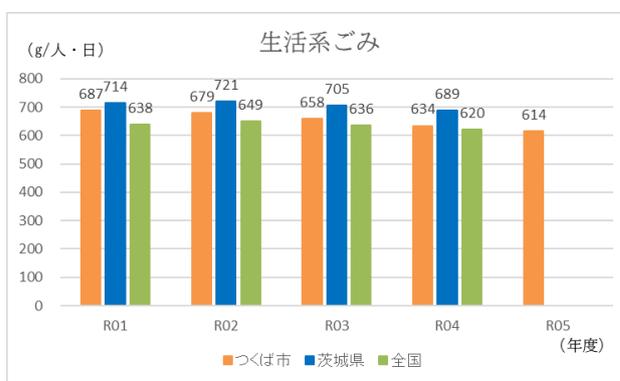
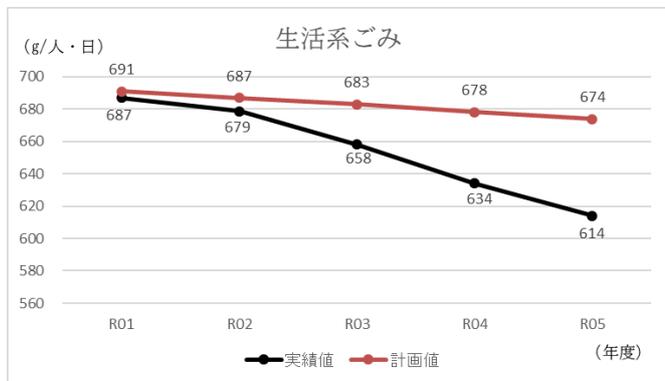


図 2-1：1 人 1 日当たりの生活系ごみ排出量の推移（計画値との比較）（左）

図 2-2：1 人 1 日当たりの生活系ごみ排出量の推移（茨城県・全国との比較）（右）

資料：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

【結果】

生活系ごみ全体の排出量は、令和4年度と比較して974t減少し、1人1日当たりの排出量は20g/人・日減少しました。1人1日当たりの生活系ごみ排出量は、614g/人・日であり、前年度（令和4年度）の全国平均620g/人・日よりも少なくなりました。

【考察】

燃やせるごみと資源ごみ両方の排出量が減少していることから、市民のごみの排出抑制の意識が進んだと考えられます。また、資源物の排出量を全体量で見ると減少していますが、プラスチック製容器包装については大幅に増加しており、プラスチック製容器包装の分別意識が高まったと考えられます。

【生活系ごみ令和5年度の主な実績】

① ごみの分け方・出し方ハンドブックの改定【1.1.1 各種ガイドブックやマニュアルの拡充と作成】

市民からごみの分別方法が分かりづらいという市民からの様々な意見を踏まえ、ごみ分別辞典の品目や説明文を精査し、「ごみの分け方・出し方ハンドブック」のを14年ぶりに改訂しました。

② 集積所用分別促進看板の配布【1.1.2 ホームページや市報等による情報発信】

各地区の区会総会で、資源物の分別徹底を促す集積所用看板を区長へ配布し、各集積所に掲示していただくよう依頼しました。

配布数：1,214枚

（内訳：筑波地区179枚、桜地区272枚、豊里地区204枚、大穂地区141枚、谷田部地区418枚）

③ 出前講座【1.1.3 各種キャンペーンや環境プログラムの拡充】

【1.1.4 小中学生への環境教育の拡充】

出前講座を下記6件（10講座）行いました。

対象	人数	内容
研究学園小学校 4年生	97	ごみの減量とリサイクル
荊崎地区民生委員児童委員協議会	42	ごみ集積所に関する相談
並木小学校 4年生	55	ごみの減量とリサイクル
春日学園義務教育学校 4年生	108	ごみの減量とリサイクル
谷田部地区民生員児童委員協議会	90	ごみ集積所に関する相談
二の宮児童館	20	ごみの減量とリサイクル

④ 生ごみの自家処理の推進【1.2.1 ごみの減量や資源化に関する活動支援】

・生ごみ処理容器等の購入費補助金交付実績は、310件でした。※令和4年度408件

・段ボールコンポストを配布会及び出前講座等で804個配布しました。

※配布会を5月27日（土）、9月2日（土）、10月14日（土）に実施しました。

事業系ごみ

表3に、令和4年度事業系ごみ排出量の推計値を示しています。

図3-1に、1人1日当たりの事業系ごみ排出量の推移（計画値との比較）を、図3-2に、1人1日当たりの事業系ごみ排出量の推移（茨城県・全国との比較）を示しています。

表3：事業系ごみ排出量実績

	①R5年度 実績値	②R4年度 実績値	①-②	増減率	③R5年度 計画値	①-③	
人口(人)	254,534	251,208	3,326	1.3%	245,237	9,297	
	(t)	(t)	(t)		(t)	(t)	
事業系ごみ合計	37,591	36,632	959	2.6%	35,139	2,452	
1人1日当たり(g/人・日)	404	400	4	0.9%	392	12	
1日当たり(t/日)	102.70	100.36	2	2.3%	96	7	
燃やせるごみ	22,120	22,490	▲ 370	▲ 1.6%	21,586	534	
(うち多量排出事業者)	6,946	7,503	▲ 557	▲ 7.4%	—	—	
燃やせないごみ	567	590	▲ 23	▲ 3.9%	599	▲ 32	
粗大ごみ	90	107	▲ 17	▲ 15.9%	150	▲ 60	
資源ごみ①+②	14,814	13,445	1,369	10.2%	12,804	2,010	
①資源ごみ (サステナ搬入)	古紙・古布	41	37	4	10.8%	488	▲ 447
	かん	53	62	▲ 9	▲ 14.5%	10	43
	びん	53	66	▲ 13	▲ 19.7%	30	23
	ペットボトル	52	47	5	10.6%	15	37
	混在	14	14	0	0.0%	—	—
	小計	213	226	▲ 13	▲ 5.8%	543	▲ 330
(うち多量排出)	198	212	▲ 14	▲ 6.7%	—	—	
②資源ごみ (直接資源化)	古紙・古布	14,271	12,881	1,390	10.8%	11,595	2,676
	かん	134	160	▲ 26	▲ 16.3%	310	▲ 176
	びん	35	36	▲ 1	▲ 2.8%	39	▲ 4
	金属類	30	62	▲ 32	▲ 51.6%	23	7
	ペットボトル	131	80	51	63.8%	294	▲ 163
	小計	14,601	13,219	1,382	10.5%	12,261	2,340
(うち多量排出)	10,367	8,675	1,692	19.5%	—	—	
多量排出事業者の資源化率(%)	54.2	55.7	▲ 1	▲ 2.6%	—	—	

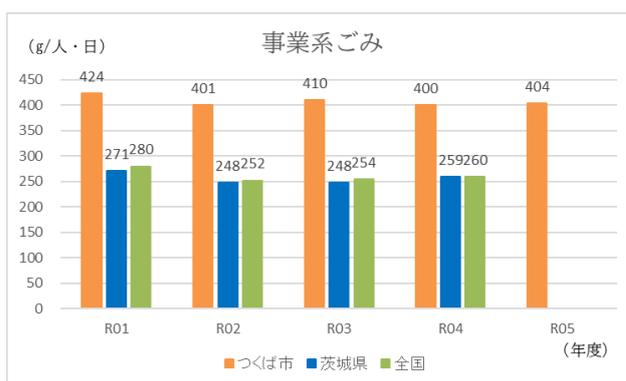
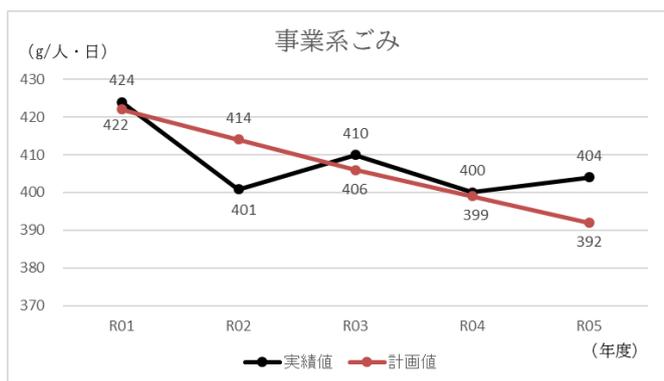


図3-1：1人1日当たりの事業系ごみ排出量の推移（計画値との比較）（左）

図3-2：1人1日当たりの事業系ごみ排出量の推移（茨城県・全国との比較）（右）

資料：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

【結果】

事業系ごみの排出量は、令和4年度と比較して、959t増加し、1人1日当たりの排出量は4g/人・日増加しました。

【考察】

事業系ごみ総排出量は、令和4年度と比較して増加しており、令和5年度の計画値も未達成となっています。しかし、燃やせるごみは令和4年度と比較して370t減少しているため、今後も下記の実施を継続して実施していきます。

【令和5年度の主な実績】

① 多量排出事業者への計画書提出依頼及び指導【1.1.6 事業者への情報提供や意識向上の強化】

多量排出事業者へ「事業系一般廃棄物減量化等計画書」の提出を依頼し、減量化及び資源化の取組が不十分な計画の場合は、実際の排出状況や分別方法等の聞き取りを行い、減量化及び資源化について指導しました。

提出状況：137件 ※令和4年度 98件

② 搬入検査【2.2.1 事業系ごみの分別及び排出の適正化】

つくば市クリーンセンター可燃ごみピット前にて収集運搬車両の中身を展開し、排出状況の実態把握及び適正な分別排出の指導を行いました。概ね適正ではあったものの、一部不適正なものの搬入が見受けられたため、不適正なものについては持ち帰りを指示するとともに、収集運搬業者に対して、適正な分別収集に関する通知を行いました。また、全収集運搬許可業者に対して、適正な収集に関する通知を計2回行いました。

実施件数：40件（事業系31件、生活系9件）※令和4年度 35件（事業系23件、生活系12件）



つくば市クリーンセンターでの搬入検査の様子

③ 「事業系廃棄物適正処理パンフレット」の配布【2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進】

令和4年度に事業系ごみの適正な排出方法や分別の方法をまとめた「事業系廃棄物適正処理パンフレット」の改定を行ったため、市内の事業者に対して、約2,890部配布しました。

リサイクル率・資源化

表4に、令和5年度のリサイクル率・資源化量の実績値を示しています。

図4-1に、リサイクル率の推移（計画値との比較）を、図4-2に、リサイクル率の推移（茨城県・全国との比較）を示しています。

表4：リサイクル率・資源化量実績

	①R5年度 実績値	②R4年度 実績値	①-②	増減率	③R5年度 計画値	①-③
人口(人)	254,534	251,208	3,326	1.3%	243,290	11,244
リサイクル率						
総排出量(t)	94,769	94,784	▲15	▲0.0%	95,461	▲692
資源化量(t)	25,220	23,861	1,359	5.7%	21,951	3,269
リサイクル率(%)	26.6	25.2	1.4	5.7%	23.0	3.6
資源化量内訳	(t)	(t)			(t)	
サステナから搬出	9,937	9,938	▲1	▲0.0%	7,470	2,467
古紙・古布	3,253	3,399	▲146	▲4.3%	3,063	190
かん・金属類	1,468	1,562	▲94	▲6.0%	393	1,075
びん	1,182	1,252	▲70	▲5.6%	1,000	182
ペットボトル	631	614	17	2.8%	466	165
プラ製容器包装	736	680	56	8.2%	537	199
廃食用油	11	14	▲3	▲21.4%	11	0
有害ごみ	62	75	▲13	▲17.3%	—	—
焼却灰	2,594	2,342	252	10.8%	2,000	594
サステナ以外から搬出	15,283	13,923	1,360	9.8%	13,521	1,762
直接資源化						
古紙・古布	14,271	12,881	1,390	10.8%	11,595	2,676
かん	134	160	▲26	▲16.3%	310	▲176
びん	35	36	▲1	▲2.8%	39	▲4
金属類	30	62	▲32	▲51.6%	23	7
ペットボトル	131	80	51	63.8%	294	▲163
集団回収	680	701	▲21	▲3.0%	1,161	▲481
拠点回収	2	3	▲1	▲33.3%	99	▲97

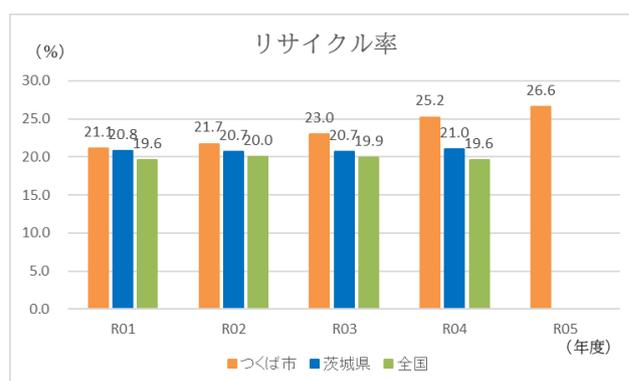
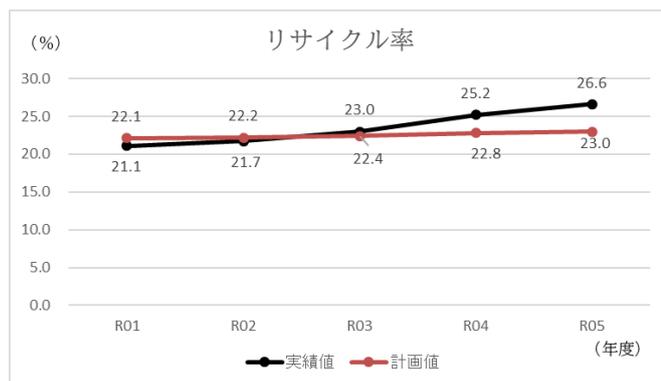


図4-1：リサイクル率の推移（計画値との比較）（左）

図4-2：リサイクル率の推移（茨城県・全国との比較）（右）

資料：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

【結果】

リサイクル率は、令和4年度比較して1.4%増加しました。総排出量は、令和4年度と比較して15t減少しているのに対して、資源化量は1,359t増加しています。

〈リサイクル率の内訳〉

令和6年度第2回審議会（8月23日開催）での意見を受け、市民の分別取組による効果等を把握する参考となる指標として、生活系ごみの資源化量、事業者直接資源化量、焼却灰の資源化量、その他に分けたリサイクル率の内訳を算出しました。

生活系ごみの資源化量 (7,716t) + 事業者直接資源化量 (14,601t) + 焼却灰の資源化量 (2,594t) + その他 (309t)

ごみ総排出量 (94,769t)

	令和元年度	令和5年度
リサイクル率（全体）	21.0%	26.6%
生活系ごみの資源化量の寄与分	6.4%	8.1%
事業者直接資源化量の寄与分	12.1%	15.4%
焼却灰の資源化量の寄与分	2.3%	2.7%
その他	0.2%	0.3%

※事業者直接資源化量とは、事業者が資源ごみをつくばステナスクエアに搬入せずに、古紙問屋等の資源業者に直接搬入した量のことです。

【考察】

上記に示した各資源ごみ量別のリサイクル率の内訳をみると、令和元年度と比較して、事業者直接資源化量及び生活系ごみの資源化量によるリサイクルの上昇がみられます。なお、事業者直接資源化量うち14,271tは古紙（特に段ボール）であり、近年操業開始された物流関係事業者の影響が多いと考えられます。生活系ごみの資源化量の寄与分は令和元年度と比較して上昇していますが、今後、年次推移を本審議会で報告していきます。

リサイクル率の向上のため、以下の施策を推進していきます。

【今後取り組む施策】

●生活系ごみ

- ① 雑がみ分別回収の推進【1.1.1 各種ガイドブックやマニュアルの拡充と作成】
- ② ごみ減量及びリサイクルに関する周知啓発【1.1.2 ホームページや市報等による情報発信】
- ③ 出前講座【1.1.3 各種キャンペーンや環境プログラムの拡充】【1.1.4 小中学生への環境教育の拡充】
- ④ 生ごみの自家処理の推進【1.2.1 ごみの減量や資源化に関する活動支援】
- ⑤ 大学生に対するごみ減量・分別の推進【1.1.5 大学生への情報提供や意識向上の強化】

●事業系ごみ

- ① 多量排出事業者への計画書提出依頼及び指導【1.1.6 事業者への情報提供や意識向上の強化】
- ② 搬入検査による分別徹底【2.2.1 事業系ごみの分別及び排出の適正化】
- ③ 「事業系廃棄物適正処理パンフレット」の配布【2.2.1 事業系ごみの分別及び排出の適正化】
- ④ 排出事業者への訪問指導【2.2.2 事業系資源ごみの資源化の促進】

中間処理・最終処分

表 5 に、令和 5 年度中間処理・最終処分の実績値を示しています。

図 5-1 に、1 人 1 日当たりの最終処分量の推移（計画値との比較）を、図 5-2 に 1 人 1 日当たりの最終処分量の推移（茨城県・全国との比較）を示しています。

表 5：中間処理・最終処分実績

	①R5年度 実績値	②R4年度 実績値	①-②	増減率	③R5年度 計画値	①-③
人口(人)	254,534	251,208	3,326	1.3%	245,237	9,297
中間処理 (t)						
焼却処理量	71,429	72,581	▲ 1,152	▲ 1.6%	74,955	▲ 3,526
焼却残渣量	8,795	9,000	▲ 205	▲ 2.3%	9,819	▲ 1,024
焼却残渣率	12.3	12.4	▲ 0	▲ 0.7%	13.1	▲ 1
最終処分 最終処分量	6,915	7,342	▲ 427	▲ 5.8%	10,391	▲ 3,476
1人1日当たり(g/人・日)	74	80	▲ 6	▲ 7.2%	116	▲ 42
埋立						
焼却残渣	6,201	6,657	▲ 456	▲ 6.8%	9,819	▲ 3,618
処理残渣	714	685	29	4.2%	572	142
資源化						
焼却残渣	2,594	2,342	252	10.8%	2,000	594
1人1日当たり						
総排出量(g/人・日)	1,017	1,034	▲ 17	▲ 1.6%	1,066	▲ 49
生活系ごみ(g/人・日)	614	634	▲ 20	▲ 3.2%	674	▲ 60
事業系ごみ(g/人・日)	404	400	4	0.9%	392	12
最終処分量(g/人・日)	74	80	▲ 6	▲ 7.2%	116	▲ 42

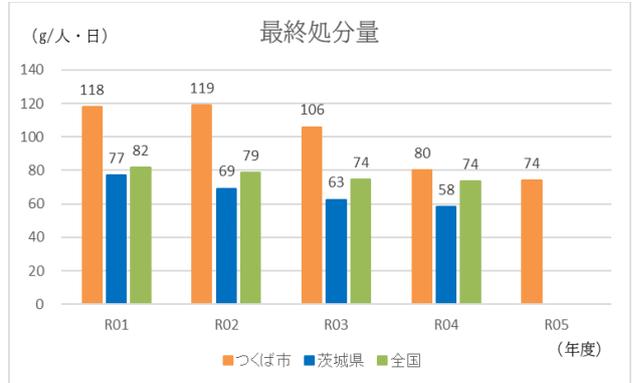
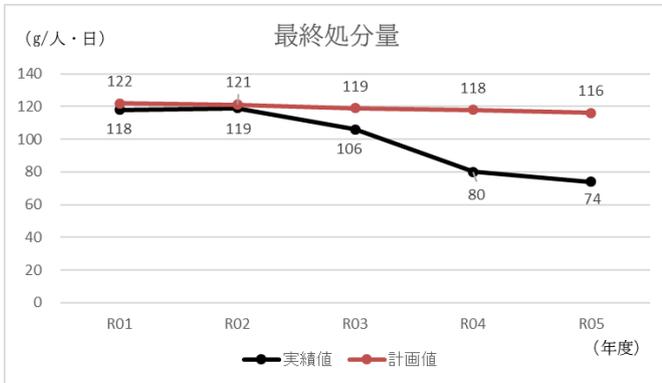


図 5-1：1 人 1 日当たりの最終処分量の推移（計画値との比較）（左）

図 5-2：1 人 1 日当たりの最終処分量の推移（茨城県・全国との比較）（右）

資料：一般廃棄物処理実態調査（環境省）

【結果】

焼却処理量は、令和4年度と比較して1,152t減少し、最終処分量は427t減少しました。1人1日当たりの最終処分量は、令和4年度の全国平均が74gに対して、令和5年度のつくば市の実績値が74gと同水準となりました。

【考察】

生活系ごみ及び事業系ごみの燃やせるごみの排出量の減少に伴い、焼却処理量が減少し、最終処分量が減少しているため、今後も引き続き燃やせるごみの減量を進めることが重要と考えられます。

●令和5年度焼却灰の資源化量

	令和5年度 実績値	令和5年度 予定量	令和4年度 実績値
焼成処理 (t)	1,919	2,000	1,940
再生砕石化処理 (t)	0	300	204
熔融固化処理 (t)	675	700	199

(参考)

表 6：ごみ量実績

			平成30年度 (2018年)	令和元年度 (2019年)	令和2年度 (2020年)	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)	
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	計画値
人口	総人口	人	232,894	236,842	240,383	245,511	251,208	254,534	245,237
排出	生活系排出量	t/年	59,100	59,540	59,534	58,967	58,151	57,178	60,322
	事業系排出量	t/年	36,308	36,375	35,169	36,728	36,632	37,591	35,139
	総排出量	t/年	95,408	95,915	94,703	95,695	94,784	94,769	95,461
資源化	直接資源化量	t/年	55	50	13	17	17	10	164
	事業者直接資源化量	t/年	12,260	11,618	11,869	13,015	13,219	14,601	12,252
	処理後再生利用量	t/年	5,564	7,221	7,967	8,196	9,924	9,929	8,365
	集団回収量	t/年	1,185	1,129	722	750	701	680	1,161
	総資源化量	t/年	19,064	20,141	20,570	21,978	23,861	25,220	21,942
	紙類	g/人・日	174.8	165.7	170.3	183.2	181.1	191.4	176.6
		t/年	14,855	14,406	14,944	16,414	16,603	17,828	15,847
	金属類	g/人・日	18.7	19.5	23.1	20.9	19.6	17.6	17.7
		t/年	1,586	1,690	2,025	1,875	1,794	1,642	1,585
	ガラス類	g/人・日	12.9	4.9	15.6	14.9	14.1	13.1	11.6
		t/年	1,094	428	1,365	1,339	1,290	1,218	1,044
	ペットボトル	g/人・日	8.7	7.5	6.6	7.2	7.6	8.2	8.5
		t/年	736	647	581	649	694	762	760
	プラスチック類	g/人・日	0.0	3.8	5.8	5.6	7.4	7.9	6.0
		t/年	0	332	505	504	680	736	537
布類	g/人・日	3.8	4.1	4.0	4.2	4.0	3.9	—	
	t/年	321	358	351	377	368	366	紙類に含む	
肥料	t/年	0	0	0	0	0	0	0	
焼却灰・飛灰	t/年	408	2,220	746	772	2,342	2,594	2,000	
小型家電	t/年	1	1	1	2	2	1	55	
その他	g/人・日	0.8	0.7	0.7	0.5	1.0	0.8	1.3	
	t/年	64	59	62	46	89	73	114	
埋立	直接最終処分量	t/年	0	0	0	0	0	0	0
	焼却残渣埋立量	t/年	9,987	7,464	8,500	8,492	6,657	6,201	9,819
	処理残渣量	t/年	529	2,752	1,951	1,034	685	714	572
	最終処分量	t/年	10,516	10,216	10,451	9,526	7,342	6,915	10,391
焼却	焼却処理量	t/年	76,246	75,119	72,906	72,785	72,581	71,429	74,955
	焼却残渣量	t/年	10,395	9,684	9,246	9,264	9,000	8,795	9,819
	焼却残渣率	%	13.6	12.9	12.7	12.7	12.4	12.3	13.1
1人1日 当たりの 排出量	生活系排出量	g/人・日	695.2	686.9	678.5	658.0	634.2	613.8	674
	事業系排出量	g/人・日	427.1	419.6	400.9	409.9	399.5	403.5	392
	総排出量	g/人・日	1122.4	1106.5	1079.4	1067.9	1033.7	1,017.3	1,066
リサイクル率	%	20.0	21.0	21.7	23.0	25.2	26.6	23.0	
※多量排出事業者の古紙を除いた場合	%				15.9	17.7	17.7	—	
1人1日当たりの最終処分量	g/人・日	123.7	118.1	119.1	106.3	80.1	74.2	116.0	

 : 達成

 : 未達成

① 燃やせるごみ

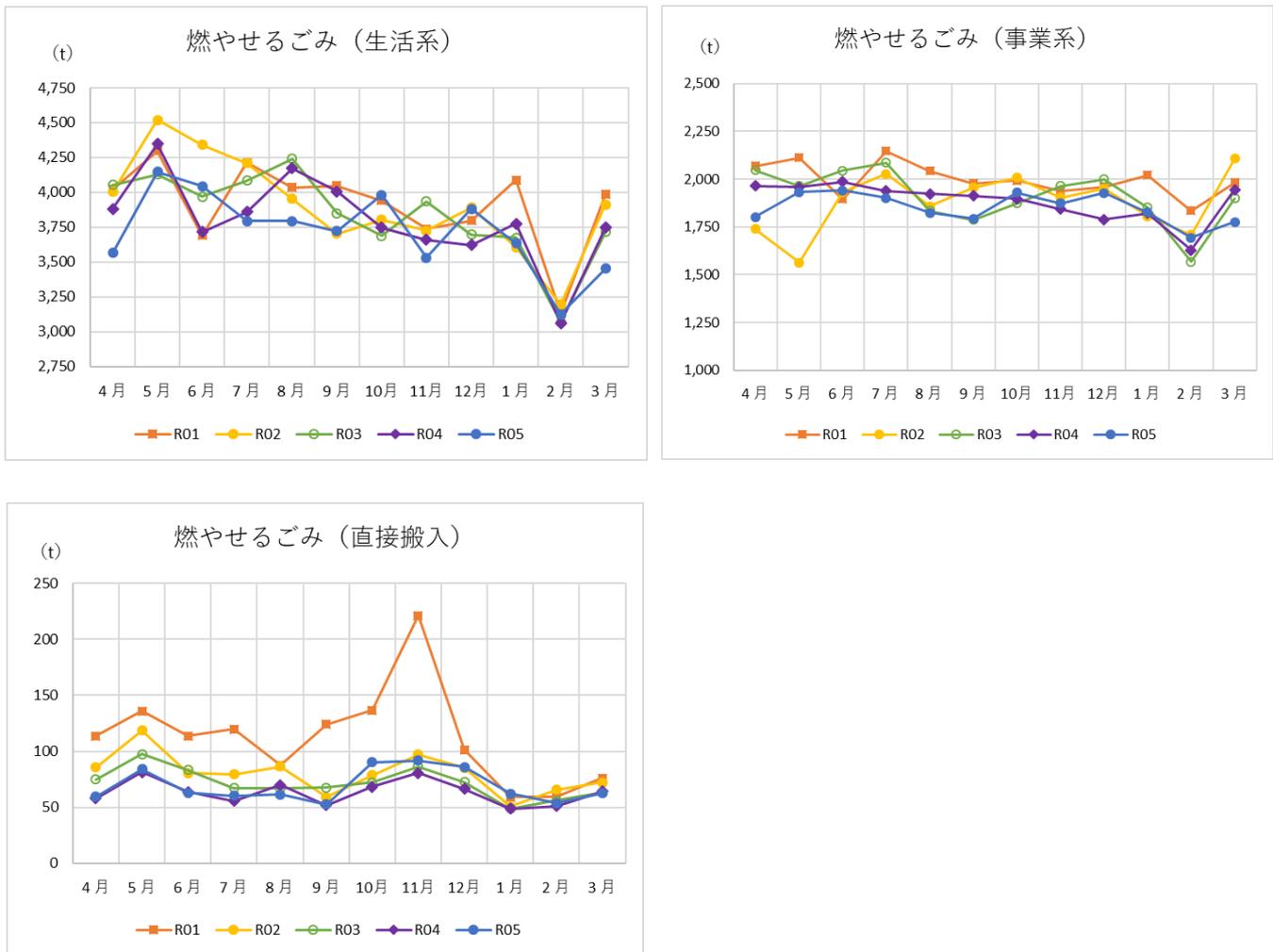


図 6：月別燃やせるごみの排出量の推移
生活系（左上）、事業系（右上）、直接搬入（左下）

② 燃やせないごみ

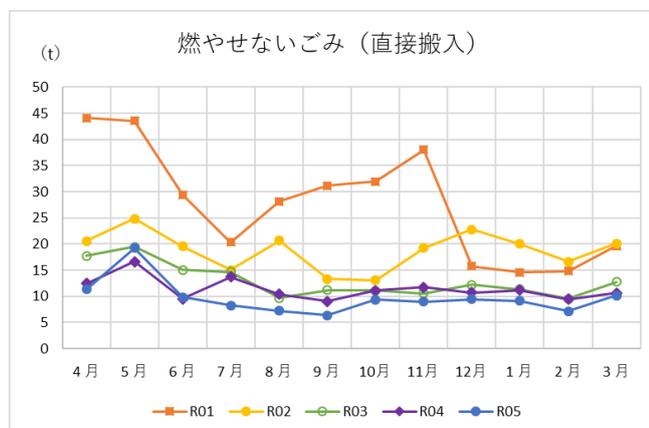
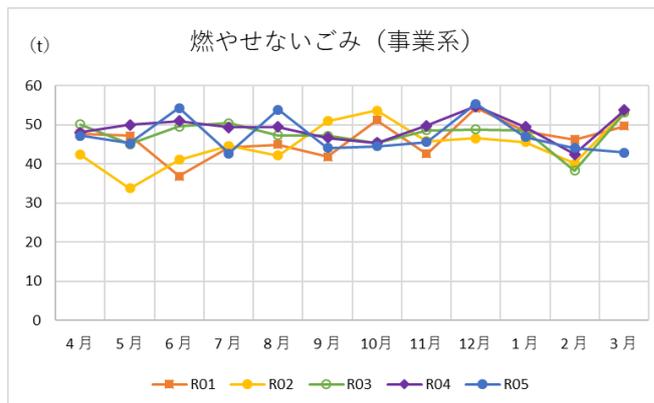
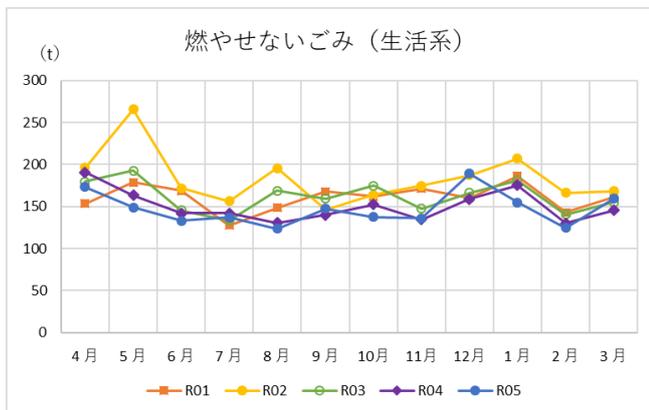


図7：月別燃やせないごみの排出量の推移
生活系（左上）、事業系（右上）、直接搬入（左下）

③ 粗大ごみ

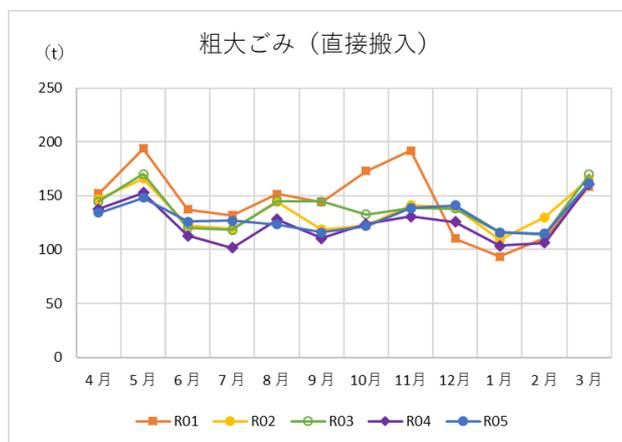
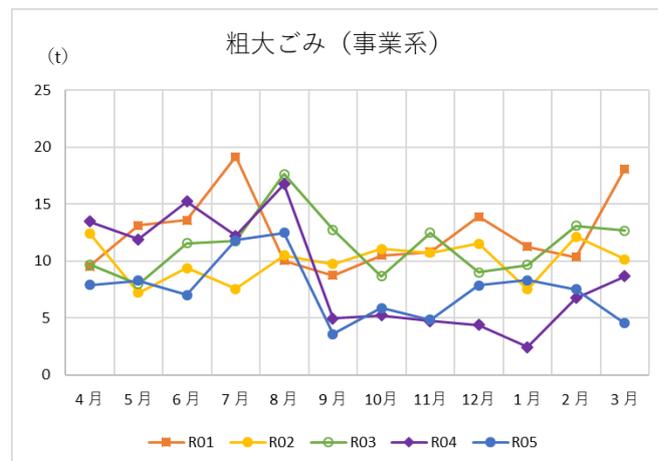
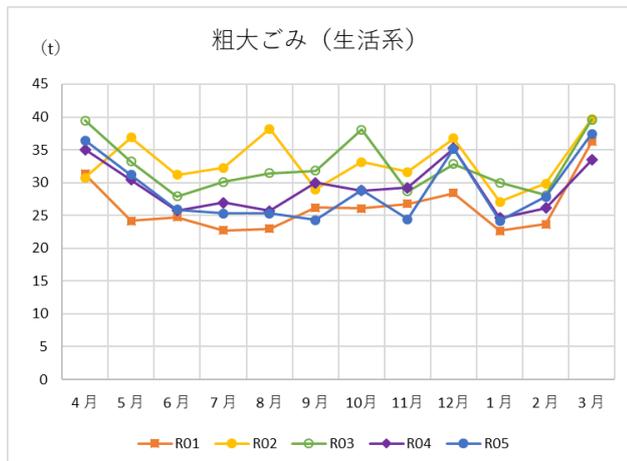


図 8：月別粗大ごみの排出量の推移
生活系（左上）、事業系（右上）、直接搬入（左下）

④ 古紙・古布

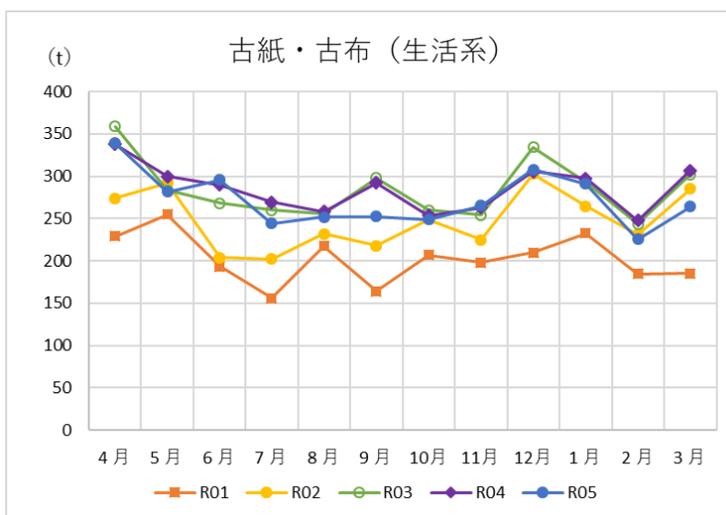


図9：月別古紙・古布の排出量の推移

⑤ かん

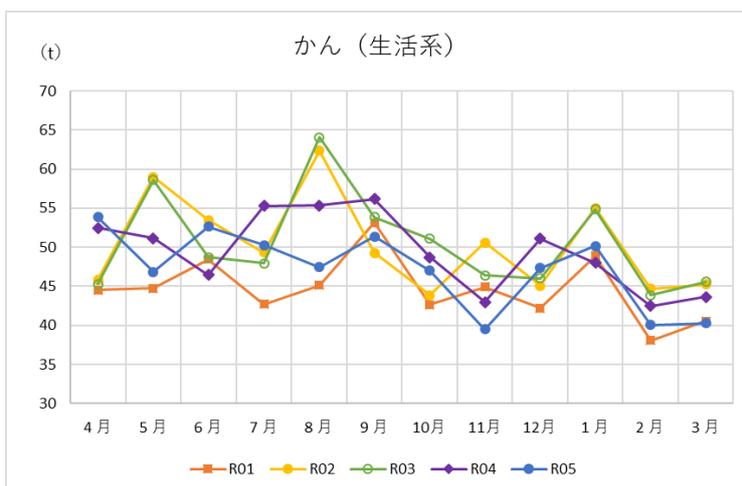


図10：月別かん（生活系）の排出量の推移

⑥ びん

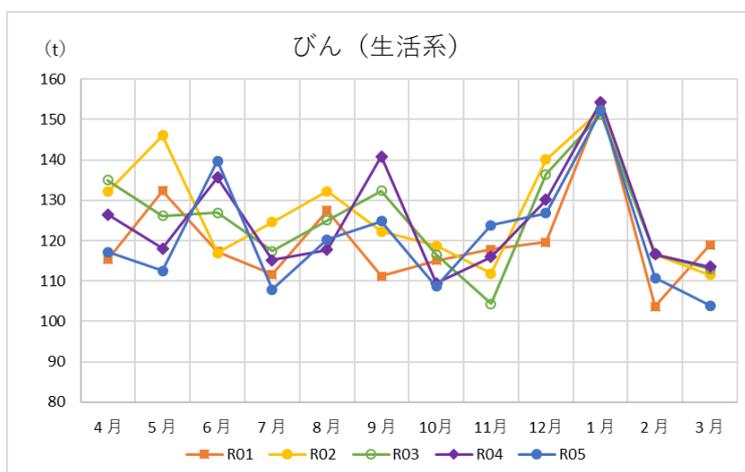


図11：月別びん（生活系）の排出量の推移

⑦ ペットボトル

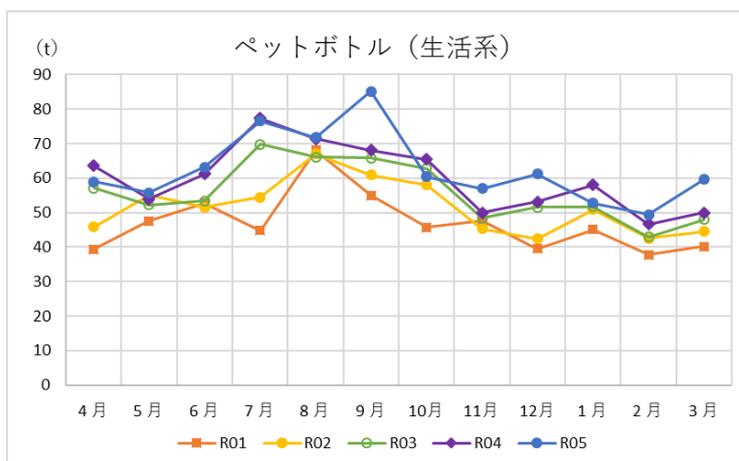


図 12：月別ペットボトル（生活系）の排出量の推移

⑧ プラスチック製容器包装

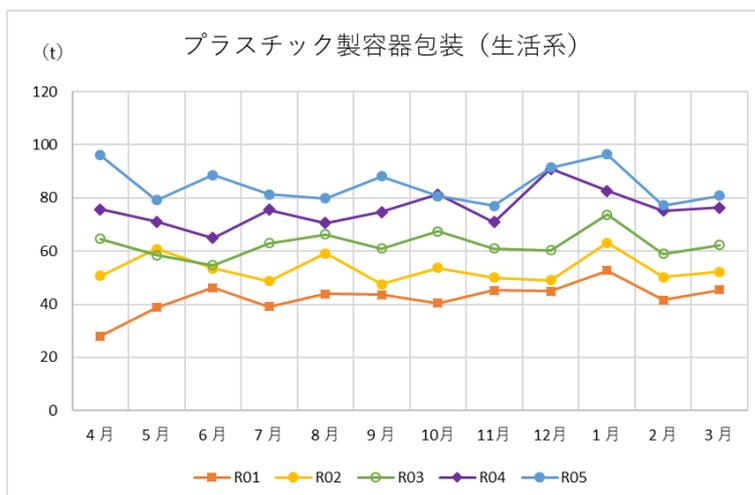


図 13-1：月別プラスチック製容器包装（生活系）の排出量の推移

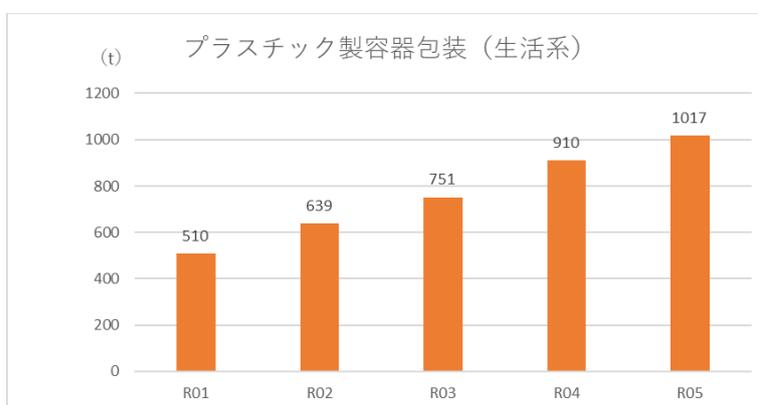


図 13-2：プラスチック製容器包装（生活系）の排出量の推移